

NEC

P C 9 8 -

NX

PC98-**NX** SERIES

VersaPro NX

(Windows NT インストール)

活用ガイド ソフトウェア編

アプリケーションの削除と追加

再セットアップするには

他のOSを利用するには

トラブルを解決するには

マニュアルの 主な内容

このパソコンには、次のマニュアルが用意されています。



●『活用ガイド ハードウェア編』

このパソコンの取り扱い方法などを説明しています。

- ・キーボード、ハードディスク、CD-ROMドライブなどの取り扱い
- ・周辺機器の接続と利用方法
- ・システム設定について



●『活用ガイド ソフトウェア編』

アプリケーションの利用方法や再セットアップの方法について説明しています。

また、さまざまなトラブルへの対応方法をQ&A形式で説明しています。

- ・アプリケーションの利用方法
- ・再セットアップの方法
- ・他のOSを利用する場合の設定
- ・トラブル解決Q&A

はじめに

このマニュアルは、パソコンにインストールされているアプリケーションや添付されているアプリケーションを、削除／追加する方法について説明しています。

また、パソコンを使用中にトラブルが起こったときの対応や解決方法、再セットアップの方法についても説明しています。

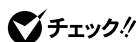
トラブルが起こったときは、まず、巻末の「索引」にある「トラブル解決 Q&A内容一覧」を見て、自分のパソコンで起きたトラブルを探してください。トラブルの種類別に分類して、問題点を見つけやすくしています。トラブルの原因や解決方法をよく読んで対処してください。

1999年 5月 初版

本機では、市販のWindows 95やWindows NT Server 4.0をインストールしてご使用になることはできません。

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

トラブルを解決するために確認の必要があることや、チェックポイントなどを示しています。

◆このマニュアルで使用している表記の意味

FAXモデム内蔵モデル

FAXモデムを内蔵しているモデルのことです。

LAN内蔵モデル

LANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。

一太郎モデル

一太郎9、三四郎9、花子9、Sasukeがあらかじめインストールされているモデルのことです。

Wordモデル

Excel 97、Word 98、Outlook 98があらかじめインストールされているモデルのことです。

【 】

【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

「スタート」ボタン→
「設定」→「コントロールパネル」

「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「設定」を選択し、横に現れるサブメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指します。

◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、 Windows NT	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system日本語版
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows 3.1	Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1
インターネット エクスプローラ	「Microsoft® Internet Explorer 4.01 for Windows® 95 and Windows NT® 4.0日本語版」または「Internet Explorer 5 for Windows® 95, Windows® 98 & Windows NT® 4.0」
一太郎9パック	一太郎9・花子9パック(一太郎9、三四郎9、花子9、ATOK12)
Excel 97、Word 98、 Outlook 98	Microsoft® Excel 97 & Word 98 & Outlook™ 98 for Windows®
Masty Data Backup	Masty Data Backup/F for Windows 95/NT
Acrobat Reader 3.0J	Adobe® Acrobat™ Reader 3.0J
スーパーディスク	SuperDisk™

◆このマニュアルで使用しているイラストと画面

- ・本機のイラストや画面は、モデルによって異なることがあります。
- ・本書に記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。

◆その他の注意

本書では、「インターネットエクスプローラ4.01」を使った場合の操作を中心に記載しています。ご購入後すぐのWindowsのセットアップ時に「インターネットエクスプローラ5」を選択した場合には、画面や操作手順が異なることがあります。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

■電波障害自主規制について

◆LAN内蔵モデルの場合:

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

◆上記以外のモデルの場合:

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

■瞬時電圧低下について

[バッテリーパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリーパックを取り付けている場合]

本装置にバッテリーパック実装時は、社団法人日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

■レーザ安全基準について

この装置には、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825)クラス1適合のCD-ROMドライブが搭載されています。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておられません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows NT®は、本機でのみご使用ください。また、本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません(Intellisyncを除く。詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください)。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、NetMeeting、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ピーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

「一太郎」「花子」「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「一太郎9・花子9パック」「Shuriken」「Sasuke」は、株式会社ジャストシステムの商標です。

「一太郎9・花子9パック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎9・花子9パック」にかかる著作権その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

VirusScanは、米国法人Network Associates, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

Puma Technology、Puma Technologyロゴ、DSX Technology、DSX Technologyロゴ、IntellisyncおよびIntellisyncロゴは、いくつかの法域で登録することができるPuma Technology, Inc.の商標です。

Hayesは、米国Hayes Microcomputer Productsの登録商標です。

MNPは、Microcom, Inc.の登録商標です。

PS/2はIBMが所有している商標です。

SuperDiskはImation社の商標です。

pcANYWHERE32はSymantec Corporationの米国における登録商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 1999

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

添付アプリケーションの削除と追加 1

添付アプリケーションの紹介 2

 知っておきたい便利な機能とツール 2

 このPARTの構成について 3

アプリケーションの削除と追加 4

 削除について 4

 追加について 6

インターネットエクスプローラ 8

一太郎9パック（一太郎モデルのみ） 9

Excel 97 & Word 98 & Outlook 98（Wordモデルのみ） 13

VirusScan for Windows NT 18

NEC Soft MPEG1.0 22

Acrobat Reader 3.0J 25

CyberAccess 27

Intellisync 32

DMIT00L 39

pcANYWHERE32 EX 43

Masty Data Backup 45

再セットアップするには 49

再セットアップについて 50

 再セットアップが必要になるとき 50

 システムの修復方法について 50

システムを修復する 51

 「前回正常起動時の構成を使用」メニューを使ってシステムを修復する . 51

 「システム修復ディスク」を使用してシステムを修復する 52

Windows NT 4.0を再セットアップする 53

 再セットアップする前に 53

 再セットアップの手順 55

 1. Windows NTの再セットアップ 56

 2. Windows NTのアップデート 62

PART

3

3. ドライバのセットアップ	64
4. インターネットエクスプローラのセットアップ	73
5. 「西暦2000年問題対応ServicePack」のセットアップ	74
6. 添付アプリケーションのセットアップ	75
Wordモデルの再セットアップ	76
一太郎モデルの再セットアップ	83
1. 一太郎9パックをセットアップする	83
2. ショートカットやATOKパレットを削除する	85

他のOSを利用する 87

Windows 98を使う	88
Windows 98をセットアップする前に	88
Windows 98をセットアップする手順	88
1. 内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ	90
2. モニタの設定	91
3. NX PADドライバのセットアップ	92
4. フロッピーディスクドライバのセットアップ	94
5. スーパーディスクドライバのセットアップ	97
6. 内蔵LANボード対応ドライバのセットアップ	98
7. 内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップ	99
8. MS-DOSモード用CD-ROMドライバのセットアップ	101
9. 内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ	102
10. ソフトウェアパワーOFF機能のセットアップ	106
11. ハイバネーション設定ユーティリティのセットアップ	107
12. Windows 98の設定を有効にする	108
Windows 98での省電力機能	108
電源管理モードの利用(ACPI/APMモード)	117
本機にWindows 98をインストールした場合のご注意	127

PART

4

トラブル解決 Q&A 129

トラブルを解決するには	130
コントロールパネルの開き方	132
はじめて電源を入れたら	134
電源を入れたが	137

バッテリーを使っていたら	142
電源を切ろうとしたが	143
画面がおかしい	145
ファイル、フォルダがおかしい	149
音がおかしい	151
NXパッドを操作しても	153
文字を入力しようとしたら	155
ファイルを保存しようとしたら	157
ネットワーク(LAN)に接続しようとしたら	158
赤外線通信しようとしたら	160
印刷しようとしたら	161
フロッピーディスクやスーパーディスクを使っていたら	163
ハードディスクを使っていたら	166
CD-ROMを使っていたら	170
周辺機器を取り付けようとしたら	174
アプリケーションを使っていたら	175
サスペンド／レジューム機能を使おうとしたら	177
その他	179
 付録	 181
コンピュータウィルス対策	182
お問い合わせの前に (トラブルチェックシート)	185
アフターケアについて	187
 索引	 191
トラブル解決 Q&A内容一覧	192
総索引	195

添付アプリケーションの 削除と追加

本機に添付のアプリケーションを使うとどんなことができるか、また、それらを本機から削除、追加する方法を説明しています。

このPARTの内容

添付アプリケーションの紹介

アプリケーションの削除と追加

インターネットエクスプローラ

一太郎9パック(一太郎モデルのみ)

Excel 97 & Word 98 & Outlook 98(Wordモデルのみ)

VirusScan for Windows NT

NEC Soft MPEG1.0

Acrobat Reader 3.0J

CyberAccess

Intellisync

DMIT00L

pcANYWHERE32 EX

Masty Data Backup

添付アプリケーションの紹介

添付されている主なアプリケーションと本章の構成について説明します。

知っておきたい便利な機能とツール

※1 一太郎モデルのみ

※2 Wordモデルのみ

機能	アプリケーション
● ワープロを使う HTMLを作成する	一太郎9 ^{※1} Word 98 ^{※2}
● 表計算をする	三四郎9 ^{※1} Excel 97 ^{※2}
● 図形を作成する	花子9 ^{※1} Draw 98 ^{※2}
● メール、スケジュール、文書などを管理する 電子メールを送受信する	Sasuke ^{※1} Shuriken ^{※1} Outlook 98 ^{※2}
● インターネットを利用する	インターネットエクスプローラ
● コンピュータウィルスを検出して除去する	VirusScan for Windows NT
● MPEGファイルの再生を可能とする	NEC Soft MPEG1.0
● 遠隔地からパソコンを操作する	pcANYWHERE32 EX
● 本機や本機に接続されているパソコンの情報を管理する	DMIT00L
● 赤外線／シリアルケーブル接続でファイルをシンク(同期)させる	Intellisync
● PDFファイルを表示する	Acrobat Reader 3.0J
● 操作可能なアプリケーションやツールをユーザのレベルに合わせて制限する	CyberAccess
● さまざまな媒体のバックアップを行う	Masty Data Backup

このPARTの構成について

アプリケーションの概要、追加、削除方法について、アプリケーションごとに説明しています。アプリケーションによっては、ヘルプに詳しい説明がのっているものもあります。

- アプリケーションの起動方法
- アプリケーションの削除方法
- アプリケーションの追加方法

 **チェック!!** ご購入時にプリインストールされていないアプリケーションを使うには、添付の「バックアップCD-ROM (OSを除く)」および「バックアップCD-ROM (OSを除く)用インストールディスク」からアプリケーションをインストールする必要があります。インストール方法については、それぞれのページの「◎追加」をお読みください。

◎ ヘルプについて

各アプリケーションにはオンラインヘルプがついています。

操作方法や機能などがわからないときにご覧ください。

ヘルプを起動するには、各アプリケーションのメニューバーの「ヘルプ」をクリックします。

アプリケーションの削除と追加

アプリケーションの削除、再追加に関する注意事項を説明します。

削除について

本機に標準でインストールされているアプリケーションの削除の手順を説明します。

- ✓ **チェック!**
- ・アプリケーションを削除する場合は、ご利用にならないことをよくご確認のうえ、削除してください。
 - ・ご自分でインストールされたアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。
 - ・アイコンを削除する場合は、「アイコン削除の準備」(→p.5)を行ってから削除します。
 - ・CD-ROMを使用して削除する場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。
 - ・ハードディスクの空き領域を増やしたい場合は、不要なアプリケーションを削除することによって空き領域を増やすことができます。

◎ 削除の準備

一部のアプリケーションでは、「削除の準備」を行ってからアプリケーションを削除します。

コントロールパネルを使ってアプリケーションを削除する場合は、次の手順を行ってください。

CD-ROMを使用する場合と、アプリケーションのアンインストール機能を使う場合は、この手順は必要ありません。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

- 2 「インストールと削除」タブを選択する

- ✓ **チェック!!**
- ・削除したとき、アプリケーションによってはフォルダおよびデスクトップやスタートメニューにショートカットが残る場合があります。その状態でも、操作上は支障ありません。
 - ・アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法に従って操作してください。
 - ・アプリケーションによっては、削除中に「共有ファイルを削除しますか?」、「共有コンポーネント」などのウィンドウが表示される場合があります。このようなウィンドウは、インストールされているアプリケーションが共通で使用していると思われるファイルを削除しようとしたときに表示されます。このようなウィンドウが表示された場合は、「すべていいえ」や「すべて残す」を選んで、ファイルを削除しないようにしてください。
 - ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で、アプリケーションを選んで「追加と削除」ボタンをクリックした後は、途中で中断した場合でも、そのままではアプリケーションを使用できない場合があります。その際には、本機を再起動して、アプリケーションを再度インストールしてください。

◎ アイコン削除の準備

アプリケーションを削除した後、デスクトップに残ったアイコンを削除する場合は、アイコンを削除する前に、次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Windows NT エクスプローラ」をクリックする
- 2 「表示」メニュー→「フォルダオプション」をクリックする
- 3 「表示」タブをクリックし、「ファイルの表示」で「すべてのファイルを表示」を選択する
- 4 「OK」ボタンをクリックする
この後、各アプリケーションの削除方法でアイコンを削除します。

追加について

 **チェック!!** 下記のソフトウェアはご購入時にはハードディスクにインストールされていません。使用する場合は「追加」の手順に従ってインストールする必要があります。

- VirusScan for Windows NT
- NEC Soft MPEG1.0
- Intellisync
- DMITOOL
- pcANYWHERE32 EX
- Masty Data Backup
- CyberAccess
- Acrobat Reader 3.0J

 **チェック!!** CD-ROMを使用して追加した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

◎ 追加の準備

本機に標準でインストールされているアプリケーションを削除した後、再追加する場合の手順を説明します。

一部のアプリケーションでは、「追加の準備」を行ってからアプリケーションを追加します。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする
- 2 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
- 3 フロッピーディスクドライブ(またはスーパーディスクドライブ)に「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」をセットし、CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする
- 4 「インストール」ボタンをクリックする
- 5 「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする

6 ボックス内に「A: ¥NXSETUP.EXE」と表示されているのを確認し、「完了」ボタンをクリックする

「PC98-NX SERIES バックアップ(OSを除く)セットアップユーティリティ」のセットアップ画面が表示されます。

7 このあとは、各アプリケーションの追加方法でアプリケーションを追加する

◎「Microsoft Windows NT 4.0日本語版Service Pack 4」について

本機には「Microsoft Windows NT 4.0日本語版Service Pack 4」(以降、Service Pack 4)がインストールされています。

新しいコンポーネントを追加または変更した場合は、再度Service Pack 4をインストールする必要があります。インストール方法など詳しくは、「スタート」ボタン→「プログラム」→「Service Pack 4」→「Service Pack 4について」をご覧ください。



チェック!! ファイルコピー中に「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。上書きしますか?」のメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしない」を選んでください。

インターネットエクスプローラ

インターネット上のホームページを見るための「ブラウザ」と呼ばれるアプリケーションです。

本機では、インターネットエクスプローラ4.01とインターネットエクスプローラ5を使うことができます。

購入後のセットアップ時に、どちらを使用するかを選択することができます。

- ✓ **チェック!!**
- ・インターネットエクスプローラ5は削除しないでください。削除すると、アプリケーションが正常に動作しなくなることがあります。
 - ・一度削除したインターネットエクスプローラを再度使えるようにするには、本機を再セットアップする必要があります。

◎ 起動

1 • Internet Explorer 4.01の場合

「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「Internet Explorer」をクリックする

• Internet Explorer 5の場合

「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」をクリックする



(この画面は、Internet Explorer 4.01の画面です)

一太郎9パック（一太郎モデルのみ）

一太郎9パックには、「一太郎9」、「花子9」、「三四郎9」、「Sasuke」が入っています。「一太郎9」はワープロ、「花子9」は図形作成ソフト、「三四郎9」は表計算ソフトです。「Sasuke」は、スケジュール、文書などを一元的に管理するツールです。

また、メールソフト「Shuriken」を利用して、メールでスケジュールを通知することもできます。

本機にセットアップされている「一太郎9パック」は、「標準」でセットアップされており、ご購入時の状態では、すべての機能が使用できるわけではありません。ご購入時の状態で使用できる機能については、一太郎9パックの添付マニュアルの「セットアップ」の「各セットアップ方法でコピーされる機能について」をご覧ください。

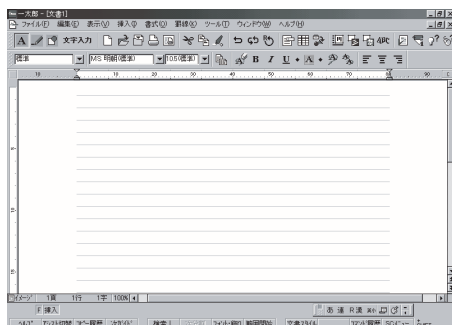
「標準」以外の機能を使用する場合は、添付の「一太郎9・花子9パック CD-ROM」から追加してください。

追加の方法については、一太郎9パックの添付マニュアルの「一太郎9・花子9パック」の「セットアップを行います」をご覧ください。

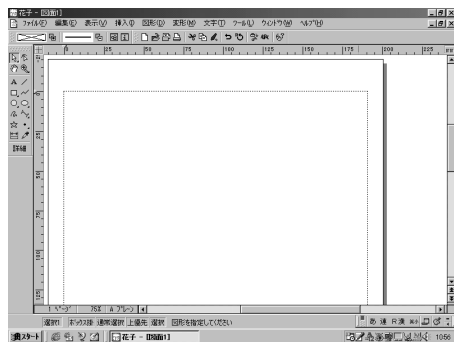
◎ 「一太郎9」、「花子9」、「三四郎9」の起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「JUSTSYSTEMアプリケーション」で「一太郎9」、「花子9」、または「三四郎9」をクリックする
初回起動時には、使用許諾画面が表示されます。使い方など詳しくは、添付の一太郎9パックのマニュアルをご覧ください。

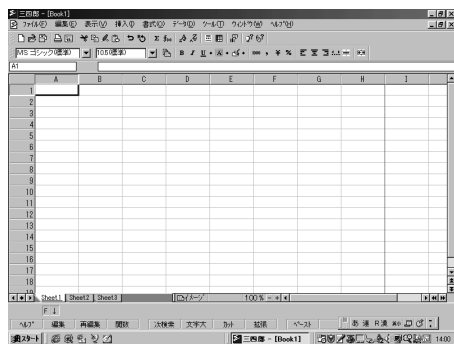
一太郎9



花子9



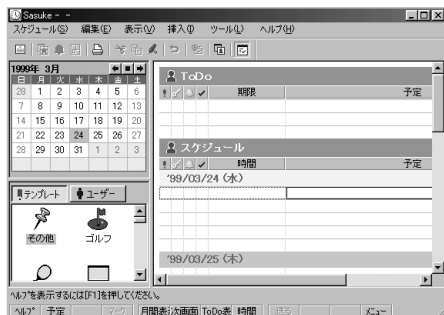
三四郎9



◎ Sasukeの起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Justsystemインターネットツール」で「Sasuke」をクリックする

Sasuke



◎ 削除

一太郎9が常駐している場合は、必ず常駐を解除してから削除してください。
常駐解除の方法は添付の一太郎9パックのマニュアルをご覧ください。

- 1 「削除の準備」(→p.4)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「JUSTSYSTEMアプリケーションの追加と削除」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「一太郎9・花子9パックのセットアップ開始」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「一太郎9・花子9パックの追加と削除」で「ファイルの追加・削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「一太郎9・花子9パックのファイルの追加・削除」で「ファイルの削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

6 「削除するファイルを選択します」と表示されたら「全て選択」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックする

アプリケーションや機能を選んで削除することもできます。

7 「ジャストシステム共通ファイル(32bit)も削除しますか?」が表示されたら「削除しない」をクリックする

「ATOK12をWindowsや他のアプリケーションが使用しているためコンピュータを再起動するときに削除されます。」と表示されることがあります。そのときは、「OK」ボタンをクリックしてください。

8 「フォルダ名を確認してください1/3」で「次へ」ボタンをクリックする

9 「フォルダ名を確認してください2/3」で「次へ」ボタンをクリックする

10 「フォルダ名を確認してください3/3」で「次へ」ボタンをクリックする

11 「ファイルの削除を開始します」で「削除開始」ボタンをクリックする
削除が始まります。

12 「一太郎9・花子9パックのセットアップ終了」が表示されたら「再起動」ボタンをクリックする
これで削除は完了です。

◎ 追加

一太郎9パックの追加については、PART2の「一太郎モデルの再セットアップ」(→p.83)をご覧ください。

Excel 97 & Word 98 & Outlook 98

(Wordモデルのみ)

Wordモデルには、次のソフトウェアがインストールされています。

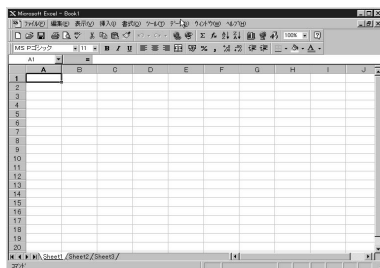
- ・ Excel 97(表計算ソフト)
- ・ Word 98(ワープロソフト)
- ・ Outlook 98(メール／スケジュール管理ソフト)
- ・ Draw 98(作図ソフト)

本機にセットアップされている「Excel 97」、「Word 98」、「Outlook 98」は、「標準セットアップ」でセットアップされており、ご購入時の状態では、すべての機能が使用できるわけではありません。

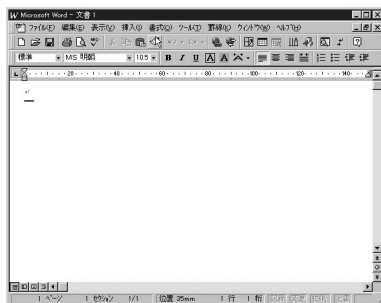
「Excel 97」、「Word 98」、「Outlook 98」の「標準セットアップ」以外の機能を使用する場合は、添付の「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROMから追加してください。追加の方法については、「Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」に添付の「お使いになる前に」をご覧ください。

◎ 起動

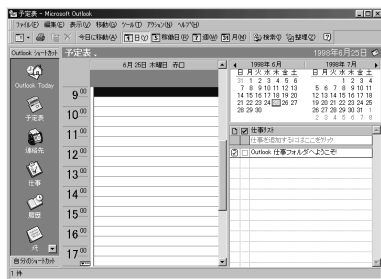
- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Microsoft Excel」、または「Microsoft Word」、または「Microsoft Outlook」をクリックする
Excel 97



Word 98



Outlook 98



Draw 98は、Excel 97またはWord 98のメニューバーから「挿入」→「図」をクリックすると起動します。

◎ 削除

✓ **チェック!!** Draw 98、Word 98、Excel 97の削除には「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROMが必要です。

✓ **チェック!!** 削除の準備

「Word 98」「Excel 97」「Outlook 98」を削除する場合は、CD-ROMドライブのドライブ番号が、「Word 98」「Excel 97」「Outlook 98」を追加（インストール）したときと同じに設定されているようにしてください。

また、標準でインストールされている「Word 98」「Excel 97」「Outlook 98」を削除する場合は、あらかじめCD-ROMドライブのドライブ番号がDドライブに設定されているようにしてください。Dドライブに設定されていない場合には、PART4の「CD-ROMドライブのドライブ番号を変えたい」（→p.173）をご覧ください。Dドライブに設定してください。

◆ Outlook 98の削除

✓ **チェック!!** 再追加したOutlook 98、Word 98、Excel 97をすべて削除するときは、追加した順と逆順に削除を行ってください。
Excel 97、Word 98、Outlook 98の順に再追加したときは、Outlook 98、Word 98、Excel 97の順に削除します。

- 1 「削除の準備」（→p.4）の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Microsoft Outlook 98」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「メンテナンス ウィザード」が表示されたら「Outlook 98の削除」ボタンをクリックする
- 4 「Microsoft Outlook 98コンポーネントをアンインストールします。続行しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
Outlook 98の削除が始まります。

✓ **チェック!!** 共有ファイルの削除メッセージが表示された場合は、「すべて残す」を選択してください。

5 アンインストール完了のメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 再起動のメッセージが表示された場合は、再起動を選択してください。本機が再起動したら、削除の作業を続けてください。

◆ Draw 98の削除

1 CD-ROMドライブに「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROMをセットする

2 「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」が表示されたら「Draw 98のセットアップ」をクリックする

3 「Microsoft Draw 98セットアップ」で「すべて削除」をクリックする

4 「Microsoft Draw 98を削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
「共有コンポーネントの削除」が表示された場合は、「削除しない」をクリックしてください。

5 「Microsoft Draw 98セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 再起動を促すメッセージが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションを終了し、「Windowsの再起動」をクリックしてWindowsを再起動してください。

◆ Word 98、Excel 97の削除

ここでは、Word 98の場合を例に説明しています。Excel 97を削除するときは、本文中の「Word 98」を「Excel 97」に置き換えてお読みください。

1 CD-ROMドライブに「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROMをセットする

2 「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」が表示されたら「Word 98のセットアップ」をクリックする

3 「Microsoft Word 98セットアップ」で「すべて削除」をクリックする

4 「Microsoft Word 98を削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。

☑ **チェック!!** 「共有コンポーネントの削除」が表示されたら「削除しない」をクリックしてください。

5 「Microsoft Word 98セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

☑ **チェック!!** 再起動のメッセージが表示された場合は、「Windowsの再起動」をクリックしてください。

◎ 追加

◆ Excel 97の追加

Excel 97の追加については、PART2の「Excel 97を再セットアップする」(→ p.76)をご覧ください。

◆ Word 98の追加

Word 98の追加については、PART2の「Word 98を再セットアップする」(→ p.78)をご覧ください。

◆ Draw 98の追加

Draw 98の追加については、PART2の「Draw 98を再セットアップする」(→ p.80)をご覧ください。

◆ Outlook 98の追加

Outlook 98の追加については、PART2の「Outlook 98を再セットアップする」(→ p.81)をご覧ください。

VirusScan for Windows NT

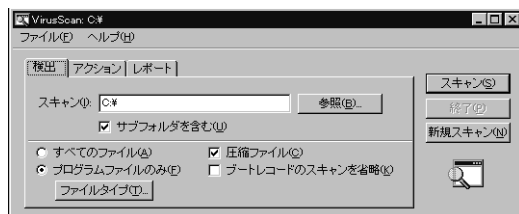
コンピュータウィルスの検出、識別、および除去を行います。

✓チェック!! VirusScan for Windows NTは、ご購入時にはインストールされていません。VirusScan for Windows NTを使用する場合は、添付の「バックアップCD-ROM (OSを除く)」および「バックアップCD-ROM (OSを除く)用インストールディスク」を使ってインストールします。インストールの方法は、「追加」(→p.21)をご覧ください。

◎ VirusScanの起動方法

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Network Associates VirusScan NT」の「VirusScan」をクリックする

VirusScanのウィンドウが表示されます。



VirusScanには、定期的にウィルス検査を行う機能があります。この機能を使うには、次の手順でVirusScanコンソールを起動します。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Network Associates VirusScan NT」の「VirusScanコンソール」をクリックする

プログラムが起動します。

2 定期検査用のタスクを作成する

タスクの作成方法は、オンラインヘルプをご覧ください。

◎ オンアクセススキャンを有効にする

VirusScanには、Windows上で操作するファイルがウィルスに汚染されていないか監視する機能があります。オンアクセススキャンを有効にすると、ファイルをアクセスするたびにウィルスチェックを行うようになります。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Network Associates VirusScan NT」の「VirusScanコンソール」をクリックする
- 2 タスクの一覧の「VirusScan オンアクセスモニタ」を右クリックし、表示されるメニューの「プロパティ」をクリックする
「NetShield NTのプロパティ」が起動します。
- 3 「NetShield NTのプロパティ」の「検出」タブの「情報」で「オンアクセススキャンを起動時に使用可能にする」をクリックし、チェックを付ける
- 4 「NetShield NTのプロパティ」の「OK」ボタンをクリックし、終了する
- 5 本機を再起動する

◎ オンアクセススキャンを無効にする

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Network Associates VirusScan NT」の「VirusScanコンソール」をクリックする
- 2 タスクの一覧の「VirusScan オンアクセスモニタ」を右クリックし、表示されるメニューの「プロパティ」をクリックする
「NetShield NTのプロパティ」が起動します。
- 3 「NetShield NTのプロパティ」の「検出」タブの「情報」で「オンアクセススキャンを起動時に使用可能にする」をクリックし、チェックを外す

4 「NetShield NTのプロパティ」の「OK」ボタンをクリックし、終了する

5 本機を再起動する

◎ 削除

 **チェック!!** VirusScanの削除は、Administrator権限でログオンして行ってください。

1 「削除の準備」(→p.4)の手順1~2を行う

2 「インストールと削除」の一覧から「VirusScan NT v4.0.2(プレインストール版)」をクリックして「追加と削除」をクリックする

3 「VirusScanの削除が選択されました。本当にVirusScanを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする

4 「削除後はシステムを再起動することをお勧めします。続行しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が前面に表示されたときは、「OK」ボタンをクリックし、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」を終了します。

5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

6 本機を再起動する

 **チェック!!** VirusScanの削除後は、必ず本機を再起動してください。

◎ 追加



チェック!!

- VirusScanの追加は、Administrator権限でログオンして行ってください。
- VirusScanの追加後は、自動的に本機が再起動します。あらかじめ、コマンドプロンプト以外のプログラムを終了させておいてください。
- VirusScanのAlert Managerサービスを使用する場合には、ネットワークの設定(TCP/IPプロトコル)のインストールを行ってください。
ネットワークの設定を行っていない場合、「ダイナミックリンクライブラリsnmpapi.dllが指定されたパス……に見つかりません。」というエラーメッセージが表示される場合があります。
- Alert Managerサービスを使用しない場合は、「コントロールパネル」の「サービス」アイコンをダブルクリックしてサービスの一覧から「Network Associates Alert Manager」を選択し、「スタートアップ」の設定を「手動」または「無効」に設定してください。
なお、VirusScanを追加した直後は、Alert Managerサービスを使用する設定になっています。

1 「追加の準備」(→p.6)の手順1～7を行う

2 「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「VirusScan NT」を選択し、「インストール」ボタンをクリックする

表示されるメッセージの「OK」ボタンをクリックすると、インストールが行われます。インストールには1分程かかります。



チェック!! コマンド入力後、キーボードなどに触れないようにしてください。

3 画面が暗くなったら、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出す

取り出してから、しばらくお待ちください。インストールが完了後、自動的に本機が再起動します。

追加後はオンアクセススキャンが有効になっています。オンアクセススキャンを解除するには、「オンアクセススキャンを無効にする」(→p.19)をご覧ください。

インストールについて詳しくは、「バックアップCD-ROM(OSを除く)」の
¥AP¥Virus¥WHATSOEVER J.TXTをご覧ください。



NEC Soft MPEG1.0

MPEGファイル(*.mpg)の再生を行います。

✓チェック!! NEC Soft MPEG1.0はご購入時にはインストールされていません。ご使用になる場合は、「追加」(→p.23)をご覧ください。

◎ 起動

✓チェック!! インターネットエクスプローラ5をインストールしている場合は、この手順でMPEGファイルを再生することはできません。

- 1** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」から「メディアプレーヤー」をクリックする
- 2** 「デバイス」から、「NEC Soft MPEG1.0」をクリックする
- 3** 「ファイルを開く」の画面で、再生したいMPEGファイルをクリックする
- 4** 「開く」ボタンをクリックする
- 5** 再生ボタンをクリックする
再生が始まります。

◎ NEC Soft MPEG1.0に関する注意事項

- ・ビデオのみのデータやビデオCDの静止画を含むデータでは、現在の再生位置を示すスクロールバーの位置と実際の再生位置とが必ずしも一致しません。
- ・メディアプレーヤーのスクロールバーの右側にある小さなボタンは、インジケータがフレームのときのみコマ送りとなります(順方向ボタン)。逆再生方向のボタンは戻す場合と戻らない場合があります。
- ・画質優先モードで再生時、画像サイズを変更すると再生が遅くなる場合があります。
- ・メディアプレーヤーでプルダウンメニューを表示すると再生が停止します。再生中にキーボードから【Alt】を押したときも同様に停止します。

◎ 削除

NEC Soft MPEG1.0の削除は「コントロールパネル」の「マルチメディア」を使用して行います。

- 1 NEC Soft MPEG1.0を使用するアプリケーション(メディアプレーヤー)が起動されていないことを確認する
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」を起動する
- 3 「マルチメディア」をダブルクリックする
- 4 「マルチメディアのプロパティ」から「デバイス」タブを選ぶ
- 5 「メディアコントロールデバイス」の左の $\oplus$ をクリックする
デバイスドライバの一覧が表示されます。
- 6 「(MCI)NEC Soft MPEG1.0」をクリックする
- 7 「削除」ボタンをクリックする
- 8 「削除してもよろしいですか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックする

以上でNEC Soft MPEG1.0が削除されます。

◎ 追加

NEC Soft MPEG1.0の追加は「コントロールパネル」の「マルチメディア」を使用して行います。

- 1 CD-ROMドライブに本機添付の「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする
- 3 「マルチメディア」をダブルクリックする

4 「デバイス」タブにある「追加」ボタンをクリックする

「追加」の画面が表示されます

5 「ドライバの一覧」から「一覧にない、または更新されたドライバ」を選び、「OK」ボタンをクリックする

「ドライバのインストール」の画面が表示されます。

**6 「ドライバのインストール」の画面でコマンドラインに〈CD-ROM
ドライブ名〉: ¥NECMPEG¥と入力し、「OK」ボタンをクリックする**

7 「一覧にない、または更新されたドライバの追加」の画面が表示されるので「(MCI)NEC Soft MPEG1.0」を選び「OK」ボタンをクリックする

システム上にドライバが存在する場合、インストールの確認の画面が表示されるので、新しいドライバをインストールします。

8 インストールが完了するとNEC MPEGコンフィグレーションが表示されるので、「了解」ボタンをクリックする

以上でNEC Soft MPEG1.0が追加されます。

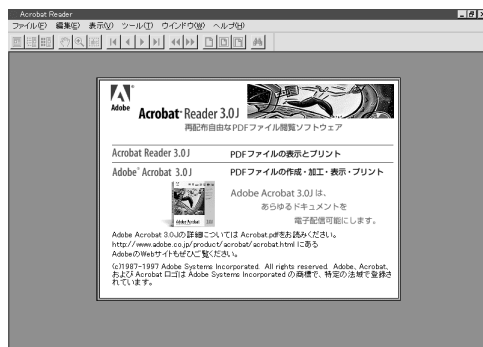
Acrobat Reader 3.0J

PDFファイル(拡張子が.PDFのファイル)を表示することができます。

✓チェック!! Acrobat Reader 3.0Jは、ご購入時にはインストールされていません。Acrobat Reader 3.0Jを使用する場合は、添付の「バックアップCD-ROM(OSを除く)」および「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」を使ってインストールします。インストールの方法は、「追加」をご覧ください。

◎ 起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Adobe Acrobat」→「Acrobat Reader 3.0J」をクリックする



◎ 追加

- 1 「追加の準備」(→p.6)の手順1～7を行う
- 2 「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「Adobe Acrobat Reader 3.0J」を選択し、「インストール」ボタンをクリックする
- 3 「Adobe Acrobat 3.0Jインストール」で「はい」ボタンをクリックする

- 4 「ようこそ」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「使用許諾契約書」の内容を読み、内容に同意できる場合は「はい」ボタンをクリックする
- 6 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、Acrobat Reader 3.0JのREADMEを読む場合はそのまま「終了」ボタンを、読まない場合は「Acrobat Reader 3.0J Readmeファイルを表示する。」のチェックを外してから、「終了」ボタンをクリックする
READMEファイルを読む場合は、読み終わったら右上の  をクリックしてください。
- 8 「セットアップが終了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

◎ 削除

- 1 「削除の準備」(→p. 4)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Adobe Acrobat Reader 3.0J」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」をクリックしてください。
- 4 削除が終了し、「アンインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

CyberAccess

コンピュータの利用環境を、ユーザのレベルや会社管理での必要性によって独自に設定することができます。

✓チェック!! CyberAccessは、ご購入時にはインストールされていません。CyberAccessを使用する場合は、添付の「バックアップCD-ROM (OSを除く)」および「バックアップCD-ROM (OSを除く)用インストールディスク」を使ってインストールします。インストール方法は、「追加」(→p.30)をご覧ください。

◎ CyberAccessの機能

CyberAccessは、個人または会社の管理者が「モード」を作成してシステム設定ツールへのアクセスを限定し、デスクトップを単純化および、操作可能なアプリケーションを限定することができるアプリケーションです。使用者のレベルに合わせて機能を制限できるので、システムへ影響を与えてしまうような操作を未然に防ぐことができます。

◎ モード

CyberAccessをインストールすると、次のモードを利用することができます。

- ・ エキスパートモード : CyberAccessのすべての機能を利用することができます。
- ・ アドバンスモード : コンピュータのシステムのすべてを利用することができます。モードの作成、編集など、CyberAccessの設定を変更することはできません。
- ・ ベーシックモード : システムへ影響を与える機能の動作を制限し、コンピュータのハードウェアやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。
- ・ 新規作成モード : CyberAccessインストール後、新規に作成するモードです。新規にモードを作成するためには、エキスパートモードで起動する必要があります。

◎ 新規モードの作成

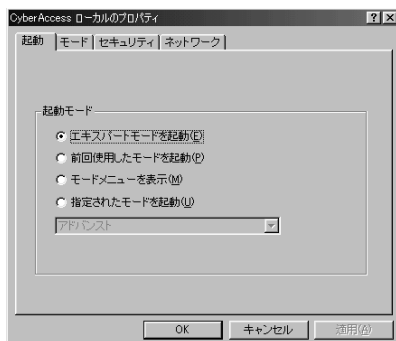
使用環境や使用ユーザに合わせてモードを作成します。ここで作成したモードはローカルPCに保存されます。



チェック!!

- CyberAccessをインストールした直後は「エキスパートモード」に設定されています。エキスパートモードでは、すべてのプログラムやアプリケーションへアクセスすることが可能です。
- ネットワークを利用したりリモート管理を行うには、別売の「CyberAccess Ver1.0」が必要です。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「CyberAccess セットアップ」をクリックする
「CyberAccessローカルのプロパティ」が表示されます。



- 2 「モード」タブをクリックし、「新規作成」をクリックする
「ローカルモードのプロパティ」が表示されます。

- 3 「モード」欄に作成するモードの名前を入力する



チェック!!

「制限」タブ、「単純化」タブの設定項目の中には、Windows NT使用時には有効にならない項目が含まれています。

- 4 機能を制限する場合は「制限」タブをクリックし、制限する機能の ☐ をチェックする

- 5 操作環境を制限する場合は「単純化」タブをクリックし、操作環境を単純化する項目の ☐ をチェックする

- 6 アプリケーションの使用を制限する場合は「プログラム」タブをクリックし、「下記のプログラムのみ使用可能」の ☐ をチェックする
- 7 「追加」をクリックし、使用を許可するアプリケーションをクリックする
- 8 作成しているモードにパスワードを設定する場合は、「全般」タブをクリックし、パスワードを設定する
- 9 「OK」ボタンをクリックする

◎ モードの編集

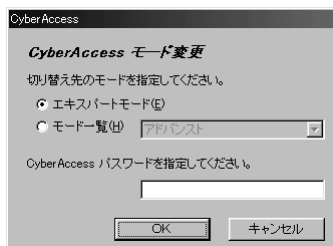
作成したモードを編集します。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「CyberAccess セットアップ」をクリックする
「CyberAccessローカルのプロパティ」が表示されます。
- 2 「モード」タブをクリックする
- 3 「CyberAccess モード」一覧から、編集するモードをクリックし、「編集」をクリックする
「ローカルモードのプロパティ」が表示されます。
- 4 「新規モードの作成」(→p.28)の手順4～8と同様にして、各項目を変更する
- 5 「OK」ボタンをクリックする

◎ モードの切り替え

使用環境や使用ユーザに合わせてモードを切り替えます。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「CyberAccess モードの変更」をクリックする



- 2 「モード一覧」をクリックする

- 3 ▼ をクリックし、切り替えるモードをクリックする

- 4 「OK」ボタンをクリックする

システムがログオフし、モードが切り替わります。

CyberAccessには、エキスパートモードへのアクセスを制限するセキュリティ機能や、起動時のモードを指定できる機能などもあります。詳しくは、「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」の「CyberAccess ヘルプ」をご覧ください。

◎ 追加

- 1 「追加の準備」(→p. 6)の手順1～7を行う

- 2 「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「CyberAccess」をクリックし、「インストール」ボタンをクリックする

- 3 「CyberAccess セットアッププログラムへようこそ」で「次へ」ボタンをクリックする

- 4 「インストール先ディレクトリを選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「セットアップ開始」で「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「セットアップ完了」で「CyberAccess のセットアップに成功しました。」と表示されたら「完了」ボタンをクリックする
- 7 「インストールを有効にするため再起動する必要があります」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
- 8 画面が暗くなったら、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出す

◎ 削除

- 1 「削除の準備」(→p.4)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「CyberAccess」をクリックして、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「CyberAccess アプリケーションとその全てのコンポーネントを削除しますか。」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする



Intellisync

ケーブル接続や赤外線接続を通して、パソコン間でファイルのやりとりを簡単に行うことができます。



チェック!

- Intellisyncは、ご購入時にはインストールされていません。Intellisyncを使用する場合は、添付の「バックアップCD-ROM(OSを除く)」と「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」を使ってインストールします。インストールの方法は、「追加」(→p.37)をご覧ください。
- Intellisync添付のユーザマニュアルをご覧になるには、Acrobat Reader 3.0Jが必要です。インストールの方法は、「Acrobat Reader 3.0J」の「追加」(→p.25)をご覧ください。
- Intellisyncで赤外線機能をお使いになる場合は、赤外線の接続設定を行う前に、必ず『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信を行うまえに」を行ってください。
- 通信相手のパソコンとして他のPC98-NXシリーズやPC-9800シリーズを使う場合には、添付の「バックアップCD-ROM(OSを除く)」を使って相手のパソコンにIntellisyncをインストールする必要があります。インストールの方法は「追加」(→p.37)をご覧ください。
- 相手のパソコンにIntellisyncをインストールする前に本機に添付の「ソフトウェア使用条件適用一覧」の「Intellisync ソフトウェアのご使用条件」をご覧ください。
- Intellisyncで赤外線通信をお使いになる設定をした後に、「BIOSセットアップメニュー」で「赤外線ポート」を「使用しない」設定に変更する場合には、Intellisyncの赤外線接続設定を次の手順で無効にしてから実施してください。

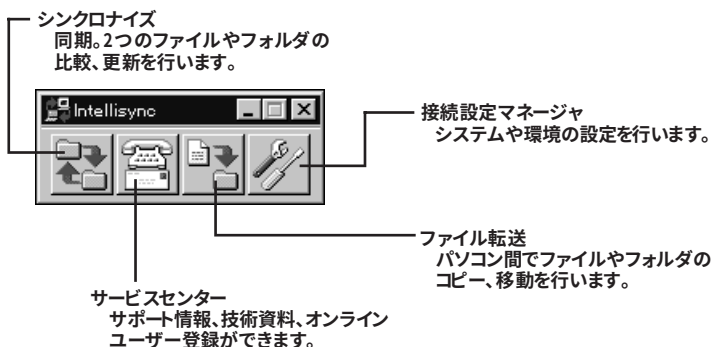
◎ 赤外線通信機能の設定を無効にする

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Intellisync」の「接続設定マネージャ」をクリックする
- 2 「はじめに-接続セットアップマネージャ」が表示されたら、「閉じる」ボタンをクリックする

- 3 「接続設定マネージャ」が起動したら、「ローカルデバイス」タブをクリックし選択する
- 4 「赤外線デバイス」左の $\oplus$ をクリックする
使用している赤外線デバイス「NEC FIR port model 02」が表示されます。
VA36D/AXをお使いの場合は「NEC FIR port model 01」が表示されます。
- 5 デバイス「NEC FIR port model 02」(VA36D/AXの場合は「NEC FIR port model 01」)を右クリックし、表示されたメニューから「無効にする」をクリックする
- 6 「OK」ボタンをクリックする

◎ Intellisyncランチャーの起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Intellisync」の「Intellisync エージェント」をクリックする
- 2 「はじめに-Intellisync」の画面が表示されるので、「OK」ボタンをクリックする
「Intellisyncランチャー」が表示されます。



◎ ローカルシステムの設定

パソコン間でデータのやりとりをするには、はじめに各パソコンで接続システムの設定を行います。

1 Intellisyncランチャーを起動する

2 ランチャーの「接続設定マネージャ」をクリックする

 **チェック!!** 初回起動時には使用許諾画面が表示されます。

3 「はじめに-接続セットアップマネージャ」が表示されたら、「閉じる」ボタンをクリックする

4 「ローカルデバイス」タブをクリックする

5 接続に使用するデバイスのアイコンの左側の をクリックし、表示されたデバイス名をクリックする

デバイスの詳細については、下記の「接続設定」をご覧ください。また、「赤外線デバイス」に  が表示されていないときは、下記の「接続設定」の「赤外線 (IR) 接続設定」をご覧ください。赤外線の設定を行ってください。

6 「プロパティ」をクリックする

7 「プロパティ」のウィンドウで「接続を可能にする」にチェックを付け、「OK」ボタンをクリックする

◎ 接続設定

◆ 赤外線 (IR) 接続設定

本機に内蔵されている赤外線デバイスを使用する場合は、手順2から設定を行ってください。別売の赤外線デバイスを使うときは、手順1から設定を行ってください。

1 COMポートに赤外線デバイスを接続する

詳細は各デバイス添付のマニュアルをご覧ください。

2 二つのシステムの赤外線ポート(IRポート)が向かい合うようにパソコンを設置する

参照 設置時の注意→『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」

3 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」タブをクリックする

4 「赤外線デバイス」を右クリックする

5 「IRウィザード」をクリックする

6 「赤外線の設定」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする

7 デバイスのリストから使用するデバイスを選び、「次へ」ボタンをクリックする

本機内蔵の赤外線デバイスを使うときは、お使いの機種によって選ぶ赤外線デバイスが異なります。VA36D/AXをお使いの場合は「NEC FIR port model 01」を、その他の機種をお使いの場合は「NEC FIR port model 02」を選んでください。

8 「IrCommポートの選択」で「None」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

9 「IrLPTポートの選択」で「None」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

10 設定内容が表示されるので、確認して「完了」ボタンをクリックする

11 「接続設定マネージャ」画面で、「OK」ボタンをクリックする

12 再起動を促す画面が表示された場合は、本機を再起動する

◆シリアルケーブル接続設定

使用するパソコン両方に同じ設定をします。

- 1 COMポート(シリアルポート)にシリアルケーブルを接続する
ケーブルの長さは6m以下にしてください。
- 2 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする
- 3 シリアルケーブルの左の $\oplus$ をクリックする
- 4 COMポートが表示されるので、「COMポート」を選び、「プロパティ」をクリックする
- 5 「接続を可能にする」にチェックを付け、「OK」ボタンをクリックする

◆接続状態のチェック

接続状況をチェックします。接続がうまくいかないときに確認してください。

- 1 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする
- 2 接続状態をチェックしたいデバイスの左の $\oplus$ をクリックする
表示されたマークで確認します。

マーク	マークの意味
	使用可能なポートがない
	接続設定が不可になっている
	他のパソコンと接続されていない(赤信号)
	接続中(黄信号)
	接続されている(青信号)

◎ 削除

- 1 「削除の準備」(→p.4)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Intellisync」をクリックし「追加と削除」をクリックする
- 3 「Intellisync とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら「はい」をクリックし、「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」をクリックする
削除が始まります。
- 4 「アンインストールが完了しました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

◎ 追加

 **チェック!!** 追加を行う前に『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信を行うまえに」を行ってください。

- 1 「追加の準備」(→p.6)の手順1～7を行う
- 2 「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「Intellisync」を選択し、「インストール」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「製品ライセンス契約」画面で契約内容を読み、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする
- 5 「ユーザの情報」画面で「名前」「会社名」を入力し、「次へ」ボタンをクリックする
「会社名」を入力したくない(空白としたい)場合は、入力欄に全角スペースを入力してください。

 **チェック!!** シリアル番号は変更しないでください。

- 6** 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 7** 「セットアップ方法」で「次へ」ボタンをクリックする
- 8** 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 9** 「質問」画面の「スタートアップグループにIntellisyncを追加しますか?」で「いいえ」ボタンをクリックする
- 10** 「セットアップの完了」で「IrWizardを起動して赤外線接続を設定します」にチェックが入っていることを確認して、「完了」ボタンをクリックする

必要に応じて以降の手順を行ってください。

- 11** 「赤外線の設定-現在のデバイス」で「次へ」ボタンをクリックする
- 12** 「赤外線の設定-デバイスの選択」で「NEC FIR port model 02」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
VA36D/AXをお使いの場合は、「NEC FIR port model 01」を選んでください。
- 13** 「赤外線セットアップ-ボーレート最大値を選択」で「115200」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 14** 「赤外線の設定-現在のデバイス」で「完了」ボタンをクリックする
- 15** 「IRセットアップウィザード」で「OK」ボタンをクリックする
- 16** 「セットアップの完了」で「完了」ボタンをクリックする



DMIT00L

DMIT00Lは、パーソナルコンピュータに接続されているハードウェア情報およびインストールされているソフトウェア情報を管理するソフトです。

✓チェック!! DMIT00Lは、ご購入時にはインストールされていません。DMIT00Lを使う場合は、添付の「バックアップCD-ROM (OSを除く)」および「バックアップCD-ROM (OSを除く)用インストールディスク」を使ってインストールしてください。インストールの方法は「追加」(→p.40)をご覧ください。

DMIT00Lは、管理方法として、標準化団体DMTF (Desktop Management Task Force)が規定したDMI (Desktop Management Interface)を採用しています。

DMIT00Lは、次の5つの機能により構成されています。

- システムビューア
- 状態監視
- MIFブラウザ
- リモート電源制御
- WWW Extension

操作方法や表示画面について詳しくは、添付のオンラインヘルプおよび「ご使用になる前に」(Readme.txt)をご覧ください。

✓チェック!! 使用しているコンピュータがネットワークに接続されている場合、定期的にパケットが送信されることがあります。パケットの送信を行いたくない場合は注意が必要です。詳しくは、添付のオンラインヘルプをご覧ください。

◎ 起動

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Dmitool」の中から利用したい機能をクリックする

選択した機能の画面が表示されます。

システムビューア画面



◎ 追加

✓ **チェック!!** DMIT00Lの追加は、Administrator権限でログオンして行ってください。

- 1 「追加の準備」(→p.6)の手順1～7を行う
- 2 「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「DMIT00L」をクリック(反転表示)して「インストール」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」の画面が表示されたら、指示に従い「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「登録」の画面が表示されたら、あなたの名前と会社名を入力して「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「起動モード」の画面が表示されたら、起動モードを選択して「次へ」ボタンをクリックする
プログラムのインストールが開始されます。

✓ **チェック!!** 通常は初期設定のままインストールを行ってください。「起動モード」は「コントロールパネル」の「DMIT00L」で変更可能です。「起動モード」の詳細な説明はインストール後「ご使用になる前に」を参照してください。

- 6 「情報」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 7 フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを抜く
- 8 本機を再起動する

◎ 削除

 **チェック!!** DMIT00Lの削除は、Administrator権限でログオンして行ってください。

DMIT00L WWW Extensionをセットアップしていない場合には、手順7からはじめてください。

- 1 PWS("Microsoft Peer Web Service")を停止する
- 2 「削除の準備」(→p.4)の手順1～2を行う
- 3 「DMIT00L WWW Extension」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 4 DMIT00L WWW Extension常駐プログラム終了を確認する画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 5 PWSプログラム終了を確認する画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 6 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックする
これでDMIT00L WWW Extensionプログラムの削除が開始されます。
- 7 DMIT00L関連のアプリケーションが起動されていないことを確認する
次のアプリケーションがDMIT00L関連のアプリケーションです。
 - ・システムビューア
 - ・状態監視
 - ・システムヘルス

- ・リモートビューア
- ・MIFブラウザ
- ・BIOSブラウザ
- ・リモート電源制御
- ・休眠ファイル

8 「削除の準備」(→p.4)の手順1~2を行う

9 「インストールと削除」画面の一覧から「DMIT00L」をクリックして反転表示させ、「追加と削除」ボタンをクリックする

10 DMIT00L常駐プログラム終了を確認する画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックする

11 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックする
プログラムの削除が開始されます。

 **チェック!!** 「いいえ」を選択し、削除を中断した場合には、システムを再起動してからDMIT00Lを使用してください。

12 削除を開始して間もなく共有ファイルの削除を確認する画面が表示されるので、「すべていいえ」ボタンをクリックする

13 「コンピュータからプログラムを削除」の画面にアンインストール完了のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

14 「リブート」の画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックする
本機が自動的に再起動します。

pcANYWHERE32 EX

ネットワーク接続された他のパソコンに本機の画面を表示し、遠隔地から本機を操作することができます。遠隔地からの保守作業などに使用することができます。

- ✔ **チェック!!**
- ・pcANYWHERE32 EXは、ご購入時にはインストールされていません。pcANYWHERE32 EXを使う場合は、添付の「バックアップCD-ROM(OSを除く)」および「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」を使ってインストールしてください。インストールの方法は、「追加」をご覧ください。
 - ・本機に添付されているpcANYWHERE32 EXを使用して、他のパソコンを操作することはできません。
 - ・接続デバイスはSPX、NetBIOS、Banyan VINES、TCP/IPが設定できます。
 - ・他のパソコンから本機を操作するためには、相手側パソコンに別売の「DMIT00L (pcANYWHERE32 EX コンプリート版付)」またはpcANYWHERE (Symantec社製)がインストールされている必要があります。機能説明や使用方法についても別売の「DMIT00L (pcANYWHERE32 EX コンプリート版付)」などのマニュアルをご覧ください。

◎ 起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「pcANYWHERE32 EX」の「pcANYWHERE32 EX」をクリックする

◎ 追加

- 1 「追加の準備」(→p.6)の手順1～7を行う
- 2 「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「pcANYWHERE32 EX」をクリックして反転表示させ、「インストール」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「ユーザーの情報」と表示されたら名前と会社名を入力し「次へ」ボタンをクリックする

- 5 「オンライン使用許諾契約」と表示されたら、契約内容をよくお読みになり、同意のうえ、「はい」ボタンをクリックする
- 6 「セットアップは次のフォルダにpcANYWHERE 32をインストールします。」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「セットアップレビュー」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。
- 8 「セットアップの完了」と表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します」がチェックされていることを確認し、フロッピーディスク(またはスーパーディスク)ドライブからディスクを取り出して「終了」ボタンをクリックする
自動的に再起動します。

◎ 削除

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「pcANYWHERE32 EX」にある「pcANYWHERE32 EXの削除」をクリックする

- 2 「ファイル削除の確認」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする

✓ **チェック!!** 共有ファイルの削除を確認する画面が表示された場合、「すべてはい」ボタンをクリックしてください。すぐに削除の継続を確認する画面が表示されるので「はい」ボタンをクリックしてください。

- 3 「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

✓ **チェック!!** 共有コンポーネントの削除を確認する画面が表示された場合、すべて「はい」ボタンをクリックしてください。

- 4 「pcANYWHEREはコンピュータからインストール解除されました。今すぐ再ブートしますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

本機が自動的に再起動します。

Masty Data Backup

Masty Data Backup(マスティデータバックアップ)は、Windows NT対応の高機能バックアップツールです。

✓チェック! Masty Data Backupは、ご購入時にはインストールされていません。Masty Data Backupを使う場合は、添付の「バックアップCD-ROM(OSを除く)」および「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」を使ってインストールしてください。インストールの方法は次の「追加」をご覧ください。

“ハードディスクが突然クラッシュ”この時の損害は計り知れないものがあります。そのため、データのバックアップは不可欠です。Masty Data Backupは、このような万が一の事態にもデータを保全し、お客様の損害を最小限におさえるツールです。

Masty Data Backupには次のような特徴があります。

- ・OSがサポートしている装置(MO、PD、ハードディスクなど)にデータをバックアップできます。
- ・日付／曜日／時間を指定すれば、好きな時に自動実行するスケジューリングができます。
- ・データの圧縮を行いながらバックアップができます。
- ・複数枚の媒体に分けてバックアップができます。
- ・世代管理ができます。
- ・S.M.A.R.T機能を利用したバックアップができます。

◎ 起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Masty Data Backup 1.0」→「Masty Data Backup 1.0」をクリックする

◎ 追加

- 1 「追加の準備」(→p.6)の手順1～7を行う
- 2 「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「Masty Data Backup/F」を選択し「インストール」ボタンをクリックする
- 3 画面の指示に従って、セットアップを行う

4 「インストール先の選択」画面でディレクトリの変更をする場合は指定する

「セットアップが完了しました。」というメッセージが表示されたら、セットアップは終了です。

◎ 削除

1 Masty Data Backupを終了させる

タスクトレイに時計アイコンが存在する場合は、タスクトレイの時計アイコン上で右クリックして、「閉じる」をクリックしてください。

次に、タスクバーの「Masty Data Backup」を右クリックし「閉じる」を選択して終了してください。

2 「削除の準備」(→p. 4)の手順1～2を行う

3 「インストールと削除」の一覧から「Masty Data Backup/F」を選択し、「追加と削除」ボタンをクリックする

4 画面の指示に従い、削除を行う



チェック!!

- ・アンインストーラ(アンインストールをするプログラム)は、Windows NTの登録情報とプログラムファイルを削除します。お客様が作成されたログファイル等は削除しません。このため、アンインストーラがディレクトリの削除に失敗することがあります。この場合には、エクスプローラ、またはファイルマネージャなどを使用して削除してください。
- ・再セットアップ時以外にMasty Data Backupにて作成されるファイルはログファイル以外にもいくつかあります。ログファイル以外は全て隠しファイルとなっています。

◎ 自動実行の登録

Masty Data Backupで自動実行を行うには、常駐プログラム「MastAut.exe」を「スタートアップ」グループに登録する必要があります。

次の手順で登録してください。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「タスクバーと[スタート]メニュー」をクリックする
- 2 「タスクバーのプロパティ」で「[スタート]メニューの設定」タブをクリックする
- 3 「追加」ボタンをクリックする
- 4 「参照」ボタンをクリックし、Masty Data Backupがインストールされているフォルダ(通常は“ ¥Program Files¥MASTBK ”)の「MastAut.exe」ファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックする
- 5 「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「スタートアップ」をクリックして、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 ショートカットの名前を変更する場合は、「名前の指定」画面で指定する
- 8 「完了」ボタンをクリックする
- 9 「タスクバーのプロパティ」の「OK」ボタンをクリックする

再セットアップするには

システムの修復方法や、本機に添付されている「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」や「バックアップCD-ROM(OSを除く)」などを使って、本機のシステムやアプリケーションを復元する方法を説明しています。

このPARTの内容

再セットアップについて

システムを修復する

Windows NT 4.0を再セットアップする

Wordモデルの再セットアップ

一太郎モデルの再セットアップ

再セットアップについて

システムにトラブルが起きたとき、システムを復元しなければなりません
が、起こった症状や目的によって、対処方法は異なります。

再セットアップが必要になるとき

次のようなときには、パソコンの再セットアップが必要です。

- ・電源を入れたが、システムが起動しない
- ・ハードディスク内のプログラムが正常に動作しないとき
- ・ハードディスク内のシステムファイルを誤って消してしまった
- ・ハードディスク内のアプリケーションを「アプリケーションの追加と削除」の機能を使って削除してしまい、追加できない
- ・本機内蔵のハードディスクを購入時と異なるドライブ構成で使いたい

システムの修復方法について

システムの修復方法には、次の3通りの方法があります。どの方法を使うかはシステムの状況により異なりますので、次の順番で簡単な方法から試してください。

「前回正常起動時の構成を使用」メニューを使用して、システムを修復

p.51 「「前回正常起動時の構成を使用」メニューを使ってシステムを修復する」



「システム修復ディスク」を使用して、システムを修復

p.52 「「システム修復ディスク」を使用してシステムを修復する」



再セットアップを行う

p.53 「Windows NT 4.0を再セットアップする」

使用しないアプリケーションを削除したい場合や、削除したアプリケーションを再追加したい場合、また、Windows NT 4.0を再セットアップした後にアプリケーションを追加したい場合は、PART1の「アプリケーションの削除と追加」をご覧ください。

システムを修復する

ここでは、システム構成を変更したことで、正常にシステムが起動しなくなった場合の対処方法について説明しています。

「前回正常起動時の構成を使用」メニューを使ってシステムを修復する

システムを変更した後で、Windows NTが起動できなくなった場合は、前回正常起動時の構成を使用して、問題を解決することが出来ます。

- ✓ **チェック!!**
- ・前回システムが正常に起動したとき以降に行った構成の変更は、すべて破棄されます。
 - ・構成を変更したあとに2回以上問題なくブートしているときは、この操作を行っても変更前の構成には戻りません。

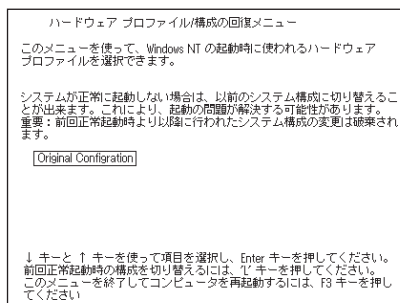
前回正常起動時の構成を使用するときは、次の手順に従ってください。

1 本機の、問題があるWindows NTを起動する

「ここでspaceキーを押すと、ハードウェアプロファイル/システム構成の回復メニューが表示されます」のメッセージが表示されます。

2 上記のメッセージが表示されている間に【スペース】を押す

「ハードウェア プロファイル/構成の回復メニュー」が表示されます。



このメニューでは次のいずれかを選択できます。

- ・本機の起動時に使われるハードウェアプロファイルの選択
- ・前回正常起動時の構成の切り替え
- ・本機の再起動

3 【L】を押して、【Enter】を押す

前回正常起動時の構成を使用してWindows NTが起動します。

「システム修復ディスク」を使用してシステムを修復する

ファイルなどの破損により、前回正常起動時の構成を使用してもWindows NTが正常に起動しなかった場合、「Windows NTセットアップの修復」ならびに「システム修復ディスク」を使用してシステムを修復できます。「システム修復ディスク」を作成していない場合や紛失してしまった場合でも、Windows NTのrepairディレクトリの中に、修復に必要な情報が保存されているので修復は可能です。

システムの修復は次の手順で行います。この手順を行う場合、「Windows NT 4.0を再セットアップする」(→p.53)の手順を参照しながら行ってください。

1 「Windows NT 4.0を再セットアップする」(→p.53)の手順に従って、Windows NTのセットアップを行う

セットアップ時に、Windows NTをセットアップするのか、Windows NTを修復するのかを指定する画面が表示されます。

2 【R】を押して「Windows NTのファイルの修復」を選択する

「システム修復ディスク」をセットするように指示する画面が表示されます。

3 「システム修復ディスク」をフロッピーディスクドライブにセットする 「システム修復ディスク」がない場合は、本機上で見つかったWindows NTの一覧が表示されるので、修復するWindows NTを指定する

4 画面の指示に従って、修復を行う

5 修復終了のメッセージが表示されたら、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出してもう一度起動し直す

-  **チェック!!** ・修復ディスクユーティリティをバックアップ目的に使用しないでください。
- ・Windows NTのrepairディレクトリ内の情報と「システム修復ディスク」の情報は、常に最新の情報になるようにしてください。最新の構成情報がシステム修復時に反映されていないと、修復時に予期せぬエラーを引き起こす場合があります。構成情報を最新にするには、rdisk.exeを使用してください。

 **参照** ▶ rdisk.exeを使うには→Windows NTのオンラインヘルプの「修復ディスクユーティリティのヘルプ」

Windows NT 4.0を再セットアップする

本機にWindows NT 4.0(以降、Windows NT)のシステムを再セットアップする方法について説明しています。

再セットアップする前に

ここでは、再セットアップを行う際に必要な情報や注意事項について説明しています。

再セットアップを始める前に必ずお読みください。

◎ 準備するもの

再セットアップを行うには、次のものがが必要です。

- ・ 本機に添付されているWindows NT Workstation CD-ROM Disc1～Disc2
- ・ 本機に添付されているWindows NT Workstation Setup Disk1 ～ Disk3
- ・ 本機に添付されているバックアップCD-ROM(OSを除く)
- ・ 本機に添付されているバックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク
- ・ 本機に添付されているマイクロソフト ウィンドウズNT サービスパック4
- ・ 本機に添付されている「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」CD-ROM(Wordモデルのみ)
- ・ 本機に添付されている「一太郎9・花子9パック」CD-ROM(一太郎モデルのみ)

また、「システム修復ディスク」を作成する場合は次のものを用意してください。

- ・ **フォーマット済みの1.44Mバイトフロッピーディスク**
フロッピーディスクには「システム修復ディスク」のラベルを貼っておいてください。

◎ 必要なハードディスクの空き領域

再セットアップするには、次の容量以上のハードディスク領域が必要になります。

- ・ 一太郎モデル…1,250Mバイト
- ・ Wordモデル…1,030Mバイト
- ・ 上記以外のモデル…850Mバイト

◎ 再セットアップに関する注意

- ・ バックアップCD-ROMで再セットアップできるのは、本機に標準で添付されていたソフトウェアのみです。購入後にインストールされたアプリケーションや、作成されたデータは復元されません。
- ・ 再セットアップを行う前に、大切なデータは必ずバックアップをとっておいてください。
- ・ 『はじめにお読みください』をご覧ください、本機をご購入時の状態（別売の周辺機器を取り外した状態）にしてから再セットアップを行ってください。
- ・ 本機を購入後、お客様が接続した周辺機器の設定はすべて消えて初期状態になります。システムの再セットアップ後にもう一度、設定し直してください。

参照 周辺機器の設定をするときには →『Microsoft® Windows NT® Workstation ファーストステップガイド』、『活用ガイド ハードウェア編』または周辺機器のマニュアル

- ・ サスペンド状態では再セットアップできません。
一度レジュームし、Windowsを終了させてから本機の電源を切ってください。
- ・ バッテリー駆動状態では、再セットアップはできません。必ず、ACアダプタを接続してから行ってください。
- ・ 再セットアップは途中で中断しないでください。もし、中断した場合は最初からやり直してください。
- ・ 再セットアップ中はオートパワーオフは無効となります。
- ・ 実際に表示される画面は、お使いの機種によって、本文中の画面と一部異なる場合があります。

◎ 再セットアップする前の確認事項

「BIOSセットアップメニュー」で設定を変更している場合は、Windows NTの再セットアップを行う前に、出荷時の設定に戻してください。

参照

「BIOSセットアップメニュー」について→『活用ガイド ハードウェア編』の「PART3 システムの設定」

再セットアップの手順

Windows NTを再セットアップするには次の手順で行います。

1. Windows NTの再セットアップ

内蔵LANの設定(LAN内蔵モデルのみ)

2. Windows NTのアップデート

3. ドライバのセットアップ

内蔵アクセラレータドライバのセットアップ

内蔵サウンドドライバのセットアップ

NXパッドドライバのセットアップ

内蔵FAXモデムのセットアップ

スーパーディスクドライブのセットアップ(スーパーディスクドライブ搭載モデルのみ)

4. インターネットエクスプローラのセットアップ

5. 「西暦2000年問題対応ServicePack」のセットアップ

6. 添付アプリケーションのセットアップ

ここでは、次のようなドライブ構成になっている場合を例に説明します。実際と異なる場合は、読み替えてください。

Windows NT を再セットアップするディレクトリ C: ¥WINNT
フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブ A
CD-ROMドライブ E (またはD)

なお、このマニュアルでは、おもにフロッピーディスクドライブを使用した場合の説明が記載されています。スーパーディスクドライブを使用する方は、「フロッピーディスクドライブ」の部分が必要に応じて「スーパーディスクドライブ」に読み替えてください。

 **チェック!!** 「Windows NTのアップデート」以降の作業は、必ずAdministrator権限を持つユーザで行ってください。本機にログオンしているお客様のアカウントがAdministrator権限を持っているか分からない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

 用語 Administrator権限

Administrator権限とは、コンピュータの全体的な構成を管理するための管理者権限のことです。

1. Windows NTの再セットアップ

ここでは、Windows NTのセットアップ手順について説明します。ここで詳しく解説されていない手順については、『Microsoft® Windows NT® Workstationファーストステップガイド』、オンラインヘルプ、または、Windows NTの説明ファイルをご覧ください。

 **チェック!!** スーパーディスクドライブ搭載モデルをご使用の場合は、スーパーディスクドライブを使用してWindows NT 4.0を再セットアップをする場合に、「Windows NT Workstation Setup Disk1」から本機を起動することができません。次の手順に従ってCD-ROMブートを行い、「WindowsNT Workstation CD-ROM Disc1」で本機を起動してください。また、以降の「フロッピーディスクドライブ」を「スーパーディスクドライブ」と読み替えてください。

1. 本機の電源を入れます。
2. 「NEC」のロゴが表示されたらすぐに【F2】キーを押します。
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。
3. 【↓】を押して「起動デバイスセットアップ」を選択し、【Enter】を押します。
4. 【PgDn】または【PgUp】を押して「第一起動デバイス」を「CD-ROM」にします。
5. 【Esc】を押します。
6. 【F10】を押します。

7. 「現在の状態を保存して設定を終了しますか?はい いいえ」と表示されたら「はい」を選び、【Enter】を押します。

これでCD-ROMブートが行われます。

「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」をCD-ROMドライブにセットしておいてください。

- 1** 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows NT Workstation Setup Disk1」をセットして(スーパーディスクドライブ搭載モデルをご使用の場合は不要)、次に、CD-ROMドライブに「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」をセットする

- 2** 画面の指示に従って、セットアップディスクを入れ替える

- 3** 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら【Enter】を押す
CD-ROMブートを行った場合は、手順6へ進んでください。

- 4** 大容量記憶装置の検出を行うかどうかのメッセージが表示されたら、【Enter】を押す

「Windows NT Workstation Setup Disk3」をセットするように指示するメッセージが表示されます。

- 5** フロッピーディスクドライブから「Windows NT Workstation Setup Disk2」を取り出し、「Windows NT Workstation Setup Disk3」をセットして、【Enter】を押す

「大容量記憶装置を検出しました」の画面が表示されます。

- 6** 「IDE CD-ROM(ATAPI 1.2)/PCI IDE Controller」が表示されていることを確認して、【Enter】を押す

「Windows NTライセンス契約」が表示されます。【PgDn】を押し、最後まで契約内容をお読みください。契約内容に同意される場合は【F8】を押して作業を続けてください。

7 画面の指示に従って、再セットアップを続ける

- ・本機にその他のWindows NTがインストールされている場合、アップグレードするかどうか確認されますが、ここでは【N】を押して「新しいバージョン」を選んだ後、再セットアップを続けてください。
- ・キーボードの種類は【半角／全角】を押して「106日本語キーボード」を選んでください。
- ・「コンピュータには、次のハードウェアとソフトウェアがあります」の画面で、「ディスプレイ」の項目は「標準 VGA(640×480, 16色)」で行ってください。

8 画面の指示に従って項目を選択し、【Enter】を押す

9 Windows NTをインストールするパーティション、ファイルシステム、インストール先のディレクトリの設定を行う

ファイルシステムの選択画面では、「FATファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」または、「NTFSファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」を選択してください。

 **チェック!!** 購入時の状態に戻すには、「FATファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」を選択してください。

設定を行うと、ハードディスクの検査とファイルのコピーの実行後、「ここまでのセットアップは正常に終了しました」というメッセージが表示されます。

10 フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出して、本機を再起動するテキストセットアップが終了して本機を再起動させると、グラフィックセットアップの画面が表示されます。

11 画面の指示に従ってCD-ROMドライブに「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」をセットしてから、「次へ」ボタンをクリックした後、次の設定を行う

- ・セットアップ方法
- ・個人情報の入力
- ・プロダクトIDの登録
- ・コンピュータ名の登録

- ・ 管理者アカウントのパスワードの登録
- ・ システム修復ディスク作成の選択
- ・ インストールするファイルの選択

購入時の状態に戻すには、セットアップ方法の選択画面で、「カスタム」を選択し、インストールするファイルの選択画面で、全てのファイルにチェックをつけてください。

プロダクトIDは、添付の『Microsoft® Windows NT® Workstation ファーストステップガイド』の表紙に記載されています。

◎ 内蔵LANの設定 (LAN内蔵モデルのみ)

◆ Windows NT 4.0のセットアップ中に設定する場合

- 12** Windows NT 4.0のセットアップ中に、「ネットワークに参加する」の「ネットワークに接続」を選んで「次へ」ボタンをクリックする
以後は、◆ Windows NT 4.0のセットアップ後に設定する場合」の手順15に進んでください。

◆ Windows NT 4.0のセットアップ後に設定する場合

- 12** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」でコントロールパネルを開き、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックする
- 13** 「Windows NTネットワークがインストールされていません。今すぐインストールしますか」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 14** 「ネットワークセットアップウィザード」で「ネットワークに接続」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 15** ネットワークアダプタの検索画面が表示されたら、「一覧から選択」ボタンをクリックする
- 16** ネットワークアダプタの選択画面で、「ディスク使用」ボタンをクリックする

- 17** 「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」をフロッピーディスクドライブにセットし、次のように入力して、「OK」ボタンをクリックする

A: ¥DC21X4

- 18** OEMオプションの選択画面で、一覧から「Digital Semiconductor 21143 based 10/100 mpbs Ethernet Controller」を選び、「OK」ボタンをクリックする

- 19** ネットワークアダプタの検索画面に、「Digital Semiconductor 21143 based 10/100 mpbs Ethernet Controller」が表示されていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする

- 20** 次のネットワークアダプタの構成を行う

- ・ ネットワークプロトコルの選択
- ・ ネットワークサービスの選択
- ・ ネットワークの設定の確認
- ・ ネットワークに必要なファイルのコピー
- ・ Digital Semiconductor 21143 based 10/100 mpbs Ethernet Controllerの設定
- ・ ネットワークバインドの調整
- ・ ワークグループまたはドメインの参加

 **チェック!!** ネットワークに必要なファイルのコピーファイルの読み込みが要求された場合は、「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」をCD-ROMドライブにセットし、キーボードから「<CD-ROMドライブ名>: ¥i386」と入力して「続行」ボタンをクリックしてください。

これで、内蔵LANドライバを組み込む手順が終了しました。後は画面の指示に従って設定を行ってください。

 **チェック!!** Windows NT 4.0のセットアップ終了後にネットワークの設定を行った場合は、ネットワークの設定後に本機を再起動するか確認の画面が表示されますが、再起動はしないでください。

「スタート」ボタン→「プログラム」→「Service Pack4」→「Service Pack4のインストール」をクリックしてサービスパック4をインストールしてください。それ以降は、画面の表示に従ってインストールを続行してください。

ファイルコピー中にファイルの置き換えを確認するメッセージが表示された場合には、「いいえ」ボタンまたは「すべて上書きしない」ボタンをクリックしてください。

21 日付時刻の設定／ディスプレイの設定を行う

画面の指示に従って、次の項目について設定してください。

- ・日付、時刻および時間帯の設定
- ・ディスプレイの設定(確認のみ)

「検出されたディスプレイ」の画面が表示され、“vga互換ディスプレイアダプタ”が検出されます。

22 「OK」ボタンをクリックする

「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

23 「OK」ボタンをクリックする

24 ファイルのコピー終了後、手順11で「システム修復ディスクを作成する」を選択した場合、「システム修復ディスク」の作成を行う用意しておいたフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットして、「はい」ボタンをクリックします。

25 「システム修復ディスク」の作成が終了したら、フロッピーディスクドライブから「システム修復ディスク」、CD-ROMドライブから「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」を取り出す

26 「コンピュータの再起動」ボタンをクリックして、Windows NTを再起動する

以上で、Windows NT本体の再セットアップは終了しました。

Windows NT 再起動後、「Windows NTのアップデート」に進んでください。

ファイルシステムとしてNTFSを選択した場合は、最初のシステム起動でファイルシステムの変換を行い、その後自動起動します。

✓**チェック!!** スーパーディスクドライブを使用してWindows NT 4.0を再セットアップした場合は、ここでp.56の手順を参考に「第一起動デバイス」を「スーパーディスク」に戻してください。

✓**チェック!!** これ以降の作業は、必ずAdministrator権限を持つユーザで行ってください。本機にログオンしているお客様のアカウントがAdministrator権限を持っているか分からない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Administrator権限とは、コンピュータの全体的な構成を管理するための管理者権限のことです。

Administrator権限を持つユーザでログインする方法が不明な場合、「ログオン情報」画面で「ユーザー名」に“ Administrator ”、「パスワード」に本機初回起動時にお客様が設定した管理者アカウントのパスワードを入力し、「ドメイン名」で初回起動時に設定したコンピュータ名を選択して「OK」ボタンをクリックします。

(ドメイン名はネットワークのインストールでドメインを設定した場合のみ表示されます)

2. Windows NTのアップデート

「バックアップCD-ROM(OSを除く)」、「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」には、本機の機能を有効に利用するための最新のドライバが保存されています。

ここでは、Windows NTのアップデートの手順について説明します。

1 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする

2 フロッピーディスクドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」をセットし、CD-ROMドライブに「Microsoft WindowsNT Workstation CD-ROM Disc1」をセットする

ここで「Windows NT CD-ROM」画面が表示されたら、右上の  ボタンをクリックしてください。

3 「インストール」ボタンをクリックする

「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」画面が表示されます。

4 「次へ」ボタンをクリックする

5 ボックス内に「A: ¥NXSETUP.EXE」と表示されたのを確認して、「完了」ボタンをクリックする

「PC98-NX SERIESバックアップ(OSを除く)セットアップユーティリティ」のセットアップ画面が起動し、「アプリケーションの追加」ダイアログボックスに「Windows NT 4.0のアップデート」が表示されます。

6 「Windows NT 4.0のアップデート」が選択されていることを確認し、「インストール」ボタンをクリックする

7 以降は、画面の指示に従ってセットアップを行う

セットアップが終了したら、フロッピーディスク、CD-ROMを取り出して「OK」ボタンをクリックする

本機が自動的に再起動します。



チェック!! PowerProfilerのインストールを終了したときに、本機の再起動を選択する画面が表示されます。この場合、再起動を選択しても問題はありません。また、ここで再起動を選択しない場合でも、次のステップで本機の再起動が指示されます。

3. ドライバのセットアップ

続けて次のドライバをセットアップします。

- (1) 内蔵アクセラレータドライバのセットアップ
- (2) 内蔵サウンドドライバのセットアップ
- (3) NXパッドドライバのセットアップ
- (4) 内蔵FAXモデムのセットアップ
- (5) スーパーディスクドライバのセットアップ(スーパーディスクドライブ搭載モデルのみ)

◎ 1. 内蔵アクセラレータドライバのセットアップ

Windows NTを再セットアップしたドライブの¥NT40ディレクトリには、内蔵アクセラレータのドライバが保存されています。ここでは、内蔵アクセラレータドライバの再セットアップ手順について説明します。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする
- 2 「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする
- 3 「ディスプレイの設定」タブをクリックする
- 4 「ディスプレイの種類」ボタンをクリックする
- 5 「変更」ボタンをクリックする
- 6 「ディスク使用」ボタンをクリックする
ドライバの入ったフロッピーディスクをセットするように指示されます。
- 7 Windows NTを再セットアップしたドライブから下記のディレクトリを指定して、「OK」ボタンをクリックする

- ・VA36D/AXの場合

- C:¥NT40¥RAGELT

- ・上記以外のモデルの場合

- C:¥NT40¥NMG4

8 「ディスプレイ」リストボックスから、下記を選択する

- VA36D/AXの場合
ATI 3D RAGE LT PRO PCI
- 上記以外のモデルの場合
NeoMagic MagicGraph128 Family

9 「OK」ボタンをクリックし、「はい」ボタンをクリックする 当社以外のドライバ組み込み確認のメッセージが表示されます。

10 「はい」ボタンをクリックする ドライバ組み込み結果が表示されます。

11 「OK」ボタンをクリックする

12 「ディスプレイの種類」ウィンドウで「閉じる」ボタンをクリックする

13 「画面のプロパティ」ウィンドウで「閉じる」ボタンをクリックする 「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。 ます。今すぐ再起動しますか?」というメッセージが表示されます。

14 「いいえ」ボタンをクリックする 続けて「2. 内蔵サウンドドライバのセットアップ」に進んでください。

◎ 2. 内蔵サウンドドライバのセットアップ

次の手順で内蔵サウンドドライバのセットアップを行います。

1 「コントロールパネル」を開き、「マルチメディア」アイコンをダブルクリックする

2 「デバイス」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリックする

3 ドライバの一覧から「一覧にない、または更新されたドライバ」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする ドライバのインストール画面が表示されます。

4 Windows NTを再セットアップしたドライブの次のディレクトリを指定して「OK」ボタンをクリックする

C:\¥NT40¥MAESTR02

5 ドライバの一覧から次のドライバを選び、「OK」ボタンをクリックする

ESS AudioDriver M2/M2E 4.XX.xx

「4.XX.xx」は、バージョン番号です。XXの番号は、機種によって異なる場合があります。

6 「再起動する」ボタンをクリックする

Windows NTが再起動します。再起動後に「無効なディスプレイ設定」ウィンドウが表示されます。

7 「OK」ボタンをクリックする

「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

8 色数と解像度を設定し、「テスト」ボタンで表示を確認したあと、「OK」ボタンをクリックする

「テスト ビットマップは正しく表示されましたか?」というメッセージが表示されます。

9 「はい」ボタンをクリックする

色数は「カラーパレット」、解像度は「デスクトップ領域」で設定できます。設定が終わったら、最後に「OK」ボタンをクリックして「画面のプロパティ」ウィンドウを閉じてください。

◎ 3. NXパッドドライバのセットアップ

次の手順でNXパッドドライバのセットアップを行います。

1 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする

「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 2 「全般」タブをクリックし、「変更」ボタンをクリックする
「デバイスの選択」ウィンドウが表示されます。
- 3 「ディスク使用」をクリックする
ドライバのインストール画面が表示されます。
- 4 Windows NTを再セットアップしたドライブの、次のディレクトリを指定して「OK」ボタンをクリックする

C:¥NT40¥SLIDEPAD
- 5 モデルの一覧から「NX PAD」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
「デバイスのインストールの確認」ウィンドウが表示されます。
- 6 「はい」ボタンをクリックする
インストールが行われます。
- 7 ファイルのコピーが終了したら、「マウスのプロパティ」ウィンドウで「閉じる」ボタンをクリックする
「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか?」というメッセージが表示されます。
- 8 「はい」ボタンをクリックしてWindows NTを再起動する
再起動後にドライバが有効になります。

◎ 4. 内蔵FAXモデムのセットアップ

FAXモデム内蔵モデルをお使いの場合は、ここで内蔵FAXモデムのセットアップが必要です。次の手順でセットアップを行います。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「シリアルポート」アイコンをダブルクリックする
- 2 「追加」ボタンをクリックする

3 「新しいポートの詳細設定」で各設定を選ぶ

「COMポートの番号」は必ず「5」を選択してください。「I/Oポートアドレス」は他のデバイスと競合しない値を選んでください。

「割り込み番号(IRQ)」は、『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「割り込みレベル・DMAチャンネル」に記載されている値を設定してください。

4 「OK」ボタンをクリックする

5 「システム設定の変更」で「再起動しない」をクリックする

6 「閉じる」ボタンをクリックする

7 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「モデム」アイコンをダブルクリックする

8 「新しいモデムのインストール」で「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする

9 「ディスク使用」ボタンをクリックする

10 「フロッピーディスクからインストール」画面で次のように入力し、「OK」をクリックする

C:¥NT40¥LTMODEM

11 「LT Win Modem」を選択し、「次へ」をクリックする

12 モデムをインストールするポートとして、「選択したポート」をチェックする

13 「COM5」を選択して「次へ」ボタンをクリックする

14 「所在地情報」を設定して「次へ」ボタンをクリックする



チェック!! 「所在地情報」画面は、1回目のモデムセットアップ時にのみ表示されます。すでに他のモデムをセットアップしているときなどは、「所在地情報」画面が表示されないことがあります。

15 「次へ」ボタンをクリックする

16 以後は画面のメッセージに従って操作し、セットアップを終了する

◎ 5. スーパーディスクドライバのセットアップ (スーパーディスクドライブ搭載モデルのみ)

スーパーディスクドライブ搭載モデルで、1.2MB(512バイト/セクタ、1024バイト/セクタ)フォーマットのフロッピーディスクを使用する場合は、スーパーディスク3モード対応ドライバおよび専用フォーマットユーティリティをセットアップする必要があります。720KB/1.44MBフォーマットのフロッピーディスクおよびスーパーディスク(120MB)しか使用しない場合は、このセットアップは必要ありません。

1.2MB(1024バイト/セクタ)はPC-9800シリーズの1.25MB(1024バイト/セクタ)のことで、専用フォーマットユーティリティでは、「3.5インチ、1.2MB、1024バイト/セクタ(NEC)」と表示されます。

◆ スーパーディスク3モード対応ドライバのセットアップ

- 1 Administrator権限のあるユーザでWindows NT 4.0にログオンする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「SCSIアダプタ」アイコンをダブルクリックする
- 3 「ドライバ」タブをクリックする
- 4 「追加」ボタンをクリックする
- 5 「ドライバのインストール」画面で、「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 6 「フロッピーディスクからインストール」画面で、「配布ファイルのコピー元」にC:¥NT40¥LS120DRVを指定して「OK」ボタンをクリックする
- 7 「SCSIアダプタ」の一覧に「Panasonic SuperDisk」があることを確認して、「OK」ボタンをクリックする

8 「Windows NTセットアップ」画面で、C:¥NT40¥LS120DRVと指定して「続行」ボタンをクリックする

9 「今すぐコンピュータを再起動しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックする

◆ 専用フォーマットユーティリティのセットアップ

1 Administrator権限のあるユーザでWindows NT 4.0にログオンする

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする

3 「名前」にC:¥NT40¥MKELS120¥SETUP.EXEと指定して、「OK」ボタンをクリックする

4 画面に表示されるメッセージに従ってセットアップを行う

◆ スーパーディスク 3モード対応ドライバのアンインストール

1 Administrator権限のあるユーザでWindows NT 4.0にログオンする

2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「SCSIアダプタ」アイコンをダブルクリックする

3 「ドライバ」タブをクリックする

4 「Panasonic SuperDisk」をクリックする

5 「削除」ボタンをクリックする

6 「はい」ボタンをクリックする

7 「OK」ボタンをクリックする

- 8 「コントロールパネル」の「デバイス」アイコンをダブルクリックする
- 9 「デバイス一覧」から「mkefpd」をクリックする
- 10 「スタートアップ」ボタンをクリックする
- 11 「スタートアップの種類」で「システム」が選択されているので、「無効」をクリックする
- 12 「OK」ボタンをクリックする
- 13 「mkefpdデバイスのスタートアップの種類を変更すると、システムは使用不能になる可能性があります。変更してもよろしいですか?」と表示されたら、「はい」をクリックする
- 14 「閉じる」をクリックする
- 15 本機を再起動する

◆ 専用フォーマットユーティリティのアンインストール

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「SuperDisk フォーマットユーティリティ」→「Uninstall」をクリックする
- 2 画面に表示されるメッセージに従ってアンインストールを行う
- 3 本機を再起動する

✓ **チェック!!** 「スーパーディスク 3モード対応ドライバ」および「専用フォーマットユーティリティ」をセットアップした場合、次の媒体は、必ず「専用フォーマットユーティリティ」でフォーマットしてください。Windows NTのエクスプローラでのフォーマット、コマンドプロンプトからFORMATコマンドを実行してのフォーマットはできません。

- ・720KB/1.2MB/1.44MBフォーマットのフロッピーディスク
- ・スーパーディスク(120MB)

 **チェック!!** 「スーパーディスク 3モード対応ドライバ」をセットアップしていない場合、次の媒体は、通常通りWindows NTのエクスプローラでのフォーマットや、コマンドプロンプトからFORMATコマンドを実行してのフォーマットができます。

- ・ 720KB/1.44MBフォーマットのフロッピーディスク
- ・ スーパーディスク(120MB)

◆ 専用フォーマットユーティリティの起動

 **チェック!!** 「専用フォーマットユーティリティ」は、起動時に、スーパーディスクドライブにセットされている媒体を判別して、フォーマット可能な容量を表示します。そのため、「専用フォーマットユーティリティ」を起動する前に、フォーマットを行う媒体をスーパーディスクドライブにセットしておく必要があります。また、「専用フォーマットユーティリティ」起動後に媒体を入れ替えた場合は、「専用フォーマットユーティリティ」を一度終了してから再起動する必要があります。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「SuperDiskフォーマットユーティリティ」→「SuperDisk用フォーマットユーティリティ」をクリックする

◆ 専用フォーマットユーティリティについての注意

「専用フォーマットユーティリティ」で、媒体を1.2MBでフォーマットする場合、次の項目を選択してください。

「3.5インチ、1.2MB、512バイト/セクタ(TOSHIBA)」

「3.5インチ、1.2MB、1024バイト/セクタ(NEC)」

一度もフォーマットされていない媒体や、フォーマットが破壊されていて正常にアクセスできない媒体を、「専用フォーマットユーティリティ」でフォーマットすると、イベントビューアにエラーが記録されることがありますが、この媒体の使用には問題ありません。

「スーパーディスク 3モード対応ドライバ」がセットアップされている場合、1.2MBフォーマットのフロッピーディスクに対して、コマンドプロンプトからchkdskコマンドを実行することはできません。誤って実行した場合、フロッピーディスクがRAW表示となりますが、フォーマットされていないわけではありません。フロッピーディスクの内容を確認する場合は、エクスプローラなどをご利用ください。

4. インターネットエクスプローラのセットアップ

次の手順でインターネットエクスプローラをセットアップします。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする**
- 2 フロッピーディスクドライブに「バックアップCD-ROM(0Sを除く)用インストールディスク」をセットし、CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(0Sを除く)」をセットする**
- 3 「インストール」ボタンをクリックする**
「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」画面が表示されます。
- 4 「次へ」ボタンをクリックする**
- 5 ボックス内に「A: ¥NXSETUP.EXE」と表示されていることを確認し、「完了」ボタンをクリックする**
「PC98-NX SERIES バックアップ(0Sを除く)セットアップユーティリティ」のセットアップ画面が表示されます。
- 6 「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから使いたいバージョンのインターネットエクスプローラを選ぶ**

・インターネットエクスプローラ4.01を使う場合

ご購入時と同じ状態でセットアップする場合は「Internet Explorer 4.01」を選びます。

カスタマイズしてセットアップする場合は「Internet Explorer 4.01 (カスタムセットアップ)」を選びます。

・インターネットエクスプローラ5を使う場合

ご購入時と同じ状態でセットアップする場合は「Internet Explorer 5.0」を選びます。

カスタマイズしてセットアップする場合は「Internet Explorer 5.0 (カスタムセットアップ)」を選びます。

7 画面の指示に従ってセットアップを行う

8 セットアップが終了したら、フロッピーディスク、CD-ROMを取り出す

本機が自動的に再起動します。

5. 「西暦2000年問題対応ServicePack」のセットアップ

Windows NTをご使用になるには、2000年問題対応が必要になります。インターネットエクスプローラ4.01をお使いの場合は、次の手順に従って「西暦2000年問題対応ServicePack」のセットアップを行なってください。

インターネットエクスプローラ5をお使いの場合は、この操作は必要ありません。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする

2 フロッピーディスクドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」をセットし、CD-ROMドライブに「マイクロソフト ウィンドウズNT サービスパック4」をセットする

3 「インストール」ボタンをクリックする

「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」画面が表示されます。

4 「次へ」ボタンをクリックする

5 ボックス内に「A: ¥NXSETUP.EXE」と表示されていることを確認し、「完了」ボタンをクリックする

「PC98-NX SERIES バックアップ(OSを除く)セットアップユーティリティ」のセットアップ画面が表示されます。

6 「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「西暦2000年問題対応ServicePackのインストール」を選択し、「インストール」ボタンをクリックする

7 画面の指示に従ってセットアップを行う

- 8** セットアップが終了したら、フロッピーディスク、CD-ROMを取り出して「OK」ボタンをクリックする
本機が自動的に再起動します。

6. 添付アプリケーションのセットアップ

これ以降は、ご使用のモデルにより手順が異なります

- Wordモデル→p.76「Wordモデルの再セットアップ」へ
- 一太郎モデル→p.83「一太郎モデルの再セットアップ」へ
- 上記以外のモデル→これで再セットアップは終了です。添付アプリケーションのセットアップについては、PART1の「アプリケーションの削除と追加」をご覧ください。

Wordモデルの再セットアップ

Wordモデルでは、次の作業が必要です。

- Excel 97を再セットアップする
- Word 98を再セットアップする
- Draw 98を再セットアップする
- Outlook 98を再セットアップする

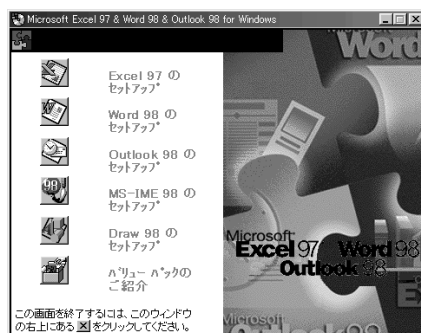
チェック! 必ずExcel 97、Word 98、Draw 98、Outlook 98の順に再セットアップしてください。

◎ Excel 97を再セットアップする

1 「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

自動的に、次の画面が表示されます。

自動的に表示されないときは、「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」CD-ROMのルートフォルダ内にある「Autorun.exe」をダブルクリックしてください。



2 (Microsoft Excel 97のセットアップ)をクリックする

「Microsoft Excel 97のセットアップ」ウィンドウが表示されます。

3 「継続」ボタンをクリックする

「ユーザー情報の登録」ウィンドウが表示されます。

「名前」と「所属」には、Windows NTのユーザ情報が表示されます。変更するときは入力し直してください。

4 「OK」ボタンをクリックする

「ユーザー情報の確認」ウィンドウが表示されます。

5 「OK」ボタンをクリックする

「プロダクトID」ウィンドウが表示されます。Product IDは、「同意書／オフィシャルユーザー登録依頼書」の指定された場所に記入してください。

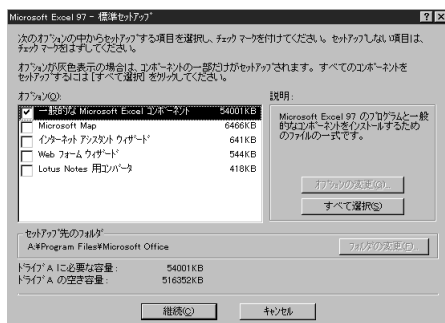
6 「OK」ボタンをクリックする

「Microsoft Excelを次のフォルダにセットアップします。」というウィンドウが表示されます。

7 「OK」ボタンをクリックする

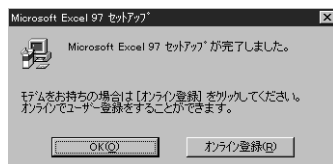
「標準セットアップ」か「カスタムセットアップ」かを選ぶウィンドウが表示されます。

8 (標準セットアップ)をクリックする



9 「継続」ボタンをクリックする

Excel 97のセットアップが始まります。数分でセットアップが終わり、次のウィンドウが表示されます。



10 「OK」ボタンをクリックする

p. 76の手順1の画面が表示されます。

◎ Word 98を再セットアップする

✓チェック!! 次の手順1～6は、MS-IME98をバージョンアップするための作業です。システムを再セットアップしない場合はMS-IME98はバージョンアップ済なので、手順1～6を行わないでください。

1 (MS-IME98のセットアップ)をクリックする

「Microsoft IME 98セットアップ」ウィンドウが表示されます。

2 「継続」ボタンをクリックする

「ユーザー情報の登録」ウィンドウが表示されます。

「名前」と「所属」には、Windows NTのユーザ情報が表示されます。変更するときは入力し直してください (Excel 97の再セットアップで「名前」や「所属」を変更したときは、その「名前」と「所属」が表示されます)。

3 「OK」ボタンをクリックする

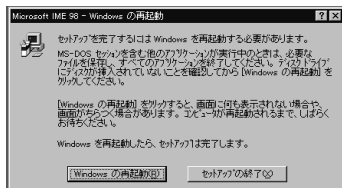
「ユーザー情報の確認」ウィンドウが表示されます。

4 「OK」ボタンをクリックする

「Microsoft IME 98セットアップ」ウィンドウが表示されます。

5 (標準)をクリックする

MS-IME98のセットアップが始まります。「ユーザ辞書の変換は行いません。」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。数分でセットアップが終わり、次のウィンドウが表示されます。



6 「Windowsの再起動」をクリックする

「Microsoft Excel97 & Word98 & Outlook98」CD-ROMは、セットしたままにします。

Windowsの再起動後、最初に表示されたウィンドウが表示されないときは、「Microsoft Excel97 & Word98 & Outlook98」CD-ROMをセットし直してください。

7 (Microsoft Word 98のセットアップ)をクリックする

「Microsoft Word 98セットアップ」ウィンドウが表示されます。

8 「継続」ボタンをクリックする

「ユーザー情報の登録」ウィンドウが表示されます。

「名前」と「所属」には、Windows NTのユーザ情報が表示されます。変更するときは入力し直してください(Excel 97またはMS-IME 98の再セットアップで「名前」や「所属」を変更したときは、その「名前」と「所属」が表示されます)。

9 「OK」ボタンをクリックする

「ユーザー情報の確認」ウィンドウが表示されます。

10 「OK」ボタンをクリックする

「プロダクトID」ウィンドウが表示されます。プロダクトIDは、「同意書／オフィシャルユーザー登録依頼書」の指定された場所に記入してください。

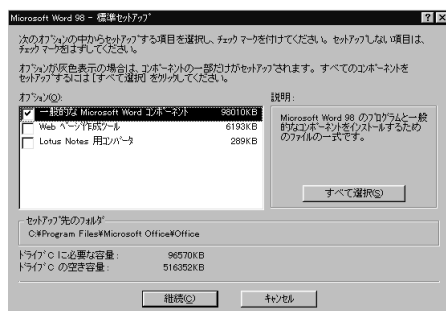
11 「OK」ボタンをクリックする

「Microsoft Wordを次のフォルダにセットアップします。」というウィンドウが表示されます。

12 「OK」ボタンをクリックする

「標準セットアップ」か「カスタムセットアップ」かを選ぶウィンドウが表示されます。

13 (標準セットアップ)をクリックする



14 「継続」ボタンをクリックする

Word 98のセットアップが始まります。数分でセットアップが終わり、次のウィンドウが表示されます。



15 「OK」ボタンをクリックする

p. 76の手順1の画面が表示されます。

◎ Draw 98を再セットアップする

1 (Draw 98のセットアップ)をクリックする

「Microsoft Draw 98セットアップ」ウィンドウが表示されます。

2 「継続」ボタンをクリックする

「セットアップを開始するには、左下のボタンをクリックしてください」と表示されます。

3 (継続)をクリックする

Draw 98のセットアップが始まります。

4 「Microsoft Draw 98セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

p.76の手順1の画面が表示されます。

◎ Outlook 98を再セットアップする

1 (Outlook 98のセットアップ)をクリックする

「Outlook 98アクティブセットアップ」ウィンドウが表示されます。

2 「次へ」ボタンをクリックする

「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。

3 「同意する」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

「登録」ウィンドウが表示されます。

4 ユーザー名などの必要情報を入力し、CDキーを正しく入力して「次へ」ボタンをクリックする

「インストールオプション」ウィンドウが表示されます。

✓チェック!! CDキーは、「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」CD-ROMの袋の裏側に記載されています。

5 「標準インストール」が選択されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックする

「電子メール アップグレード オプション」ウィンドウが表示されます。

6 「上記以外のメールプログラム」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

「電子メールサービスオプション」ウィンドウが表示されます。

7 「企業／ワークグループ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

「インストールフォルダ」ウィンドウが表示されます。

8 Outlook 98をインストールするフォルダが表示されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックする

Outlook 98のセットアップが始まります。

「新しいコンポーネントをアップグレードしますか」というメッセージが表示された場合は、「更新された項目のみアップグレード」になっていることを確認して、「OK」ボタンをクリックします。

9 「コンポーネントのインストールは完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

本機が再起動します。

10 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Windows NT エクスプローラ」をクリックする

11 「CD-ROMドライブ名：¥Valupack¥Patch」にある「Outptch2」アイコンをダブルクリックする

12 「このパッチを実行する前に～」と表示されたら、Outlook 98が起動していないことを確認して「はい」ボタンをクリックする

13 「パッチのインストールは完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

14 ウィンドウ右上の をクリックして、エクスプローラのウィンドウを閉じる

15 CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す

16 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

17 「再起動する」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

これで再セットアップは終了です。

一太郎モデルの再セットアップ

一太郎9パックをご購入時と同じ状態にするには、次の作業が必要です。

- ・一太郎9パックをセットアップする
- ・ショートカットやATOKパレットを削除する

1. 一太郎9パックをセットアップする

- 1** CD-ROMドライブに「一太郎9・花子9パックCD-ROM」をセットする
自動的に「AutoPlayプログラム」が起動します。
- 2** 「Welcome to Justsystem」で「一太郎9・花子9パックのセットアップ」をクリックする
- 3** 「一太郎9・花子9パックのセットアップ」で「セットアップ開始」をクリックする
- 4** 「使用許諾契約の確認」で「確認」ボタンをクリックする
「更新の確認」ウィンドウが表示された場合は、「セットアップ続行」をクリックしてください。
- 5** 「一太郎9・花子9パックのセットアップ開始」で「次へ」ボタンをクリックする
「使用者名・法人名を登録します」と表示されます。
- 6** 必要事項を入力し「次へ」ボタンをクリックする
「シリアルナンバー・UserIDを登録します」と表示されます。
- 7** シリアルナンバーとUserIDを入力して「次へ」ボタンをクリックする
- 8** 「使用者名・シリアルナンバーの確認」で「登録する」をクリックする
「セットアップ方法を選択します」と表示されます。
- 9** 「標準」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 10** 「標準モードでセットアップすると・・・」で「次へ」ボタンをクリックする

- 11** 「サンプルファイルの選択」で「基本サンプルのみハードディスクで利用」が選択されているのを確認し、「次へ」ボタンをクリックする
- 12** 「セットアップするフォルダを設定します」でセットアップ先のフォルダを確認し、「次へ」ボタンをクリックする
- 13** 「ファイルのコピーを開始します」で「コピー開始」をクリックする
一太郎9パックのインストールが始まります。
- 14** 「インターネットヘダイアルアップで接続しますか?」と表示されたら、「はい」を選び、「OK」ボタンをクリックする
- 15** 「JustNetに入会するには」で「確認」をクリックする
- 16** 「一太郎9・花子9パックのセットアップ終了」と表示されたら「再起動」をクリックする
「一太郎9・花子9パック」画面が表示された場合は、「OK」ボタンをクリックします。

2. ショートカットやATOKパレットを削除する

一太郎9パックをご購入時と同じ状態にするには、一太郎9パックをインストールした後、さらに次の設定が必要です。必要に応じて、設定の変更を行ってください。なお、インターネットエクスプローラのバージョンによって設定内容が多少異なります。

- ・ デスクトップにある「Shuriken 2.0」と「花子フォトタッチミニ」のショートカットを削除する
- ・ タスクバーのクイック起動のショートカットを削除する
- ・ ATOKパレットを非表示にする
- ・ スタートアップに登録されているショートカットを削除する

◎ デスクトップにあるショートカットを削除する

1 デスクトップの「Shuriken 2.0」のショートカットを右クリックする

2 表示されたメニューから「削除」をクリックする

3 「ファイルの削除の確認」で、「はい」をクリックする

同じように「花子フォトタッチミニ」のショートカットを削除します。

◎ タスクバーのクイック起動のショートカットを削除する

1 タスクバー上の「一太郎9」アイコンを右クリックする

2 表示されたメニューから「削除」をクリックする

3 「ファイルの削除の確認」で「はい」をクリックする

同じように「花子9」、「花子フォトタッチミニ」、「三四郎9」、「Shuriken 2.0」、「Sasuke」アイコンを削除します。

◎ ATOKパレットを非表示にする

- 1 ATOKパレットの「メニュー」ボタンをクリックする
- 2 表示されたメニューから、「プロパティ」をクリックする
- 3 ATOK12プロパティのダイアログで、「パレット」タブをクリックする
- 4 「日本語入力-オフで表示」の項目を「しない」に変更し、「OK」ボタンをクリックする

◎ スタートアップに登録されている、ショートカットを削除する

- 1 「スタート」メニュー→「設定」→「タスク バー」をクリックする
- 2 「タスクバー プロパティ」で「[スタート]メニューの設定」タブをクリックする
- 3 「削除」ボタンをクリックする
- 4 「スタートアップ」をダブルクリックし、「JSクイックサーチファイル自動更新」をクリックし「削除」ボタンをクリックする
- 5 「JSクイックランチ」をクリックし「削除」ボタンをクリックする
- 6 「Officeスタートバー」をクリックし、「削除」ボタンをクリックする
- 7 「閉じる」をクリックする
- 8 「タスクバー プロパティ」で「OK」ボタンをクリックする

これで再セットアップは終了です。

P A R T

3

他のOSを利用する

Windows 98を本機で使用方法を説明しています。

このPARTの内容

Windows 98を使う

Windows 98を使う

本機で別売のWindows 98を利用する場合のセットアップ方法について説明しています。

●チェック! Windows 98の2000年問題対応について

Windows 98を使用する場合には、2000年問題対応が必要です。
NECのホームページ「98Information」(<http://www.nec.co.jp/98/>)では、コンピュータの2000年問題対応について情報を提供していますので、Windows98の2000年問題対応情報と修正プログラムを入手して適用してください。

参照 2000年問題→PART4の「2000年問題について知りたい」(p.180)

ここでの説明はWindows 98をインストールするときに、次のようなドライブ構成になっていることを想定しています。異なるドライブ構成で利用する場合は、必要に応じてドライブ名を読み替えてください。

- ・ フロッピーディスクドライブ Aドライブ
- ・ Windows 98をインストールするドライブ Cドライブ
 (Windows 98をインストールするディレクトリ C:¥¥Windowsディレクトリ)
- ・ CD-ROMドライブ Qドライブ

Windows 98をセットアップする前に

Windows 98のセットアップには次のものがが必要です。あらかじめ準備しておいてください。

- ・ Microsoft® Windows® 98日本語版(別売)
- ・ バックアップCD-ROM(OSを除く)(本機添付)

Windows 98をセットアップする手順

本機で別売のWindows 98を利用するためには、次の手順でWindows 98をセットアップする必要があります。

1. パソコン本体の準備をする
2. Windows 98をセットアップする
3. 周辺機器や電源管理機能の設定を行う

◎ 1. パソコン本体の準備をする

- ・ パソコン本体の設定(BIOSの設定)を初期値に戻してください。
- ・ 別売の周辺機器は全て取り外してください。

◎ 2. Windows 98をセットアップする

『Windows 98ファーストステップガイド』をご覧になり、本機にWindows 98をセットアップしてください。

◎ 3. 周辺機器や電源管理機能の設定を行う

Windows 98のセットアップ終了後、次の手順で、周辺機器や電源管理機能の設定を行います。お使いのパソコンにあわせて、必要な部分をお読みください。

周辺機器や電源管理機能の設定は、必ず記載されている順に行ってください。

1. 内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ
2. モニタの設定
3. NX PADドライバのセットアップ
4. フロッピーディスクドライバのセットアップ
5. スーパーディスクドライバのセットアップ
6. 内蔵LANボード対応ドライバのセットアップ
7. 内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップ
8. MS-DOSモード用CD-ROMドライバのセットアップ
9. 内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ
10. ソフトウェアパワーOFF機能のセットアップ
11. ハイバネーション設定ユーティリティのセットアップ
12. Windows 98の設定を有効にする



チェック!!

- ・ お使いのパソコンによってドライバのセットアップ方法が多少異なります。それぞれ該当する必要な部分をご覧ください。
- ・ 「Windows 98 へようこそ」ウィンドウが一番前に表示されている場合は、タイトルバーの[×]ボタンをクリックしてウィンドウを閉じてください。
- ・ CD-ROMドライブに「Windows 98 CD-ROM」をセットした後、自動的に「Windows 98 CD-ROM」の画面が表示されることがあります。画面が表示された場合は、[×]ボタンをクリックして画面を終了し、セットアップを続けてください。

1. 内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ

次の手順でドライバをセットアップします。

- 1 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックする
- 3 「設定」タブをクリックし、「詳細」ボタンをクリックする
- 4 「アダプタ」タブをクリックし、「変更」ボタンをクリックする
「デバイスドライバの更新ウィザード」が起動します。
- 5 「次へ」ボタンをクリックし、検索方法で「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をクリックして、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリックする
 - ・VA36D/AXの場合
Q: ¥WIN98¥RAGELT
 - ・上記以外のモデルの場合
Q: ¥WIN98¥NM2160
- 7 「デバイスの選択」の画面で次のモデルをクリックし、「OK」ボタンをクリックする
 - ・VA36D/AXの場合
RAGE LT PRO AGP 2X(日本語)
 - ・上記以外のモデルの場合
NeoMagic MagicGraph 128XD

 **チェック!!** 「ドライバの更新の警告」メッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックします。

8 「次へ」ボタンをクリックする

自動的にドライバのコピーが行われます。

✔ **チェック!!** 「バージョンの競合」メッセージが表示された場合は、「いいえ」ボタンをクリックします。

9 「完了」ボタンをクリックする

10 「閉じる」ボタンをクリックし、「画面のプロパティ」の画面の「閉じる」ボタンをクリックする

11 システムの再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

再起動後に設定が有効になります。

以上で内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップは完了です。

2. モニタの設定

次の手順でモニタの設定を行います。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックする

2 「設定」タブをクリックし、「詳細」ボタンをクリックする

3 「モニタ」タブをクリックし、「モニタ不明」と表示されている場合は「変更」ボタンをクリックする

✔ **チェック!!** ここで、お使いのモニタ名称が表示されている場合は、手順4以降は不要です。「キャンセル」ボタンを2回クリックしてモニタ設定を終了してください。

4 「デバイスの選択」ダイアログで次の項目をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

- VA30H/WSの場合

- 製造元: (標準モニタの種類)

- モデル: ラップトップディスプレイパネル(800×600)

- 上記以外のモデルの場合

- 製造元: (標準モニタの種類)

- モデル: ラップトップディスプレイパネル(1024×768)

5 次のように表示されることを確認し、「閉じる」ボタンをクリックする

- VA30H/WSの場合

- ラップトップディスプレイパネル(800×600)

- 上記以外のモデルの場合

- ラップトップディスプレイパネル(1024×768)

6 「画面のプロパティ」の画面で「OK」ボタンをクリックする

以上でモニタの設定は完了です。

3.NX PADドライバのセットアップ

次の手順でドライバをセットアップします。

1 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする

2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックする

3 「デバイス マネージャ」タブをクリックする

4 「マウス」をダブルクリックし、現在セットアップされているマウスをダブルクリックする

5 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックする

6 「デバイス ドライバの更新ウィザード」で「次へ」ボタンをクリックする

7 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をクリックして、「次へ」ボタンをクリックする

8 「ディスク使用」ボタンをクリックする

9 「配布ファイルのコピー元」に「Q: ¥WIN98 ¥NX PAD」と入力して、「OK」ボタンをクリックする

10 「モデル」の「NX PAD」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックする

-  **チェック!!** ・「モデル」に「NX PAD」が複数表示されている場合は、一番上の「NX PAD」をクリックしてください。
- ・「選択したドライバよりも、現在使用しているドライバの方がハードウェアデバイスに適していると思われます。選択したドライバを使用しますか?」と表示された場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。

11 「次へ」ボタンをクリックする
必要なファイルのコピーが始まります。

12 「完了」ボタンをクリックする

13 「NX PAD プロパティ」画面の「閉じる」ボタンをクリックする

14 「システムのプロパティ」画面の「閉じる」ボタンをクリックする

15 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」→「再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動すると設定が有効になります。

 **チェック!!** 再起動後、ポインタが動かない場合は、次の手順でもう一度本機を再起動してください。

- 1** キーボードの【Ctrl】を押しながら【Esc】を押して、「スタート」メニューを開く
- 2** 矢印キーで「Windowsの終了」を選択し、【Enter】を押す
- 3** 「Windowsの終了」の画面で、矢印キーで「再起動する」を選択し、【Enter】を押す

以上でNX PADドライバのセットアップは完了です。

4. フロッピーディスクドライブのセットアップ

本機でフロッピーディスクドライブを利用するには、次の手順でドライバをセットアップします。

フロッピーディスクドライブが取り付けられていない場合は、以下の手順は必要ありません。

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 2** 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「フロッピーディスクコントローラ」をダブルクリックする

「フロッピーディスクコントローラ」の下にドライバ名が表示されます。表示されたドライバ名の中に次のドライバ名が存在するか調べます。

- VA36D/AXの場合
NEC 3-mode Floppy(PIIX4E)
- 上記以外のモデルの場合
3-mode Floppy Disk Controller

存在しなかった場合には、3～7の手順は必要ありません。「OK」ボタンをクリック後、手順8に進んでください。

3 次のドライバ名をクリックして「削除」ボタンをクリックする

- ・ VA36D/AXの場合
NEC 3-mode Floppy(PIIX4E)
- ・ 上記以外のモデルの場合
3-mode Floppy Disk Controller

4 「デバイス削除の確認」メッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックする

5 「システムのプロパティ」画面で「閉じる」ボタンをクリックする

6 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」→「再起動する」をクリックして「OK」ボタンをクリックする

Windowsが再起動します。

7 再起動後、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする

8 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする

9 「ハードウェアの追加」アイコンをダブルクリックする

「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面に「このウィザードでは、新しいハードウェアデバイスのためのソフトウェアをインストールします。続行する前に、開いているアプリケーションをすべて閉じてください。」と表示されます。実行中のアプリケーションがある場合にはすべて終了させてください。

10 「次へ」ボタンをクリックする

「システムにあるプラグ アンド プレイ機器を検索します。」と表示される画面へ進みます。

11 「次へ」ボタンをクリックする

検索が開始されます。

12 「インストールするデバイスは一覧にありますか?」と表示されるので、「デバイスは一覧にない」をクリックしてから「次へ」ボタンをクリックする

13 「プラグ アンド プレイ以外の新しいハードウェアが自動的に検出されます。」と表示されるので、「いいえ(一覧から選択する)」をクリックしてから「次へ」ボタンをクリックする

14 「ハードウェアの種類」のリストの中から「フロッピーディスクコントローラ」をクリックしてから「次へ」ボタンをクリックする

15 製造元とモデルを選択する画面が表示されるので、「ディスク使用」のボタンをクリックする

16 インストールするディスクの場所を入力するウィンドウが表示されるので、「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリックする

- VA36D/AXの場合

Q: ¥WIN98¥3MODEFD1

- 上記以外のモデルの場合

Q: ¥WIN98¥3MODEFD2

17 モデルの一覧が表示されるので、次のドライバ名をクリックして「次へ」ボタンをクリックする

- VA36D/AXの場合

NEC 3-mode Floppy(PIIX4E)

- 上記以外のモデルの場合

3-mode Floppy Disk Controller

18 「完了」ボタンをクリックする

ファイルのコピーが始まります。



チェック!! 「FD3MODE.VXDが見つかりませんでした」というメッセージが表示された場合は、「ファイルのコピー元」に「Q: ¥WIN98¥3MODEFD2」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

19 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

以上でフロッピーディスクドライブのセットアップは完了です。

5. スーパーディスクドライブのセットアップ

本機でスーパーディスクドライブを利用するには、次の手順でドライブをセットアップします。

スーパーディスクドライブが取り付けられていない場合は、以下の手順は必要ありません。

1 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする

3 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

Q: [Enter]

CD ¥WIN98¥LS120 [Enter]

SDINST [Enter]

4 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT [Enter]

5 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」→「再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

Windows 98が再起動します。

以上でスーパーディスクドライブのセットアップは完了です。

6. 内蔵LANボード対応ドライバのセットアップ

LAN内蔵モデルをお使いの場合は、本機内蔵LANボードを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。内蔵LANボードが取り付けられていない場合は、次の手順は必要ありません。

-  **チェック!!** ・ドライバのセットアップを行うと、ネットワークの設定内容が一部初期化されることがあります。セットアップを行う前に、ネットワークの設定を控えておいてください。
- ・「Windows 98 CD-ROM」を要求するメッセージが表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。
 - ・「netpci.inf」や「dc21x4.sys」のファイルが要求された場合には、「バックアップCD-ROM (OSを除く)」をCD-ROMドライブにセットし、「ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

VA36D/AXの場合…Q: ¥WIN98¥100BASN1

上記以外のモデルの場合 …Q: ¥WIN98¥100BASN2

「netpci.inf」「dc21x4.sys」以外のファイルを要求された場合には、「Windows 98 CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、「ファイルのコピー元」に「Q: ¥WIN98」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 3 「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、「PCI Fast Ethernet DEC 21143 Based Adapter」をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックする
- 4 「ドライバ」タブの「ドライバの更新」ボタンをクリックする
- 5 「デバイスドライバの更新ウィザード」で、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 検索方法で「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックする

7 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットし、「検索場所の指定」のみにチェックを入れ、「検索場所」に次のように入力し、「次へ」ボタンをクリックする

・VA36D/AXの場合

Q: ¥WIN98¥100BASN1

・上記以外のモデルの場合

Q: ¥WIN98¥100BASN2

8 検索されたドライバが表示されるので、「更新されたドライバ(推奨)」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックする

9 「次へ」ボタンをクリックする

10 「完了」ボタンをクリックする

11 「Digital Semiconductor 21143/2 based 10/100 mbps Ethernet Controllerのプロパティ」で「閉じる」ボタンをクリックする

12 「システムのプロパティ」の画面で「閉じる」ボタンをクリックする

13 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」→「再起動する」を選び、「OK」ボタンをクリックする

以上で内蔵LANボードのセットアップは完了です。

7. 内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップ

FAXモデム内蔵モデルをお使いの場合は、本機内蔵FAXモデムボードを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

内蔵FAXモデムボードが取り付けられていない場合は、次の手順は必要ありません。

1 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする

2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックする

- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「その他のデバイス」をクリックする
- 4 「PCI Communication Device」をクリックして、「プロパティ」ボタンをクリックする
- 5 「PCI Communication Deviceのプロパティ」の画面の「ドライバの再インストール」ボタンをクリックする
- 6 「デバイスドライバの更新ウィザード」で「次へ」ボタンをクリックし、「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「検索場所の指定」をチェックし、「Q: ¥WIN98¥MDMLT」と入力して「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「デバイス」として「LT Win Modem」、「ドライバのある場所」として「Q: ¥WIN98¥MDMLT¥LTMODEM.INF」が検出されるので、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「新しいハードウェアの追加ウィザード」で「Wave Device for Voice Modem」が検出されるので、「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「使用中のデバイスに最適なドライバを検出する(推奨)」をクリックして「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「検索場所の指定」をチェックし、「Q: ¥WIN98¥MDMLT」と入力し、「次へ」ボタンをクリックする
- 12 「デバイス」として「Voice Modem Serial Wave Device」が「ドライバのある場所」として、「Q: ¥WIN98¥MDMLT¥LTWAVE.INF」が検出されるので「次へ」ボタンをクリックする
- 13 「Voice Modem Serial Wave Device 新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されるので、「完了」ボタンをクリックする

14 次のメッセージが表示されたら、「完了」ボタンをクリックする

「LT Win Modemハードウェアデバイス用の更新されたドライバのインストールが完了しました。」

15 「LT Win Modem プロパティ」の画面の「閉じる」ボタンをクリックする**16** 「システムのプロパティ」の画面の「OK」ボタンをクリックする**17** 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」→「再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
再起動後、設定が有効になります。

以上で内蔵FAXモデムボードのセットアップは完了です。

8. MS-DOSモード用CD-ROMドライバのセットアップ

MS-DOSモードにてCD-ROMドライブを利用するため、次の手順でドライブをセットアップします。

1 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする**2** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする**3** コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

CD ¥[Enter]

XCOPY Q:¥WIN98¥CDROM¥*.¥ C:¥WINDOWS¥COMMAND /H /S /Y[Enter]

MOVE /Y C:¥WINDOWS¥COMMAND¥IOS.INI C:¥WINDOWS [Enter]

ATTRIB +H +R C:¥WINDOWS¥COMMAND¥SETCD.INI [Enter]

4 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT[Enter]

5 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」→「MS-DOSモードで再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

6 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

SETCD /A【Enter】

7 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT【Enter】

MS-DOSモードからWindowsに戻ります。

8 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」→「再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

MS-DOSモードでCD-ROMドライブが使えるようになります。

9. 内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ

次の手順でドライバをセットアップします。



チェック!! 「Windows 98 CD-ROM」のセットを要求するメッセージが表示された場合は、「Windows 98 CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、「OK」ボタンをクリックしてください。

1 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM (OSを除く)」をセットする

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする

3 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

- VA36D/AXの場合
 C: [Enter]
 CD ¥ [Enter]
 MD ES1978S [Enter]
 COPY Q: ¥WIN98¥ES1978S¥*.¥ C: ¥ES1978S [Enter]
- 上記以外のモデルの場合
 C: [Enter]
 CD ¥ [Enter]
 MD ES1968S [Enter]
 COPY Q: ¥WIN98¥ES1968S¥*.¥ C: ¥ES1968S [Enter]

4 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT [Enter]

5 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックする

6 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、次のデバイスが存在する場合はクリックし、「削除」ボタンをクリックする

- 「ESS Media Device Controllers」
 - 「ESS Device Manager」
- 「サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラー」
 - 「ESS Device Manager」
- 「サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラー」
 - 「Sound Blaster Pro or Compatible」
- 「サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラー」
 - 「ESS S0L0-1 PCI AudioDevice」
- 「サウンド、ビデオおよびゲームのコントローラー」
 - 「ゲーム ポート ジョイスティック」
- 「その他のデバイス」
 - 「PCI Multimedia Audio Device」



チェック!! 「デバイス削除の確認」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。

7 「システムのプロパティ」画面の「閉じる」ボタンをクリックする

8 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」→「MS-DOSモードで再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

9 コマンドプロンプト画面から次のように入力する

・VA36D/AXの場合

C: [Enter]

CD ¥ES1978S [Enter]

UPSOUND [Enter]

・上記以外のモデルの場合

C:[Enter]

CD ¥ES1968S [Enter]

UPSOUND [Enter]

10 「処理が完了しました。再起動してください。」というメッセージが表示されるので、コマンドプロンプト画面から次のように入力する
EXIT[Enter]

Windows 98システムが再起動します。

 **チェック!!** 「Windows 98 CD-ROM」をセットするように促すメッセージが表示された場合は、「Windows 98 CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、「OK」ボタンをクリックしてください。

11 再起動中に「ディスク Maestro PCI Audio Device Multimedia Disk が必要です。」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリックする

12 「ディスクの挿入」または「新しいハードウェア」というタイトルのウィンドウが表示されるので、「ファイルのコピー元」に、次のように入力した後、「OK」ボタンをクリックする

・VA36D/AXの場合

C:¥ES1978S

・上記以外のモデルの場合

C:¥ES1968S

13 引き続き、「ディスクの挿入」または「新しいハードウェア」というタイトルのウィンドウが表示された場合は、「ファイルのコピー元」に、次のように入力した後、「OK」ボタンをクリックする

- ・ VA36D/AXの場合
C: ¥ES1978S
- ・ 上記以外のモデルの場合
C: ¥ES1968S

14 「Windows 98 CD-ROM上のファイルmsjstick.drvが見つかりませんでした」と表示された場合は、「Windows 98 CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、「OK」ボタンをクリックする

15 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする

16 コマンドプロンプト画面から次のように入力する

- ・ VA36D/AXの場合
C: [Enter]
CD ¥ [Enter]
DEL ES1978S¥*. * [Enter]
Y [Enter]
RD ES1978S [Enter]
- ・ 上記以外のモデルの場合
C: [Enter]
CD ¥ [Enter]
DEL ES1968S¥*. * [Enter]
Y [Enter]
RD ES1968S [Enter]

17 コマンドプロンプト画面から次のように入力する

EXIT [Enter]

以上で内蔵サウンド対応ドライバのセットアップは完了です。

10. ソフトウェアパワーOFF機能のセットアップ

ソフトウェアパワーOFF機能を利用するためには、次の手順が必要です。

1 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM (OSを除く)」をセットする

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする

3 コマンドプロンプト画面から次のように入力する

```
COPY Q:¥WIN98¥POWEROFF¥NECPOWSW.EXE C:¥WINDOWS  
[Enter]
```

```
COPY Q:¥WIN98¥POWEROFF¥NECPOWSW.VXD C:¥WINDOWS¥SYSTEM[Enter]
```

4 コマンドプロンプト画面から次のように入力する

```
EXIT[Enter]
```

5 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「名前」に「NOTEPAD C:¥WINDOWS¥SYSTEM.INI」と入力し、「OK」ボタンをクリックする

6 「386Enh」セクションに「device=necpowsw.vxd」を追加する

7 「PowerOff」セクションを作成し、「Machine=1」の記述を追加する

8 「ファイル」メニュー→「上書き保存」をクリックする

9 「ファイル」メニュー→「メモ帳の終了」をクリックする

10 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」→「再起動する」をクリックして「OK」ボタンをクリックする

再起動後、設定が有効になります。

11. ハイバネーション設定ユーティリティのセットアップ

ハイバネーション機能を使用するために、次の手順が必要です。なお、Windows NTがセットアップされているドライブにWindows 98をセットアップした場合は、以下の手順は必要ありません。

1 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする

3 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

・VA36D/AXの場合

MD C:¥necutils

MD C:¥necutils¥hdprep

COPY Q:¥WIN98¥necutils¥hdprep¥*.¥ C:¥necutils¥ Hdprep[Enter]

・上記以外の機種の場合

MD C:¥necutils

COPY Q:¥WIN98¥phdisk¥*.¥ C:¥necutils[Enter]

4 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT[Enter]

5 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」→「再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

以上でハイバネーション設定ユーティリティのセットアップは完了です。

12. Windows 98の設定を有効にする

Windows 98の設定を有効にするために、必ず次の手順が必要です。

- 1** CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリックする
- 3** Qドライブの「WIN98」フォルダの「chgusb」ファイルをダブルクリックする
- 4** 「Q: ¥WIN98 ¥CHGUSB.REGの情報をレジストリに追加しますか?」と表示されるので「はい」ボタンをクリックする
- 5** 「Q: ¥WIN98 ¥CHGUSB.REGの情報がレジストリに正しく入力されました」と表示されるので「OK」ボタンをクリックする
- 6** 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」→「再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

これで、Windows 98の設定が有効になりました。

Windows 98での省電力機能

Windows 98で利用できる省電力機能には、「スタンバイ状態(サスペンド)」と「休止状態(ハイパネーション)」があり、これら2つの状態を、あわせて「スリープ状態」と呼ぶこともあります。

・スタンバイ状態(サスペンド)

作業中のデータを一時的にメモリに保存し、消費電力を抑える機能です。スタンバイ状態のことを、「サスペンド」と呼ぶこともあります。データはメモリに保存されているため、すぐに元の状態に戻すことができます。

詳しくは、p.111をご覧ください。

・休止状態(ハイバネーション)

作業中のデータをハードディスクに保存し、電源を切る機能です。休止状態のことを、「ハイバネーション」と呼ぶこともあります。

普通に電源を切るのとは異なり、次に本機を起動するとき、Windows 98を起動する操作をせずに、すぐに元の状態に戻すことができます。データの保持のために電力を消費しないので、長時間作業を中断するときなどに便利です。

詳しくは、p.111をご覧ください。

・スリープからの復帰(レジューム)

スタンバイ状態や休止状態などのスリープ状態から元の状態に戻すことを、「復帰」といいます。スリープからの復帰のことを、「レジューム」と呼ぶこともあります。

スリープからの復帰は、手動操作または自動操作で行うことができます。

詳しくは、p.114をご覧ください。

これらの機能のほか、次のような省電力機能を使うことができます。

・パワーマネージメント

バッテリー駆動時などに無駄な電力の消費を抑える機能です。

ご購入時の省電力機能の設定については、『活用ガイド ハードウェア編』PART3の「BIOSセットアップメニュー」をご覧ください。

◆ スリープ状態にするときの注意事項

- ・スタンバイ状態のときにバッテリーの残量がなくなると、自動的に休止状態(ハイバネーション)になります。休止状態への移行中に本機に衝撃や振動を加えると故障やデータ消失の原因となりますので、ご注意ください。また、バッテリーのみで本機を使用している場合は、あらかじめバッテリーの残量を確認しておいてください。
- ・ネットワーク(LAN)に接続しているときには、スリープ状態にしないでください。本機が正常に動かなくなることがあります。

- ・ 次のような場合は、スリープ状態にしないでください。データを正しく復帰できなくなることがあります。
 - ・ プリンタへ出力中
 - ・ 赤外線通信をしているとき(赤外線通信アプリケーションを実行中)
 - ・ 通信用アプリケーションを実行中
 - ・ 電話回線を使って通信中
 - ・ LANに接続中
 - ・ 音声または動画を再生中
 - ・ ハードディスク、CD-ROM、フロッピーディスクにアクセス中
 - ・ システムの「プロパティ」ウィンドウを表示中
 - ・ Windowsの起動／終了処理中
 - ・ スリープ機能に対応していないアプリケーションを使用中
 - ・ スリープ機能に対応していないPCカードを使用中
- ・ スリープ状態への移行中は、各種ディスクやPCカードの入れ替えなどを行わないでください。データが正しく保存されないことがあります。
- ・ スリープ状態のときにPCカードを入れ替えるなどの機器構成の変更をすると、データを正しく復帰できなくなることがあります。
- ・ ATAカード上のファイルをアプリケーションから開いている場合は、ATAカード上のファイルを閉じてからスリープ状態にしてください。
- ・ ATAカードを挿入した状態でスリープ状態にすると、時間がかかる場合があります。
- ・ CardBus対応PCカードと通常のPCカード(PCMCIA2.1/JEIDA4.2)を同時に使用しているときに、スリープ／復帰や、Windowsの起動／再起動を行う場合は、いったん、PCカードを抜いておいてください。Windowsの起動が完了してから、再度カードを挿入してください。
- ・ 「スタート」ボタン→「設定」→「アクティブデスクトップ」の「Webページで表示」にチェックマークがついていると、自動的にスリープ状態にできない場合があります。この場合は、「Webページで表示」をクリックしてチェックマークをはずしてください。
- ・ 音楽CD、ビデオCD、MPEGデータを再生しているときには、スリープ機能は使えません。

◎ スタンバイ状態(サスペンド)

作業中のデータを一時的にメモリに保存し、消費電力を抑える機能です。データがメモリに保存されている状態を「スタンバイ状態」または「サスペンド」といいます。

◆ スタンバイ状態(サスペンド)にする

次のいずれかの方法でスタンバイ状態にすることができます。
スタンバイ状態にするには、あらかじめ設定が必要です。

操作	設定方法
【Fn】+【F4】	BIOSセットアップメニューで設定
「スタート」メニューの「Windowsの終了」で「スタンバイ」を選ぶ	BIOSセットアップメニューで設定
自動	「コントロールパネル」→「電源の管理」→「電源設定」の「システムスタンバイ」、またはBIOSセットアップメニューで設定
電源スイッチ	BIOSセットアップメニューで設定
液晶ディスプレイを閉じる	BIOSセットアップメニューで設定

参照 BIOSセットアップメニュー→『活用ガイド ハードウェア編』PART3の「BIOSセットアップメニュー」

◎ 休止状態(ハイバネーション)

作業中のデータをハードディスクに保存し、電源を切る機能です。データが保存されている状態を「休止状態」または「ハイバネーション」といいます。

◆ 休止状態にする(ハイバネーションにする)

キーボードの【Fn】を押しながら電源スイッチを操作する

「Save to disk …」または「Suspend to disk …」の表示と、作業状況を示す棒グラフが表示されます。
休止状態になると、電源ランプが消灯します。

また、設定を行えば次のような方法で休止状態にすることもできます。

操作	設定方法
【Fn】+【F4】	BIOSセットアップメニューで設定
「スタート」メニューの「Windowsの終了」で「スタンバイ」を選ぶ	BIOSセットアップメニューで設定
自動	「コントロールパネル」→「電源の管理」→「電源設定」の「システムスタンバイ」、またはBIOSセットアップメニューで設定
電源スイッチ	BIOSセットアップメニューで設定
液晶ディスプレイを閉じる	BIOSセットアップメニューで設定

参照 BIOSセットアップメニュー→『活用ガイド ハードウェア編』PART3の「BIOSセットアップメニュー」

◆ 休止状態(ハイバネーション)の設定を解除する

メモリの取り付け／取り外しやCDドライブの圧縮／圧縮解除をしたときは、「ハイバネーション設定ユーティリティ」を使用して設定を解除したあと、「休止状態(ハイバネーション)を設定する」の手順で、再度、休止状態の設定をする必要があります。設定の解除では、「ハイバネーション設定ユーティリティ」がハードディスク内に作成した休止状態のためのファイルを削除します。

チェック!! 「ハイバネーション設定ユーティリティ」は、MS-DOSモードで起動します。Windows 98の「MS-DOSプロンプト」ウィンドウでは、実行できません。必ず、次の手順で操作してください。

1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」で「MS-DOSモードで再起動する」を選んで「OK」ボタンをクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。

2 次のように入力し、【Enter】を押す

- ・ VA36D/AXの場合
CD C:¥necutils¥hdprep
- ・ 上記以外のモデルの場合
CD C:¥necutils

3 HIBEROFFと入力し、【Enter】を押す

VA36D/AXの場合は、「ハイバネーション用ファイルを削除しました」のメッセージが表示されます。

上記以外の機種では、「The system will now be reset…」のメッセージが表示されます。

4 本機を再起動する

VA36D/AXの場合は、本機の電源を切り、5秒以上待ってから再度電源を入れます。

上記以外の機種では、何かキーを押すと本機が自動的に再起動します。

これで休止状態の機能を使うためのファイル(ハイバネーション用ファイル)が削除されました。

◆ 休止状態(ハイバネーション)を設定する

休止状態のためのファイルを削除した場合や、「休止状態(ハイバネーション)の設定を解除する」の手順で設定を解除したあとに再度設定を有効にする場合は、次の手順で設定してください。

メモリの取り付け／取り外し、CDドライブにドライブコンバータ(FAT32)を実行した場合、CDドライブの圧縮／圧縮解除を行った場合は、まず、前述の「休止状態(ハイバネーション)の設定を解除する」の操作を行ってから、次の手順1～4の設定をしてください。

 **チェック!!** この操作は、MS-DOSモードで行います。Windows 98の「MS-DOSプロンプト」ウィンドウでは行えません。必ず次の手順で操作してください。

1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」で「MS-DOSモードで再起動する」を選び、「OK」ボタンをクリックする

本機がMS-DOSモードで再起動します。

2 次のように入力し、【Enter】を押す

- ・ VA36D/AXの場合
CD C:¥necutils¥hdprep
- ・ 上記以外のモデルの場合
CD C:¥necutils

3 HIBERONと入力し、【Enter】を押す

しばらくの間、ハイバネーション用ファイルの作成画面が表示されることがあります(お使いの機器のメモリ容量によって異なります)。

 **チェック!!** ハードディスクの空き領域が不足しているというメッセージが表示された場合は、不要なファイルを削除するなどしてハードディスクの空き領域を確保した後、手順1からやり直してください。必要なハードディスクの空き領域の目安は、以下のとおりです。

VA36D/AXの場合 : 本機に搭載されているメモリ容量+8Mバイト

上記以外のモデルの場合 : 本機に搭載されているメモリ容量+6Mバイト

VA36D/AXの場合は、「ハイバネーションファイルを作成しました」のメッセージが表示されます。

上記以外の機種では、「The system will now be reset…」のメッセージが表示されます。

4 本機を再起動する

VA36D/AXの場合は、本機の電源を切り、5秒以上待ってから再度電源を入れます。

上記以外の機種では、何かキーを押すと本機が自動的に再起動します。

これで休止状態の設定が完了しました。

◎ スリープからの復帰(レジューム)

電源スイッチを操作すると、レジュームすることができます。

休止状態(ハイバネーション)から復帰するときは、「Resume from disk…」の表示とともに、作業状況を示す棒グラフが表示されます。

 **チェック!!**

- ・スリープ状態にしてからすぐにデータを復帰させたいときは、本機に負担がかからないよう、スリープ状態になってから約5秒以上たってから操作してください。
- ・スリープ状態のときにPCカードの入れ替えや周辺機器の取り付け／取り外しなどの機器構成の変更をすると、データを正常に復帰できなくなることがあります。
- ・CD-ROMドライブにフォトCDを入れたままスリープ状態にした場合、復帰に時間がかかることがあります。

また、あらかじめBIOSセットアップメニューで設定を行えば、液晶ディスプレイを開けると同時にレジュームしたり、モデムや時刻設定によってレジュームすることができます(スタンバイ状態(サスペンド)からの復帰のみ)。詳しくは『活用ガイド ハードウェア編』PART3の「BIOSセットアップメニュー」をご覧ください。

◎ パワーマネージメント

◆ モードの種類と切り替え方

パワーマネージメントには、次の各モードがあります。

キーボードの【Fn】を押しながら【F7】を押すごとにモードが切り替わり、ビープ音が鳴ります。

・VA36D/AXの場合

モード	機能	ビープ音の回数
オフ	パワーマネージメントなし	1回
ユーザ設定	節電する機能をBIOSセットアップメニューで選択可能	2回
性能優先	節電をしながら高性能で使いたいときに選びます。節電効果はやや低めです。	3回
最大省電力	性能を抑えることにより節電効果を高めたいときに選びます。	4回

：ご購入時の設定(バッテリー駆動時のみ有効)

・上記以外の機種の場合

モード	機能	ビープ音の回数
使用しない(Disabled)	パワーマネージメントなし	1回
カスタマイズ (Customized)	節電する機能をBIOSセットアップメニューで選択可能	2回
最大パフォーマンス (Maximum Performance)	節電をしながら高性能で使いたいときに選びます。節電効果はやや低めです。	3回
最大省電力 (Maximum Power Savings)	性能を抑えることにより節電効果を高めたいときに選びます。	4回

：ご購入時の設定(バッテリー駆動時のみ有効)



チェック!!

- ・ビープ音をオフの設定にしていると、モード識別の音が鳴りません。ビープ音は「オン」にしてください。
- ・パワーマネージメントは、バッテリー駆動時に有効になります。ACコンセントから電源を供給しているときにパワーマネージメントを使いたい場合は、BIOSセットアップメニューで設定が必要です。

参照

BIOSセットアップメニュー→『活用ガイド ハードウェア編』PART3の「BIOSセットアップメニュー」

◎ Windows 98でのパワーマネージメント

コントロールパネルの「電源の管理」の機能を使うと、あらかじめ設定されている電源の状態を選ぶことができます。ご購入時には、「常にオン」「ホーム／オフィスデスク」「ポータブル／ラップトップ」の3つのモードが設定されています。それぞれのモードの設定内容は、「電源設定」タブで確認することができます。

また、パソコンの利用形態に合わせ、好みの電源状態を新たに登録することもできます。新しいモードを設定する手順は、次のとおりです。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「電源の管理」アイコンをダブルクリックする
「電源の管理のプロパティ」が表示されます。
- 2 「電源設定」タブをクリックする
- 3 「システムスタンバイ」、「モニタの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」のそれぞれの時間を設定する
- 4 「名前を付けて保存」ボタンをクリックする
- 5 任意の保存名を入力し、「OK」ボタンをクリックする

これで、新しいモードが登録されました。

電源管理モードの利用(ACPI/APMモード)

Windows 98使用時には、「APMモード」と「ACPIモード」の2種類の電源管理モードを使うことができます。

APMモード(Windows 98セットアップ直後の設定)

パソコンや周辺機器の電源管理を、BIOSで行うモードです。APMとは、「Advanced Power Management」の略です。

ACPIモード

パソコンや周辺機器の電源管理、また、周辺機器の管理をWindows 98で行うモードです。ACPIとは、「Advanced Configuration and Power Interface」の略です。

それぞれのモードで利用できる機能は、次のとおりです。

	APMモード (セットアップ時の設定)	ACPIモード
スタンバイ状態(サスペンド)	○	○
休止状態(ハイバネーション)	○	—
スリープからの復帰(レジューム)	○	○
パワーマネジメント機能	○	○
ホットキー機能	○	一部使用可能
セキュリティ機能	○	○

◎ ACPIモードでの制限事項

ACPIモード時には、次のような制限事項があります。

◆ ホットキー機能

次のホットキーは使えません。

【Fn】+電源スイッチ(休止状態)

【Fn】+【F4】(スリープ)

【Fn】+【F7】(節電レベル選択)

◆ バッテリー残量が少ないときの動作

バッテリー残量が少なくなり、新たに電源が供給されないと、しばらくすると本機の電源が切れます。なお、バッテリー残量が少ない場合の動作については、以下のようにしてWindows 98のコントロールパネルで設定することができます。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「電源の管理」アイコンをダブルクリックする

2 「アラーム」タブをクリックする

3 バッテリー残量が少なくなると、バッテリー残量が残りにわずかなときに、それぞれどのような動作をするようにしたいかを設定する
「アラーム動作」ボタンをクリックすると、動作を選ぶことができます。

 **チェック!** バッテリー低下アラームおよびバッテリー切れアラームの設定値は、以下のようになります。

VA36D/AXの場合：バッテリー低下アラームを8%未満、バッテリー切れアラームを3%未満に設定しても、それぞれ13%、8%で動作します。

上記以外のモデルの場合：バッテリー低下アラームを8%未満、バッテリー切れアラームを4%未満に設定しても、それぞれ8%、4%で動作します。

4 設定が終わったら「OK」ボタンをクリックする

5 「OK」ボタンをクリックする

◆ 休止状態(ハイバネーション)

休止状態(ハイバネーション)の機能は使えません。

◆ パスワードによる復帰(レジューム)

スリープ状態からパスワードを入力してレジュームしようとするとき、BIOSセットアップメニューで設定したパスワードを入力してもレジュームできません。Windowsログオンパスワードを入力してください。

◆ 赤外線通信機能

ACPI モードの場合は、BIOSセットアップメニューでのポートの設定は不要です。

◆ BIOSセットアップメニュー

ACPI モード時には、BIOSセットアップメニューの省電力関連の設定は無効になります。

◎ APM／ACPI モードの確認方法について

動作中のモードは、次の方法で確認できます。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「システム情報」をクリックする

2 「コンポーネント」をダブルクリックする

3 「システム」をクリックする

以下の情報が表示されます。

・ APMモード のとき

アドバンスド パワーマネジメント サポート

・ ACPIモード のとき

Advanced Configuration and Power Interface(ACPI)Bios

◎ ACPI モードに切り替えた時の注意事項

APMモードからACPIモードに切り替えた場合には、次のことに注意してください。

- ・ スリープからの復帰(レジューム)動作中に、電源スイッチを操作したり、液晶ディスプレイを開閉すると、省電力機能が使えなくなる場合があります。このような場合は、「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックし、「再起動する」を選んで「OK」ボタンをクリックします。本機が自動的に再起動し、省電力機能が正常に働くようになります。

- ・MS-DOSプロンプトが一番手前に表示されているときに本機をスリープ状態にすると、画面が正しく復帰されないことがあります。このような場合は、【Alt】を押しながら【Tab】を押してタスクを切り替えると、正しく表示されるようになります。
- ・ACPIモード時に本機のPCカードスロットでCardBus対応のSCSIまたはIDEインターフェイスカードを使用する場合、スリープ状態から正常に復帰できないことがあります。これらのPCカードを使用するときは、スタンバイ状態にする前にPCカードを取り外してから、スタンバイ／復帰を行ってください。
- ・「ディスプレイの設定に問題があります」という意味のメッセージが表示されることがあります。「OK」をクリックすると「画面のプロパティ」が表示されますので、「キャンセル」をクリックしてください。
場合によっては、ディスプレイの解像度が、640×480 16色に変更されることがあります。変更された場合は、解像度や色数を設定し直してください。

◎ APMモードから ACPIモードに切り替える

◆ 切り替えの準備をする

- 1 CD-ROM ドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 3 「名前」に「Q: ¥WIN98¥ACPI¥ACPI_APM.EXE」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 4 ダイアログボックスに「ACPIが無効です」と表示されたら、「Windows 98 CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** ダイアログボックスに「ACPIが有効です」と表示されたら、すでに ACPIモードで動作しているので「キャンセル」をクリックしてください。
「キャンセル」ボタンをクリックした場合は、以降の操作は不要です。「バックアップCD-ROM(OSを除く)」を取り出してください。

5 CD-ROMからファイルのコピーが始まるので、しばらく待つ

ここで、「ファイルのコピーに失敗しました.」と表示された場合は、Windowsフォルダの下に、すでに「ACPI_APM」フォルダが存在している可能性があります。「ACPI_APM」フォルダを削除して、最初の手順からやり直してください。

6 「ACPIを有効に設定する準備ができました」と表示されたら、「Windows 98 CD-ROM」を取り出し、「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!** 以降の操作を行っている途中で、「Windows 98 CD-ROM」を要求するメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックし、「C: ¥WINDOWS¥ACPI_APM」と入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

◆ ハードウェアの再設定をする

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックし、「ハードウェアの追加」アイコンをダブルクリックする

2 「次へ」ボタンをクリックする

3 「次へ」ボタンをクリックする

4 「デバイスは一覧にない」をクリックして、「次へ」ボタンをクリックする

5 「はい」をクリックして「次へ」ボタンをクリックする

6 「次へ」ボタンをクリックする

ハードウェアの検出が始まります。しばらくお待ちください。

7 「完了」ボタンをクリックする

8 「今すぐ再起動しますか」と表示されたら「はい」をクリックする 表示されるメッセージに従ってください。

◆ 3モードフロッピーディスクドライバの再組み込みを行う

次の手順でドライバをセットアップします。
スーパーディスクドライブを使用している場合は、次の手順は必要ありません。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックする

2 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「フロッピーディスクコントローラ」をダブルクリックする

「フロッピーディスクコントローラ」の下にドライバ名が表示されます。
表示されたドライバ名の中に次のドライバ名が存在するか調べます。

- VA36D/AXの場合
NEC 3-mode Floppy(PIIX4E)
- 上記以外のモデルの場合
3-mode Floppy Disk Controller

存在しなかった場合には、3～7の手順は必要ありません。「OK」ボタンをクリック後、手順8に進んでください。

3 次のドライバ名をクリックして「削除」をクリックする

- VA36D/AXの場合
NEC 3-mode Floppy(PIIX4E)
- 上記以外のモデルの場合
3-mode Floppy Disk Controller

4 「デバイス削除の確認」メッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックする

5 「システムのプロパティ」画面で「閉じる」ボタンをクリックする

6 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」→「再起動する」をクリックして「OK」ボタンをクリックする

Windowsが再起動します。

- 7 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする
- 8 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする
- 9 「ハードウェアの追加」アイコンをダブルクリックする
「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面に「このウィザードでは、新しいハードウェアデバイスのためのソフトウェアをインストールします。続行する前に、開いているアプリケーションをすべて閉じてください。」と表示されます。実行中のアプリケーションがある場合にはすべて終了させてください。
- 10 「次へ」ボタンをクリックする
「システムにあるプラグ アンド プレイ機器を検索します。」と表示される画面へ進みます。
- 11 「次へ」ボタンをクリックする
検索が開始されます。
- 12 「インストールするデバイスは一覧にありますか?」と表示されるので、「デバイスは一覧にない」をクリックしてから「次へ」ボタンをクリックする
- 13 「プラグ アンド プレイ以外の新しいハードウェアが自動的に検出されます。」と表示されるので、「いいえ(一覧から選択する)」をクリックしてから「次へ」ボタンをクリックする
- 14 「ハードウェアの種類」のリストの中から「フロッピーディスクコントローラ」をクリックしてから「次へ」ボタンをクリックする
- 15 製造元とモデルを選択する画面が表示されるので、「ディスク使用」ボタンをクリックする

16 インストールするディスクの場所を入力するウィンドウが表示されるので、「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリックする

- ・VA36D/AXの場合
Q: ¥WIN98 ¥3MODEFD1
- ・上記以外のモデルの場合
Q: ¥WIN98 ¥3MODEFD2

17 モデルの一覧が表示されるので、次のドライバ名をクリックして「次へ」ボタンをクリックする

- ・VA36D/AXの場合
NEC 3-mode Floppy(PIIX4E)
- ・上記以外のモデルの場合
3-mode Floppy Disk Controller

18 「完了」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。

 **チェック!!** 「FD3MODE.VXDが見つかりませんでした」というメッセージが表示された場合は、「ファイルのコピー元」に「Q: ¥WIN98 ¥3MODEFD2」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

19 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

これでAPMモードからACPIモードへの切り替えが完了しました。

◎ ACPIモードからAPMに切り替える

◆ 切り替えの準備をする

1 CD-ROM ドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする

3 「名前」に「Q: ¥WIN98¥ACPI¥ACPI_APM.EXE」と入力し、「OK」ボタンをクリックする

4 ダイアログボックスに「ACPIが有効です」と表示されたら、「Windows 98 CD-ROM」をCD-ROM ドライブにセットし、「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** ダイアログボックスに「ACPIが無効です」と表示されたら、すでにAPMモードで動作していますので「キャンセル」をクリックしてください。「キャンセル」をクリックした場合は、以降の操作は不要です。「バックアップCD-ROM (OSを除く)」を取り出してください。

5 CD-ROMからファイルのコピーが始まるので、しばらく待つ
ここで、「ファイルのコピーに失敗しました。」と表示された場合、Windowsフォルダの下に、すでに「ACPI_APM」フォルダ存在している可能性があります。「ACPI_APM」フォルダを削除して、最初の手順からやり直してください。

6 「ACPIを無効に設定する準備ができました」と表示されたら、「Windows 98 CD-ROM」を取り出し、「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** これ以降の操作を行っている途中で、「Windows 98 CD-ROM」を要求するメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックし、「C: ¥Windows¥ACPI_APM」と入力し「OK」ボタンをクリックしてください。

◆ ハードウェアの再設定を行う

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックし、「ハードウェアの追加」アイコンをダブルクリックする

2 「次へ」ボタンをクリックする

3 「次へ」ボタンをクリックする

4 「デバイスは一覧にない」をクリックして、「次へ」ボタンをクリックする

5 「はい」をクリックして「次へ」ボタンをクリックする

6 「次へ」ボタンをクリックする
ハードウェアの検出が始まります。しばらくお待ちください。

7 「完了」ボタンをクリックする

8 「今すぐ再起動しますか」と表示されたら「はい」をクリックする

9 再起動後、「ソフトウェアパワーオフ機能は無効です」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

◆ ソフトウェアパワーOFF 機能を組み込む

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」アイコンをダブルクリックする

2 「次へ」ボタンをクリックする

3 「次へ」ボタンをクリックする

4 「デバイスは一覧にない」をクリックして、「次へ」ボタンをクリックする

5 「はい」をクリックして「次へ」ボタンをクリックする

6 「次へ」ボタンをクリックする
ハードウェアの検出が始まります。しばらくお待ちください。

7 「完了」ボタンをクリックする

8 「スタート」ボタン →「Windowsの終了」→「再起動する」をクリックして「OK」ボタンをクリックする

◆ APMモードを有効にする

1 CD-ROM ドライブに「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする

- 3 「名前」に「Q: ¥WIN98 ¥ACPI ¥ACPI0FF2.REG」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 4 「Q: ¥WIN98 ¥ACPI ¥ACPI0FF2.REG」の情報をレジストリに追加しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 5 「Q: ¥WIN98 ¥ACPI ¥ACPI0FF2.REG」の情報がレジストリに正しく入力されました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 6 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」→「再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする

以上でAPMモードへの切り替えは完了しました。

本機にWindows 98をインストールした場合のご注意

◎ PCカードを使用すると不具合が発生する場合のご注意

本機を強制終了させ、次の手順でUSBの設定を自動から手動に変更してください。

- 1 PCカードを取り外し、本機を起動する
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックする
- 3 「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されますので、「デバイスマネージャ」タブをクリックする
- 4 「ユニバーサル シリアル バスコントローラ」に左にある $\oplus$ をクリックする
- 5 「Intel 82371 AB/EB PCI to USB Universal Host Contoroller」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックする
「Intel 82371 AB/EB PCI to USB Universal Host Contoroller」のプロパティウィンドウが表示されます。

- 6** 「リソース」タブをクリックし、「自動設定を使う」のチェックを外す
- 7** 「I/Oの範囲」を選択して、「設定の変更」をクリックする
- 8** 「I/Oの範囲の編集」ウィンドウが表示されるので、「値」を「FCA0-FCBF」に変更し、「OK」ボタンをクリックする
- 9** 「OK」ボタンをクリックする
- 10** 「はい」を選択し、「閉じる」ボタンをクリックする
- 11** 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする
- 12** 「再起動する」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動し、PCカードの使用が可能になります。

 **チェック!!** 以上の設定を行っても不具合が発生する場合は、本機を強制終了させ、もう一度、再起動させてください。

トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていて、何かトラブルが起きたときは、ここを読んでください。
「トラブルを解決するには」(p.130)を読んで、あてはまる項目を探してください。
何か疑問があるときも、ここを読んでください。

このPARTの内容

トラブルを解決するには
コントロールパネルの開き方
はじめて電源を入れたら
電源を入れたが
バッテリーを使っていたら
電源を切ろうとしたが
画面がおかしい
ファイル、フォルダがおかしい
音がおかしい
NXパッドを操作しても
文字を入力しようとしたら
ファイルを保存しようとしたら

ネットワーク(LAN)に接続しようとしたら
赤外線通信しようとしたら
印刷しようとしたら
フロッピーディスクやスーパーディスク
を使っていたら
ハードディスクを使っていたら
CD-ROMを使っていたら
周辺機器を取り付けようとしたら
アプリケーションを使っていたら
サスペンド／レジューム機能を使おう
としたら
その他

トラブルを解決するには

パソコンは、いろいろなアプリケーションや周辺機器を組み合わせで使うので、予期しないトラブルが発生することがあります。

トラブルをうまく解決するためには、いくつかのポイントがあります。

●落ちついて対処する

ポインティングデバイスやキーボードを操作しても何の反応もなく、画面が止まったように見える場合でも、あわてて電源を切ったり、NXパッドやマウスで何度もクリックしたりしないでください。

パソコンやアプリケーションが反応しなくなったように見えても、アプリケーションなどの処理に時間がかかっているだけのことがあります。しばらく待ってください。



◆用語◆ フリーズ=ハングアップ

どんな操作を行っても、パソコンやアプリケーションが反応しなくなることを、アプリケーションが不正な動きをしたり、周辺機器に異常が発生したときなどに起きます。ウィンドウを動かしたり、文字を入力することはできなくても、マウスポインタだけは動かせるということもあります。

●メッセージが表示されているときは書きとめる

番号や英語など、意味がわからないものも解決の糸口になることがあるので、紙に書きとめてください。

●原因が何か考える

原因になったのが、パソコン本体なのか、周辺機器なのか、アプリケーションなのか、もっと他のものなのか考えてください。原因を特定できないことも多いのですが、原因がわかると対処しやすくなります。

周辺機器に原因があるときは、ひとつずつ取りはずして、トラブルが起きた操作をやり直すと、何に関連したトラブルなのかがわかります。



●巻末にある「索引」の「トラブル解決 Q&A内容一覧」から、
あてはまるトラブルを探す

あなたのトラブルにあてはまる項目があったら、そのページをご覧ください。

●他のマニュアルやヘルプ、READMEファイルを見る

あなたのトラブルに関連する記述がないか探してください。アプリケーションでトラブルが起きたときは、そのアプリケーションのマニュアルやヘルプをご覧ください。

また、アプリケーションには、READMEファイルがついていることが多く、そこには、マニュアルやヘルプに掲載していない重要な情報が載っていることがあります。ワードパッドなどのワープロで開いて、お読みください。

●PART5の「トラブルチェックシート」
(p.185)に記入する

どんなトラブルかを、「トラブルチェックシート」に記入してください。

お問い合わせのときに役に立ちます。



●問い合わせる

本機に関するお問い合わせ先は『NEC PC あんしんサポートガイド』または『メンテナンス&サポートのご案内』をご覧ください。

パソコンと別に購入した周辺機器やメモリ、アプリケーションに関するトラブルは、その製品の問い合わせ先にご相談ください。

コントロールパネルの開き方

トラブルの解決のために、コントロールパネルを開く必要がある場合は、次のようにして開いてください。

メモ

コントロールパネルのすべての機能を使えるようにしたいときは、CyberAccessをエキスパートモードにしてください。「エキスパートモード」以外のモードになっているときは、「コントロールパネル」の一部の機能が使えないことがあります。

参照 CyberAccessを「エキスパートモード」に切り替えるには→PART1の「CyberAccess」(p.27)

コントロールパネルは、次のようにして開きます。

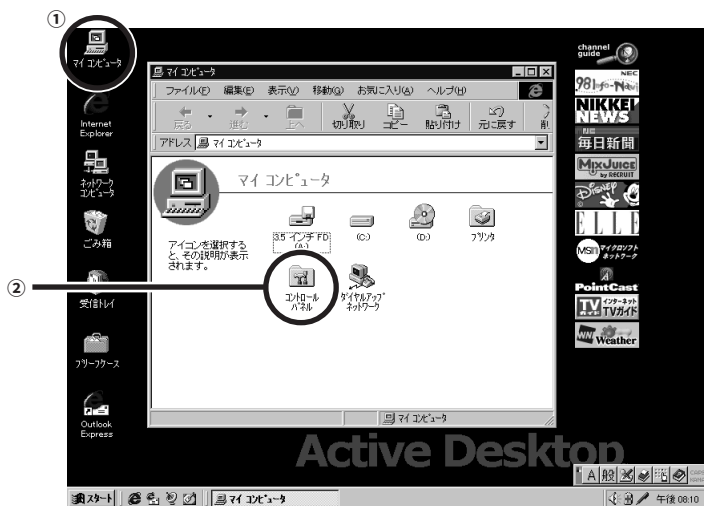
画面左下の「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックする。



(モデルにより、画面が多少異なります)

次の方法で開くこともできます。

「マイコンピュータ」をダブルクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックする。



(この画面はInternet Explorer 4.01の画面です)

コントロールパネルの画面が表示されます。



(モデルにより、画面が多少異なります)

はじめて電源を入れたら

買ってきて、はじめてパソコンを使うときは、まず、セットアップという作業が必要です。

参照 『はじめにお読みください』

セットアップの画面が表示されない

はじめて本機の電源を入れたときに、「Press F1 to Run BIOS SETUP」または「Press <F1> to resume,<F2> to setup」のメッセージが表示されたときは、次の手順に従ってください。

・VA36D/AXの場合

1 キーボードの【F1】を押します。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

参照 BIOSセットアップメニュー→『活用ガイド ハードウェア編』PART3の「BIOSセットアップメニュー」

2 「デフォルト値をロード」を選び、【Enter】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

3 「はい」を選び、【Enter】を押します。

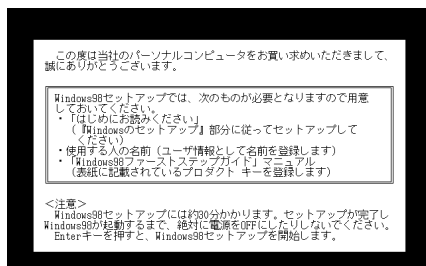
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

4 キーボードの【F10】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

5 「はい」を選び、【Enter】を押します。

BIOSセットアップメニューが終了し、本機が自動的に再起動して次の画面が表示されます。



『はじめにお読みください』をご覧になり、セットアップを行ってください。

・上記以外のモデルの場合

1 キーボードの【F2】を押します。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

参照 BIOSセットアップメニュー→『活用ガイド ハードウェア編』の「PART3 システムの設定」

2 キーボードの【F10】を押します。

セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。

3 「はい」を選び、【Enter】を押します。

BIOSセットアップメニューが終了し、本機が自動的に再起動して「ソフトウェア使用許諾契約」の画面が表示されます。

『はじめにお読みください』をご覧になり、セットアップを行ってください。

セットアップの画面が表示されずに、メッセージが表示された

機種によっては、はじめて電源を入れたときにメッセージが表示されますが、異常ではありません。しばらくするとセットアップの画面が表示されます。

『はじめにお読みください』をご覧になり、セットアップを行ってください。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

もう一度電源を入れて、表示される画面をチェックしてください。



ハードディスクのチェックが実行され、セットアップが実行されたとき

そのままセットアップを続けることができます。セットアップが正常に終了した後は、問題なく使うことができます。

Windowsのセットアップは、停電などのやむを得ない理由で電源が切れたとき(電源を切ったとき)や、Windowsのいくつかのファイルが破損してしまったときなど、正常に作業が終了しなかったときにハードディスクのチェック機能が働きます。

セットアップ時に登録した名前や会社名を変更したい

セットアップ時に「ユーザー情報」で登録した名前や会社名は、セットアップが完了すると変更できません。

どうしても変更したいときは、PART2「再セットアップするには」(→p.49)に従って、再セットアップを行ってください。再セットアップの「ユーザー情報」ウィンドウで名前や会社名を入力します。

電源を入れたが

エラーメッセージが表示される

- ☹️➡️😊 システムの入っていないフロッピーディスクまたはスーパーディスクをセットしたまま本機の電源を入れたり、再起動したりしていませんか？

「Invalid system disk Replace the disk,…」というエラーメッセージが表示されるときは、ディスクドライブからディスクを取り出し、何かキーを押してください。ハードディスクからシステムが起動します。

ディスプレイに何も表示されない

◆ 電源ランプ ④ が点灯していないとき

- ☹️➡️😊 サスペンド状態になっていませんか(VA36D/AXの場合)?

『活用ガイド ハードウェア編』をご覧になり、本機をレジュームさせてください。

参照 ➡️ サスペンド機能について→『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」

- ☹️➡️😊 ACアダプタは正しく接続されていますか？ バッテリーパックは取り付けられていますか？

『はじめにお読みください』に従って、ACアダプタを接続し直してください。

AC電源を使えないときは、バッテリーパックを取り付けてください。

ACアダプタを接続しないで、バッテリーパックを取り付けているときは、バッテリーの残量がなくなっていることが考えられます。ACアダプタを接続して充電してください。

ACアダプタを正しく接続して電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、本機の故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

◆ 電源ランプ が点灯しているとき

→ ディスプレイの輝度(明るさ)は適切ですか？

 (輝度調節つまみ)があるモデルは輝度調節つまみを調整してください。

輝度調節つまみのないモデルでは、【Fn】を押したまま【F8】または【F9】を押し、ディスプレイの輝度を調整してください。

→ 外付けのディスプレイを接続していませんか？

外付けのディスプレイを接続した状態で、画面の出力先が「外部モニター」になっているときは、液晶ディスプレイに画面は表示されません。画面の出力先を変更したいときは、キーボードの【Fn】を押したまま【F3】を押してください。キーを押すごとに画面の出力先を切り替えることができます。

電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる

→ スタンバイモードになっていませんか？

NXパッドなどのポインティングデバイス进行操作するか、またはキーボードのいずれかのキー(【Shift】など)を押してください。元に戻らないときは、サスペンド状態になっていることが考えられます。『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」をご覧ください。

Windows NTが起動しない

パソコン本体の設定(BIOSの設定)が正しくない可能性があります。次の方法でパソコン本体の設定(BIOSの設定)をご購入時の状態に戻してください。

- 1 本機の電源を切ります。
- 2 PCカードを接続しているときは、取り外してください。
- 3 約5秒以上待ってから本機の電源を入れます。
- 4 NECのロゴが表示されたらすぐに【F2】を押します。
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。
- 5 VA36D/AXの場合は、「デフォルト値をロード」を選び、
【Enter】を押します。
上記以外のモデルでは、キーボードの【F9】を押します。
セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。

6 「はい」を選び、キーボードの【Enter】を押します。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

7 キーボードの【F10】を押します。

セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。

8 「はい」を選び、キーボードの【Enter】を押します。

これでパソコン本体の設定(BIOSの設定)が初期値に戻りました。

「Checking file system on X:」と表示される

上記のように表示されたときは、次のような原因が考えられます。

- ・前回電源をOFFにしたときに正しく電源がOFFにならなかった
- ・本機の電源を強制的に切ろうとした
- ・サスペンドした内容が何らかの原因で失われてしまった

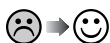
メッセージのあと、自動的にCHKDSKが実行されて、ハードディスクの内容がチェックされます。

ハードディスクに異常がなければ、Windowsが起動します。

ハードディスクに何か問題があって正常に起動しなかったときは、画面の指示に従ってください。

参照 再セットアップするときには→「PART2 再セットアップするには」(p.49)

Windowsパスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される



Ⓐ (キャップスロックキーランプ) または **Ⓛ** (ニューメリックロックキーランプ) が点灯していませんか？

キャップスロックキーランプが点灯しているときは、【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押して、Caps Lockを解除してからパスワードを入力し直してください。

ニューメリックロックキーランプが点灯しているときは、【Num Lock】を押してNum Lockを解除してからパスワードを入力し直してください。

パスワードを忘れてしまった



Windowsのパスワードを忘れてしまったとき

Windowsのパスワードを忘れてしまったときは、「ログオン情報」の画面で、新しいユーザ名でログオンを行うか、Windowsを再セットアップしてください。



Administrator権限を持つユーザでログオンし、「ユーザマネージャ」でパスワードを変更することもできます。



チェック!! ローカルマシンのAdministrator権限を持つユーザすべてのパスワードを忘れてしまった場合、Windowsの設定のほとんどは変更できなくなってしまうので注意してください。



ユーザパスワードやスーパーバイザパスワードを忘れたとき

パスワードの解除処置が必要です。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

ユーザパスワードやスーパーバイザパスワードを忘れてしまったときには、解除処置が必要です。Bit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

- ・パスワード解除処置は保証期限内でも有償です。
- ・パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となります。機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り、処置をお受けいたします。
- ・パスワード解除処置を依頼されるときには、次のものをすべてご用意ください。
 1. 本機の購入を証明するもの(保証書など)
 2. 身分証明書(お客様ご自身を証明できるもの)
 3. 印鑑
- ・パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身により専用の用紙に必要事項を記入・捺印していただくことが必要です。専用品紙の記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応しかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

レジュームから復帰した時に、何も画面に表示されない



キャップスロックキーランプ  とスクロールロックランプ  が交互に点灯していませんか？

レジュームしたとき、画面に何も表示されずにキャップスロックキーランプ  とスクロールランプ  が交互に点灯しているときには、パスワードが設定されています。

電源を入れたときに入力したパスワードをもう一度入力し直してから、【Enter】を押してください。



チェック!! レジュームしたときに入力するパスワードは、前回電源を入れたときのパスワードと同じものを入力する必要があります。

レジュームしたら、「PASSWORD」と書かれた鍵穴の絵が表示された

パスワードが設定されています。

電源を入れたときに設定したパスワードをもう一度入力し直してから、【Enter】を押してください。



チェック!! レジュームしたときに入力するパスワードは、前回電源を入れたときのパスワードと同じものを入力する必要があります。

バッテリーを使っていたら

ACアダプタを接続してもバッテリーの充電がはじまらない

☹️➡️😊 バッテリーがフルに充電されていませんか？

バッテリー充電ランプ  が消えているときは、バッテリーがフル充電されています。バッテリーがフルに充電されているときや、フル充電に近いときは充電されないことがあります。

☹️➡️😊 バッテリーパックが接触不良を起こしていませんか？

バッテリーパックが接触不良の場合には、バッテリー充電ランプが点滅します。バッテリーパックを取り外し、バッテリーパックの端子部分を柔らかい布でふいてください。

参照 バッテリーのお手入れ→『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「バッテリーで本機を使う」

フル充電したのにバッテリー充電ランプ が点灯する

バッテリーは少しずつ自然放電しているのを、それを補充するため、ACアダプタが接続されているときは自動的に充電が始まります。故障ではありません。

バッテリー充電ランプが点滅する

☹️➡️😊 バッテリーパックは正しく取り付けられていますか？

電源を切り、ACアダプタとバッテリーパックを取り外してからもう一度正しく取り付け直してください。

◆バッテリーを正しく取り付け直しても直らないとき

『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「バッテリーで本機を使う」をご覧ください。バッテリーリフレッシュを行ってください。バッテリーリフレッシュを行っても直らないときは、バッテリーパックの寿命ですので、別売のバッテリーパックと交換してください。

電源を切ろうとしたが

パソコンの電源は必ずこの手順で切ってください。正しい手順を守らないと、データを壊してしまうことがあります。

電源を切れない、強制的に電源を切りたい



画面は表示されていますか？

パソコンの電源を切るときは、次の「正しい電源の切り方」に従ってください。

◆ 正しい電源の切り方

1 「スタート」ボタン→「シャットダウン」をクリックします。

「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。

2 「シャットダウンする」を (オン) にして「OK」ボタンをクリックします。

しばらくすると、自動的に電源が切れ、電源ランプ  が消えます。

◆ 画面は表示されているが、正しい手順で電源が切れないとき

上記の手順で電源が切れないときは、アプリケーションに異常が起きていることが考えられます。次の手順に従ってアプリケーションを強制的に終了してください。

1 【Ctrl】と【Alt】を押したまま【Del】を押して、「タスクマネージャ」ボタンをクリックします。

「Windows NTタスクマネージャ」ウィンドウが表示されます。

2 「アプリケーション」タブをクリックします。

3 右側に「応答なし」と表示されているプログラム(アプリケーション)をクリックし、「タスクの終了」ボタンをクリックします。



この方法でアプリケーションを終了させると、保存していないデータは消えてしまいます。



4 もう一度、「正しい電源の切り方」に従って電源を切ってください。

この方法でも電源を切れないときは、次の「強制的に電源を切る方法」に従ってください。

強制的に電源を切る方法

電源スイッチを約4秒以上操作し続ける

電源スイッチがスライド式のモデルでは、電源スイッチを約4秒以上スライドさせたままにしてください。

電源スイッチがボタン式のモデルでは、電源スイッチを約4秒以上押し続けてください。

 **チェック!!** BIOSセットアップメニューで、電源スイッチでスリープ状態になる設定にしている場合、この操作をするとスリープ状態になってしまうことがあります。このようなときには、いったん電源スイッチから手を離し、もう一度電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。

◆ 画面が表示されていないとき

サスペンド／レジューム機能、または、ハイバネーション機能に対応していないアプリケーションを使っているときに、サスペンド状態、または、ハイバネーション状態になると、電源を切ることができなくなることがあります。このようなときには、いったん電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。

画面がおかしい

「スタート」ボタンがない

☹️➡️😊 マウスポインタを画面のいちばん下に移動してください

◆タスクバーが表示されたとき

タスクバーが「自動的に隠す」設定になっています。
いつもタスクバーを表示しておきたいときは、「スタート」ボタン→「設定」→「タスクバーと[スタート]メニュー」→「タスクバーのプロパティ」ウィンドウの「タスクバーオプション」タブで「自動的に隠す」の ☒ (オン) をクリックして ☐ (オフ) にし、「OK」ボタンをクリックします。

◆マウスポインタが ↑ または ↔ に変わったとき

タスクバーの幅が狭くなっています。↑ または ↔ に変わったところから、画面の中心に向かってドラッグすると、タスクバーが出てきます。
「スタート」ボタンが表示されていないなくても、【田】(Windows)を押すと、スタートメニューが表示されます。



(モデルにより、画面が多少異なります)

電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる

☹️➡️😊 スタンバイモードになっていませんか？

NXパッドなどのポインティングデバイス进行操作するか、またはキーボードのいずれかのキー(【Shift】など)を押してください。元に戻らないときは、サスペンド状態になっていることが考えられます。『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」をご覧ください。

インターネットエクスプローラのアクティブ デスクトップではなく、Windows NTの画面にしたい(Internet Explorer 4.01の場合)

●アクティブ デスクトップ機能を外す

インターネットエクスプローラのアクティブ デスクトップ機能を外すときは、次の手順に従ってください。

1 コントロールパネルを開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウの「セットアップと削除」タブで「Microsoft Internet Explorer 4.0」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックします。

「Windowsデスクトップのアップデートコンポーネントを削除するが、Internet Explorer 4.0のWebブラウザは削除しない」をクリックして  (オン)にします。

3 「OK」ボタンをクリックします。

「セットアップメッセージ」が表示されます。

4 「はい」ボタンをクリックします。

●インターネットエクスプローラのアクティブ デスクトップ機能を削除せずWindows NTの画面に近づける

次の操作をすると画面はWindows NT 4.0に近いものになります。

1 マイコンピュータを開き「表示」メニュー→「フォルダオプション」をクリックします。

2 「全般」ウィンドウの「従来のWindowsスタイル」を選択し「OK」ボタンをクリックします。

コマンドプロンプト画面がフルスクリーンになったので元に戻したい

【Alt】を押したまま【Enter】を押してください。

ウィンドウが画面からはみ出してしまって操作できない

次のいずれかの方法で、操作できる位置までウィンドウを移動してください。

- 操作中のウィンドウのタイトルバーをドラッグし、操作できる位置まで移動する
- タスクバーを右クリックして「上下に並べて表示」または「左右に並べて表示」を選択する
- キーボードを使って、操作できる位置までウィンドウを移動する

キーボードを使ってウィンドウを移動させる方法

- 1 【Alt】を押したまま【Tab】を何回か押して、移動したいウィンドウをアクティブな状態にします。
- 2 【Alt】を押したまま【スペース】を押します。
- 3 メニューが表示されたら、【↓】を押して「移動」を選び、【Enter】を押します。
- 4 【↑】、【↓】、【←】、【→】を押して、操作できる位置までウィンドウを移動します。
- 5 【Enter】を押します。

マウスポインタ(矢印)の動きが遅い、速い

次の方法でマウスポインタの動きを調節することができます。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックします。
「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「動作」タブで「速度」、「アクセラレーション」を調節します。

使っていたウィンドウがなくなった



使っていたウィンドウが他のウィンドウの下に隠れていませんか？

タスクバーに表示されている使っていたウィンドウと同じ名前のボタンをクリックしてください。

他のウィンドウの下に隠れて見えなくなっているときは、いちばん手前に表示されます。



タスクバーに使っていたウィンドウと同じ名前のボタンがないときは、そのウィンドウは閉じています。もう一度起動してください。

画面の色がおかしい

WindowsNTの画面の表示色を256色にしていると、アプリケーションによっては画面の色が正しく表示されないことがあります。次の操作をすると正しく表示されることがあります。

1 デスクトップ上の何もないところで右クリックします。

2 表示されるメニューから「アクティブデスクトップ」→「Webページで表示」をクリックします。

「Webページで表示」の左にチェックが付いていないことを確認してください。

ファイル、フォルダがおかしい

ファイルが見つからない

◆ファイルがどのフォルダにはいつているかわからないとき

わからないときは、「スタート」ボタンをクリックして、「検索」の「ファイルやフォルダ」で探してください。



フォルダやファイルを保存した日付がわかっているときは、「検索」ウィンドウの「日付」タブで検索できます。

◆ファイルがどのフォルダにはいつているかわかっているとき

☹️➡️😊 ファイルを表示しないように設定していませんか？

マイコンピュータやエクスプローラの「表示」メニュー→「フォルダオプション」ウィンドウの「表示」タブで、「すべてのファイルを表示する」の ☐ (オフ) をクリックして ☒ (オン) にします。

☹️➡️😊 ファイルのアイコンが、他のアイコンの下に重なって見えなくなっていますか？

そのフォルダのウィンドウの「表示」メニューの「等間隔に整列」をクリックまたは「アイコンの整列」の「アイコンの自動整列」をクリックして、アイコンを並べ直してください。

必要なファイルを消してしまった

☹️➡️😊 「ごみ箱」を開いて、フォルダやファイルが残っていないか確認してください

フォルダやファイルが残っていたら、元に戻したいフォルダやファイルにマウスポインタを合わせて右クリックして、表示されたメニューの中から「元に戻す」をクリックすると元に戻すことができます。



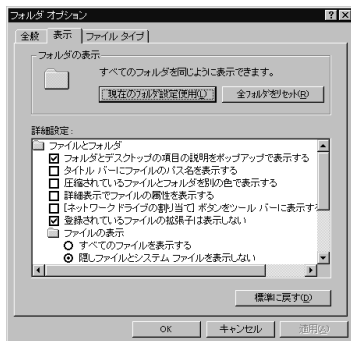
Windowsでは、フォルダやファイルを削除すると、いったん「ごみ箱」に保管されます。間違ってフォルダやファイルを削除しても、「ごみ箱」から元に戻すことができます。

チェック!! 次のような場合はごみ箱にファイルが保存されません。

- ・フロッピーディスクやスーパーディスクなどに保存されているフォルダやファイルを削除したとき
- ・「ごみ箱のプロパティ」ウィンドウで「ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す」を(オン)にしているとき
- ・ごみ箱の最大サイズを0%にしているとき
- ・ごみ箱のサイズを超えるファイルを削除したとき

ファイルの拡張子が表示されない

マイコンピュータやエクスプローラの「表示」メニュー→「フォルダオプション」ウィンドウの「表示」タブで、「登録されているファイルの拡張子は表示しない」の ☒ (オン)をクリックして ☐ (オフ)にしてください。



文書を保存せずに電源を切った(または、アプリケーションを終了した)ら、データが消えた

電源を切ると、フロッピーディスクやスーパーディスク、ハードディスクに保存していないファイルは消えてしまいます。万一に備えて、大切なファイルはこまめに保存しておくようにしましょう。

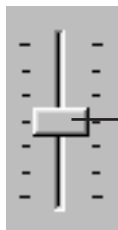
音がおかしい

音が出ない、音が大きすぎる

☹️➡️😊 音量を調節してください

音量調節つまみで音量を調節してください。

または、Windowsの「ボリュームコントロール」で音量を調節してください。「ボリュームコントロール」は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」→「ボリュームコントロール」をクリックして、「Volume Control」ウィンドウを開き（スライダー）で音量を調節してください。また、「全ミュート」が☒（オン）になっていると音がでません。クリックして☐（オフ）にしてください。



このつまみを上下にドラッグして音量を調節します。

参照 音量を調整するには→『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「サウンド機能」

☹️➡️😊 ヘッドホンが接続されていませんか？

ヘッドホンが接続されていると、内蔵スピーカからは音が出ません。

スピーカからマイクロホン使用中に「キーン」という音がする（ハウリングを起こす）

マイクロホンスピーカに近づけると、スピーカから「キーン」という大きな音が出ることがあります。これをハウリングといいます。故障ではありません。スピーカの音量を下げるか、マイクロホンの音量を下げてください。または、マイクロホンを入内蔵スピーカから遠ざけてください。

スピーカの音量の下げ方

音量調整つまみで調整するか、画面右下のをクリックして（スライダー）を下にドラッグする。

マイクロホンの音量の下げ方

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」→「ボリュームコントロール」をクリックします。

「Volume Control」ウィンドウが表示されます。

- 2 「オプション」の「プロパティ」をクリックします。

「プロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 3 「音量の調整」で「再生」を（オン）にします。

- 4 「表示するコントロール」の「Microphone」をクリックして（オン）にします。

- 5 「OK」ボタンをクリックします。

「Volume Control」ウィンドウが表示されます。

- 6 「Microphone」の（スライダー）をドラッグして音量を調整します。

NXパッドを操作しても

NXパッドを操作しても、何も反応しない

◆キーボードの【Shift】などを押すと反応するとき

☹️➡️😊 指先やNXパッドが汚れていませんか？

指先やNXパッドに水分や油分がついていると、正常に動作しません。汚れを拭き取ってから操作してください。

☹️➡️😊 NXパッドの2カ所以上に同時に触れていませんか？

NXパッドの2カ所以上に同時に触れていると、正常に動作しません。

☹️➡️😊 NXパッドを使用しない設定になっていませんか？

VA36D/AXの場合は、BIOSセットアップメニューの「拡張セットアップ」の「NXパッド」を「使用する」に設定してください。

上記以外のモデルの場合は、BIOSセットアップメニューの「詳細」の「NXパッド&PS/2マウス」を「自動」または「両方」に設定してください。

◆キーボードのキーを押しても反応しないとき

☹️➡️😊 マウスポインタが砂時計の形 ⌚ に変わっていませんか？

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、NXパッドの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

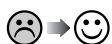
☹️➡️😊 しばらく待っても、NXパッドの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。Windowsの処理を止めているアプリケーションを強制終了してください。

このとき、保存されていないデータは消去されます。

参照 強制終了するときには→「電源を切れない、強制的に電源を切りたい」(p.143)

タップ&ドラッグができない



「マウスのプロパティ」で「タッピング」を ☐ (オフ) に設定していませんか？

マウスのタッピング設定が ☐ (オフ) になっているとタップ&ドラッグができなくなります。

次の手順に従って設定を変更してください。

1 コントロールパネルを開き「マウス」アイコンをダブルクリックします。

「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「タッピング」タブの「タッピング」をクリックして ☒ (オン) にします。

3 「OK」ボタンをクリックします。

ダブルクリックしにくい

「マウスのプロパティ」でポインティングデバイスの設定を変えることができます。

1 コントロールパネルを開き「マウス」アイコンをダブルクリックします。

「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「ボタン」タブの「ダブルクリックの速度」でダブルクリックの速度を調整します。

3 「OK」ボタンをクリックします。

文字を入力しようとしたら

キーボードのキーを押しても、何も反応しない

- ☹️➡️😊 マウスポインタが砂時計の形⌚に変わっていませんか？

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

- ☹️➡️😊 しばらく待っても、キーボードの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。アプリケーションを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは消去されます。

参照 強制終了をするときには→「電源を切れない、強制的に電源を切りたい」(p.143)

キーボードで押したキーと違う文字が表示される

- ☹️➡️😊 **⌕** (キャップスロックキーランプ) が点灯していませんか？

点灯しているときは、【Shift】を押していないときは大文字、押しているときは小文字が入力されます。

【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押して、ランプを消すと、【Shift】を押していないときは小文字、押しているときは大文字が入力される状態になります。

- ☹️➡️😊 Num Lockキーランプ **1** が点灯していませんか？

Num Lockキーランプ **1** が点灯しているときにはキー前面に印字されている数字や記号が入力されます。【Num Lock】を押すとロックが解除され、キー上面の文字が入力される状態になります。

- ☹️➡️😊 入力したいモードになっていますか？

日本語入力と英字入力を切り換えたいときは、【Alt】を押したまま【半角/全角】キーを押します。

かな入力とローマ字入力を切り換えたいときは、日本語入力モードのときに【Alt】を押したまま【カタカナ ひらがな】を押します。

ひらがなや漢字の入力(日本語入力)ができない



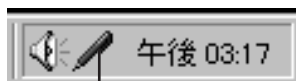
タスクバーの日本語入力インジケータが  になっていませんか？

日本語入力システムを次のどちらかの方法でオンにしてください。

●キーボードで【Alt】を押したまま【半角/全角】を押す。

●タスクバーの  (日本語入力インジケータ)をクリックして、「日本語入力-オン」をクリックする。

日本語入力が入オンになると、日本語入力インジケータは  になります。



日本語入力インジケータ

記号などで入力できない文字がある

日本語入力システムを使っても入力できないような文字は、文字コード表を使って入力します。

文字コード表は、「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」の「文字コード表」を開きます。



文字コード表の文字をクリックして、「文字の選択」をクリックした後「コピー」をクリックし、文書を開いているアプリケーションの「編集」メニューの「貼り付け」を選びます。



貼り付け先でフォントの再指定が必要なものがあります。

参照 文字コード表の使いかた→文字コード表のヘルプ

ファイルを保存しようとしたら

保存できない

◆ ハードディスクに保存しようとしたとき

☹️ → 😊 ディスクの空き領域を確認してください

「ハードディスクの空き領域が足りない」(→p.166)に従って空き領域を増やしてください。ディスクの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

◆ フロッピーディスクやスーパーディスクに保存しようとしたとき

☹️ → 😊 フロッピーディスクやスーパーディスクがライトプロテクトされていませんか？

ライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。

参照 ライトプロテクトを解除するには→「読み込みはできるが、書き込みができない」(p.164)

☹️ → 😊 ディスクの空き領域を確認してください

ディスクの空き領域が足りないときは、いらないファイルを削除するか、別のディスクを使ってください。ディスクの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

ファイル名の後ろに、入力していない文字「.bmp」「.txt」などが付く

これは、ファイルの種類を区別するための文字(拡張子)がファイル名の最後に自動的につけられたためで、異常ではありません。

メモ おもな拡張子

.txt	テキストファイル
.bmp/.jpg/.gif	画像データ
.hlp	ヘルプファイル
.wav	WAVE形式の音声データ
.exe/.com	実行可能プログラム

ネットワーク(LAN)に接続しようとしたら

LANの接続については、ネットワーク管理者にご相談ください。

 **チェック!!** ネットワークを運用中は、リンクケーブルを取り外さないでください。

ネットワークへの接続方法が分からない

『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「ネットワーク通信機能」をご覧ください。リンクケーブルを接続してください。また、必要なネットワークソフトを正しくセットアップしてください。

ネットワークに接続できない

 ➡  **接続は正しくできていますか？**

ネットワーク管理者に相談して、パソコンとHUB(ハブ)がリンクケーブルで正しく接続されているかを確かめてください。

 ➡  **設定が間違っていないですか？**

プロトコルやドメインワークグループ等の設定が間違っているか、またはコンピュータアカウントがプライマリドメインコントローラ上にありません。詳しくはネットワーク管理者に相談してください。

 ➡  **ネットワーク関連機能サービス(サービス、プロトコル等)を新しく追加した後にServicePackを適用するのを忘れていませんか？**

イベントビューアに「Serverサービスは次のエラーのため終了しました。このコマンドを処理するのに必要な記憶領域をサーバ側で確保できません」とエラー表示されていたら、ServicePackをもう一度適用した後に、再起動してください。

◆ ネットワークコンピュータに「ネットワーク全体」のアイコンしか表示されない

ネットワークが正常に接続されていないか、ネットワークソフトウェアの設定が正しくありません。接続の方法やネットワークソフトウェアを確認してください。

◆ ネットワークコンピュータに自分のコンピュータしか表示されない

接続しようとしているドメインまたはワークグループが一致しているか確認してください。設定されているドメインまたはワークグループは、「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンで調べることができます。

共有ドライブやフォルダが使えない

→ お客様のコンピュータが共有を行う設定になっていますか？

共有ドライブ、フォルダを設定してください。ネットワークに接続された他のコンピュータからお客様のコンピュータを利用するには、「共有する」の設定が必要です。

利用したいドライブ、フォルダを右クリックし、表示されたメニューの中から「共有」をクリックしてください。共有設定が行われるとドライブやフォルダのアイコンが変わります。

→ 共有ドライブやフォルダにアクセス権が設定されていますか？

共有ドライブやフォルダには、その所有者がアクセス権を設定できるようになっています。アクセス権が設定されている場合、全く利用できないか、読み取りのみ可能な設定、読み取りも書き込みも可能な設定と、いくつかのパターンが設定されます。

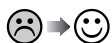
メモ

お客様が共有を設定した当初は「フルコントロール」の設定になっています。他のユーザから読み取りも書き込みもできます。



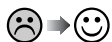
赤外線通信しようとしたら

赤外線通信できない



本機の通信ポートと通信相手の通信ポートの配置は正しいですか？

お互いの通信ポートが正面に向き合うようにして、20～80cmの距離のところに置いてください。



デバイスを正しく設定していますか？

『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」をご覧ください、正しい設定を行ってください。

印刷しようとしたら

印刷がうまくいかないときは、その原因として、プリンタやケーブル、プリンタドライバ、パソコンのハードディスクの空き領域、アプリケーションの設定などが考えられます。ひとつずつ確認してください。

参照

プリンタの接続と設定方法→『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「プリンタを使う」
プリンタに添付されているマニュアル

プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される

☹️➡️😊 プリンタの電源は、入っていますか？

プリンタのマニュアルを見て電源を入れてください。

☹️➡️😊 接続ケーブルが外れていたり、接触不良を起こしていませんか？

『活用ガイド ハードウェア編』のPART2の「プリンタを使う」とプリンタのマニュアルに従って、本機とプリンタを接続し直してください。

☹️➡️😊 プリンタが用紙切れ、トナー、インク切れになってませんか？

プリンタのマニュアルに従って用紙やトナー、インクを補充してください。

☹️➡️😊 プリンタが印刷可能な状態(オンライン)になっていますか？

プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示を確認してください。また、プリンタのマニュアルに従って設定を確認してください。

☹️➡️😊 プリンタのテスト印字はできますか？

プリンタには一般にテスト印字する機能があります。この機能を使ってプリンタの印字テストを行ってください。テスト印字ができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

☹️➡️😊 プリンタの製造元が推奨するプリンタケーブルを使っていますか？

プリンタによっては、プリンタ製造元の指定したケーブルを使わないと印刷がうまくいかないものがあります。プリンタのマニュアルを見て、ケーブルを確認してください。

☹️➡️😊 **プリンタ専用のプリンタドライバがインストールされていますか？**

新しくプリンタを接続したときは、プリンタドライバのセットアップが必要です。

参照 ➡️ **プリンタドライバのセットアップ→プリンタのマニュアル**

☹️➡️😊 **プリンタドライバの設定を確認してください。**

プリンタドライバの設定によっては、正しく印刷されないことがあります。

参照 ➡️ **プリンタドライバの設定→プリンタのマニュアル**

☹️➡️😊 **デバイスの設定を確認してください**

BIOSセットアップメニューで、パラレルポートを使用しない設定にしている場合は、設定を解除してください。

また、セキュリティの設定をしている場合は、設定を解除してください。

参照 ➡️ **デバイスの設定→『活用ガイド ハードウェア編』の「PART3 システムの設定」**

フロッピーディスクやスーパーディスクを使っていたら

フロッピーディスクを使用できない



フロッピーディスクのフォーマットの種類が640Kバイトになっていませんか？

640Kバイトでフォーマットされたフロッピーディスクは使えません。720Kバイト、1.2Mバイト、または1.44Mバイトでフォーマットされたフロッピーディスクを使ってください。

「マイコンピュータ」の3.5インチFDをダブルクリックしたが、ディスクの内容が表示されない

◆「デバイスの準備ができていません」と表示されたとき

ディスクをいったん取り出し、ラベルの貼られた方を手前、上向きにし、ディスクドライブの奥まで入れて、「再試行」をクリックしてください。

同じメッセージが表示されたときは、「キャンセル」をクリックし、ディスクを取り出し、別売のクリーニングディスクを使ってヘッドをクリーニングしてください。

クリーニング後、再び同じ現象が起きるときは、他のディスクを入れてみてください。

このとき、他のディスクをセットすると内容が表示されるときは、元のディスクの内容が壊れていると考えられます。復旧は困難です。



チェック!! 他のディスクをセットしても内容が表示されないときは、ディスクドライブの故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。



ディスクドライブのヘッドが汚れると、ディスクを読むことができなくなります。ひと月に一回を目安にクリーニングディスクを使ってクリーニングしてください。

クリーニングディスクについては、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

また、ディスクが壊れた場合に備えて、重要なデータは必ずバックアップ(コピー)をとっておくようにしましょう。

◆「ディスクはフォーマットされていません」と表示されたとき

セットされたディスクは、このパソコンでは読めないフォーマットのディスクか、またはフォーマットされていません。

ディスクに必要なファイルがはいっていないければ、そのまま「はい」をクリックしてフォーマットするか、コマンドプロンプトを起動し、FORMATコマンドを利用してフォーマットしてください。

例: `FORMAT<ドライブ名>:/F:1.23` など

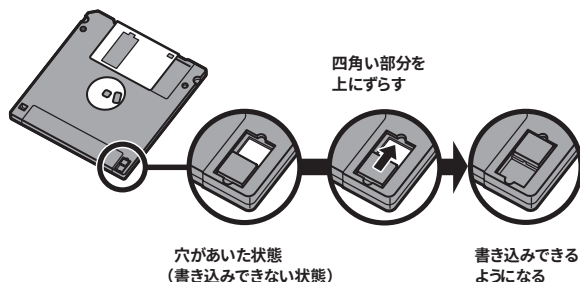
読み込みはできるが、書き込みができない

ディスクがライトプロテクトされていないかどうか確認してください。ライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。

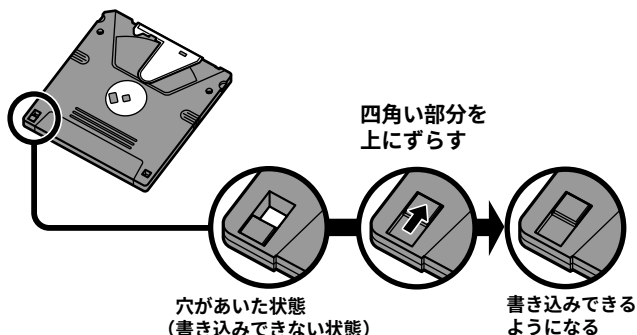


ディスクには、記録されている内容を間違えて消したり、変更してしまわないように、書き込みを保護する機能(ライトプロテクト機能)があります。ファイルを保存するときは、ライトプロテクトノッチを書き込みできるようにずらしてください。

◆フロッピーディスクの場合



◆スーパーディスクの場合



システムディスクなど大切なディスクは、本当に書き込みをしていいか、もう一度確認しましょう。

ディスクに飲み物をこぼしてしまった

本機の故障の原因になるので、汚れたディスクは使わないでください。ディスクを汚してしまい、保存しておいたデータが使えなくなってしまったときに備えて、バックアップをとっておくことをおすすめします。

ディスクを誤ってフォーマットしてしまった

ディスクをフォーマットすると、保存していたデータはすべて消去されます。市販のユーティリティソフトなどで復旧できることもあります、確実ではありません。

✓チェック!! 必要なディスクをフォーマットしてしまわないよう、十分注意してください。大切なデータが入っているディスクには、ライトプロテクトをかけておいてください。また、こまめにバックアップを取ることをおすすめします。

スーパーディスクドライブからディスクを取り出せない

☹️➡️😊 パソコンの電源が入っているか確認してください

パソコンの電源をいれてから、イジェクトボタンを押してください。電源が切れている状態では、出し入れができません。

電源が入っているのにディスクを取り出せないときは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「フロッピーディスクドライブ／スーパーディスクドライブ」の「スーパーディスク使用時の非常時のディスクの取り出し方」をご覧ください。スーパーディスクを取り出してください。

ハードディスクを使っていたら

「マイコンピュータ」の中に表示される  がハードディスクです。

ハードディスクの空き領域が足りない

ハードディスクの空き領域を増やすには、次の方法があります。

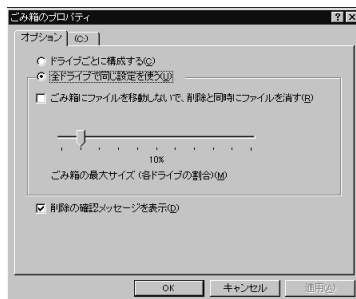
●「ごみ箱」を空にする

削除したファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、デスクトップの「ごみ箱」にはいつています。ごみ箱を空にすると、ごみ箱に入っていたファイルの分だけ、ハードディスクが空きます。ごみ箱を空にするときは、「ごみ箱」アイコンを右クリックして、メニューの「ごみ箱を空にする」をクリックします。

●「ごみ箱」の最大サイズを小さくする

ごみ箱の設定は、「ごみ箱」アイコンを右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックして、表示される「ごみ箱のプロパティ」のウィンドウで行います。

▼(スライダー)を左の方に動かして「ごみ箱の最大サイズ」を調整します。



✓**チェック!!** ごみ箱の最大サイズを0%にすると、削除したファイルはごみ箱に保管されずに消えてしまいます。

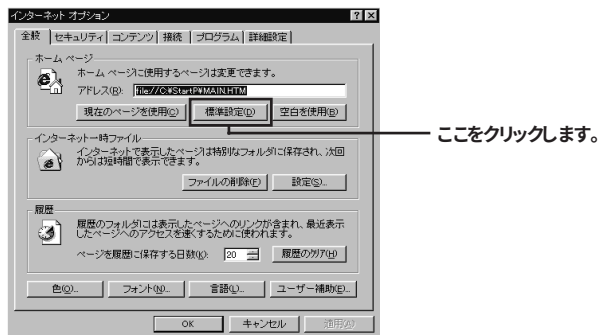
●TEMPフォルダの中身を削除する

アプリケーションによっては、実行中に一時作業用ファイル(テンポラリファイル)を作成します。このファイルは、通常は、終了時に消去されますが、アプリケーションを強制終了すると、削除されません。一時作業用ファイルは、通常、TEMPフォルダに作られます。

● インターネットエクスプローラのテンポラリファイルを削除するには

インターネットエクスプローラで、すでに表示したページを後でご覧になる必要がないときは、次の方法でハードディスクの空き領域を増やすことができます。

- 1 「インターネットエクスプローラ」を起動します。
- 2 Internet Explorer 4.01をお使いの場合は、「表示」メニュー→「インターネットオプション」を選びます。Internet Explorer 5をお使いの場合は、「ツール」メニュー→「インターネットオプション」を選びます。
- 3 「全般」タブ→「インターネット一時ファイル」の「ファイルの削除」ボタンをクリックします。



(この画面はInternet Explorer 4.01の画面です)

- 4 「OK」ボタンをクリックし、もう一度「OK」ボタンをクリックします。



アプリケーションソフトを実行中は、一時作業用ファイルは削除しないでください。アプリケーションソフトが動かなくなることがあります。

● インストールされているアプリケーションを削除する

すぐに使わないアプリケーションをハードディスクから削除すると、ハードディスクの空き領域を増やすことができます。



参照 アプリケーションの削除→PART1の「アプリケーションの削除と追加」(p.4)
別売のアプリケーションの削除→アプリケーションに添付のマニュアル

ファイルをごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き領域が増えない

削除したり「ごみ箱」にドラッグしたファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、「ごみ箱」に保管されます。「ごみ箱」に保管されているファイルをハードディスクから削除したいときは、「ごみ箱」アイコンを右クリックして表示されるメニューから「ごみ箱を空にする」をクリックしてください。

領域確保できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない

カタログなどに記載されているハードディスクの容量は、1 M バイト=1,000,000バイトで計算しています。これに対し、ハードディスクを領域確保するときには、1Mバイト=1,024×1,024=1,048,576バイトで計算しているので、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。GB(ギガバイト)についても同様の記述となっています。

ハードディスクをメンテナンスする方法を知りたい

ハードディスクを長時間使用している間に、まれにハードディスク自体や保存されているデータに障害を起こすことがあります。しかし、小さな障害であれば、付属のユーティリティを使うことですぐに復旧することができます。小さな障害であっても、放置すると被害が拡大する恐れがあります。これを防ぐために、こまめにハードディスクをメンテナンスしてください。

メンテナンスをするためのユーティリティには、ドライブのエラーをチェックするためのエラーチェックプログラムがあります。

●エラーチェックプログラムについて

エラーチェックプログラムを使うと、ハードディスク自体やハードディスクに保存されているデータに障害がないかどうか調べることができます。

詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

●不良セクタ、スキップセクタについて

ハードディスクは、きわめて精密に製造されますが、データが高密度で記録されるため、読み出しエラーの起こりやすい場所ができることがあります。これを「不良セクタ」または「スキップセクタ」といいます。

エラーチェックプログラムを実行すると「不良セクタ」と表示されることがありますが、これは、不良セクタを使わないように予防されたことを表しており、異常ではありません。

CD-ROMを使っていたら

CD-ROMドライブのトレイを出し入れできない

☹️➡️😊 パソコンの電源は、入っていますか？

パソコンの電源を入れて、CDトレイジェクトボタンを押してください。

電源が切れている状態では、出し入れできません。

電源が入っているのにCDトレイが出てこない場合は、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「非常時のCD-ROMの取り出し方」に従って強制的に出してください。

CD-ROMをセットしても自動起動しない

☹️➡️😊 そのCD-ROMは、自動起動に対応していますか？

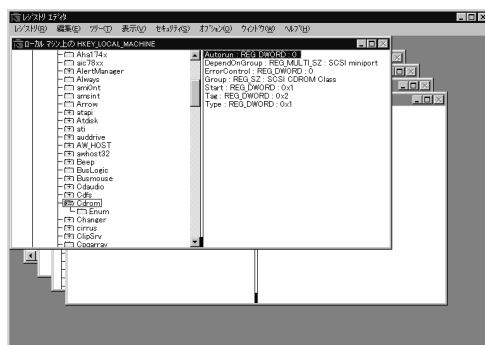
自動起動に対応していないCD-ROMは自動起動できません。CD-ROMの説明書で確認してください。

対応していないときは、Windows NTのデスクトップ画面の「マイコンピュータ」からCD-ROMドライブをダブルクリックして起動してください。

☹️➡️😊 CD-ROMの自動起動が設定されていますか？

次の手順でCD-ROMドライブの自動起動を確認します。

- 1 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 2 「名前」にREGEDT32と入力して「OK」ボタンをクリックします。
- 3 ローカルマシン上の「HKEY_LOCAL_MACHINE」ウィンドウをクリックし、画面左側のウィンドウで、
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥Cdrom
のツリーを表示させます。
- 4 画面右側のウィンドウで、Autorunの値が0×0になっているときは、自動起動がオフになっています。自動起動をオンにするには、Autorunをダブルクリックします。



DWORDエディタが起動します。

5 1を入力して「OK」ボタンをクリックします(CD-ROMの自動起動をオフにするときは、ここで0を入力します)。

6 レジストリエディタを終了させます。

7 Windows NTを終了させて、再起動させます。

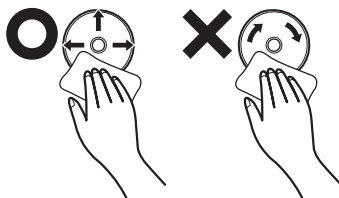
CD-ROMのデータを読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びする

☹️ ➡️ 😊 CD-ROM、音楽CDは正しくセットされていますか？

CD-ROM、音楽CDの表裏を確認して、本体のCDトレイの中心にセットしてください。

☹️ ➡️ 😊 CD-ROM、音楽CDが汚れていませんか？

CD-ROMが汚れているときは、乾いた柔らかい布で内側から外側に向かって拭いてから使ってください。



 ➡ **CD-ROM、音楽CDに傷が付いていませんか？**

傷がついているCD-ROM、音楽CDは使えないことがあります。



添付されているCD-ROMに傷がついて使えなくなったときなどは、有料で交換いたします。

 ➡ **このパソコンに何らかの振動を与えませんでしたか？**

振動を与えないようにして、操作をやり直してください。

 ➡ **このパソコンで使えるCD-ROMかどうか確認してください**

このパソコンで使えるCD-ROMを使ってください。

アプリケーションなどのCD-ROMは、一般にOSごとに専用のものが用意されています。

 ➡ **音楽CDを再生中にフロッピーディスクやスーパーディスクを出し入れしませんでしたか？**

音楽CDを再生中にフロッピーディスクやスーパーディスクを出し入れすると、音飛びの原因となります。

音楽CDの再生中はフロッピーディスクやスーパーディスクを出し入れしないでください。

再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない

 ➡ **動画データ再生中に、他のアプリケーションを実行していませんか？**

他のアプリケーションを終了させてください。

動画データのCD-ROMの再生には、パソコンの処理能力が多く必要になります。このため、複数のアプリケーションを同時に使うと動画データの処理が追いつけなくなり、画像がとぎれたり、なめらかに再生されなくなったりします。

 ➡ **再生中に、ウィンドウの大きさや位置を変えませんでしたか？**

動画データの再生中にウィンドウの大きさや位置を変えると、音飛びや画像の乱れの原因になります。いったん動画の再生を停止して操作してください。

CD-ROMドライブのドライブ番号を変えたい

このパソコン本体に標準で装備されているCD-ROMドライブのドライブ番号は、モデルによってEドライブまたはDドライブに設定されています。CD-ROMドライブのドライブ番号を変更する場合は、次のように操作してください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「管理ツール(共通)」→「ディスクアドミニストレータ」をクリックします。
- 2 CD-ROMの領域を選択して、「ツール」メニューの「ドライブ文字の割り当て」をクリックします。
- 3  をクリックして、表示された一覧の中から選びます。



ここをクリックします。

- 4 「OK」ボタンをクリックします。

「新しいドライブ文字の割り当ては、今すぐ行われます。続行しますか？」のメッセージが表示されます。

- 5 「はい」をクリックします。
- 6 「ディスクアドミニストレータ」を終了させます。

周辺機器を取り付けようとしたら

別売の周辺機器を取り付けたが動作しない。別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった。他の機能が使えなくなった

☹️➡️😊 正しく接続されていますか？

コネクタやネジがゆるんでいないか確認してください。

☹️➡️😊 割り込みレベルなどの設定は正しいですか？

周辺機器には、取り付けるときに、割り込みレベル、DMAチャンネルなどの設定が必要なものがあります。

周辺機器が使う割り込みレベルがすでに使われていると、パソコンが起動しなくなったり、動作が不安定になったりします。割り込みレベルが重ならないように、どちらかの設定を変更してください。

割り込みレベル、DMAチャンネルなどについては、『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「割り込みレベル・DMAチャンネル」を参照してください。

メモ 周辺機器の割り込みやドライバなどの設定をWindowsで確認する

「スタート」ボタン→「プログラム」→「管理ツール(共通)」→「Windows NT 診断プログラム」の順にクリックし、「Windows NT診断プログラム」の「リソース」タブで確認します。

☹️➡️😊 周辺機器の設定は正しいですか？

周辺機器によっては、設定スイッチの変更やデバイスドライバなどのインストールが必要な場合があります。

参照 ・周辺機器のマニュアル

・『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「周辺機器を利用する」

アプリケーションを使っていたら

アプリケーションが起動しない

☹️➡️😊 そのアプリケーションはサスペンド／レジューム機能に対応していますか？

対応していないアプリケーションでこの機能を使うと、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションでは、サスペンド／レジューム機能は使わないでください。

この機能を使って、電源を切ることができなくなったときは、電源スイッチを約4秒以上操作して、強制的に電源を切ってください。

☹️➡️😊 アプリケーションを起動するのに必要なだけメモリは空いていますか？

すでに複数の他のアプリケーションが起動しているときは、それらを終了してから、起動してください。それでも起動しないときは、パソコンを再起動してください。

複数のアプリケーションが起動していると、メモリが不足して、新たにアプリケーションを起動できないことがあります。

アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量は、そのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

アプリケーションを削除したい

PART1の「アプリケーションの削除と追加」をご覧ください。

✔️ **チェック!!** 一度削除すると再セットアップしない限り元に戻せない(再追加できない)アプリケーションもあります。削除するときは十分注意してください。

フルカラーにするようにというメッセージが表示された

アプリケーションの中には、画面の表示色をフルカラーにしないと正常に動作しないものがあります。「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックして表示される「画面のプロパティ」ウィンドウで画面の表示色を変更してください。

アプリケーションをインストールできない



アプリケーションがこのパソコンに対応しているか確認します

アプリケーションによっては、このパソコンでは動作しないものや、別売の周辺機器が必要なものがあります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。



アプリケーションのインストール先がAドライブになっていませんか？

インストール先をハードディスクのドライブ名(購入時の状態では、Cドライブ)に変えて、インストールしてください。



Windows NT対応と表示されていないMS-DOS、または、Windows 3.1用のアプリケーションをインストールしようとしていませんか？

Windows NT対応と表示されていないMS-DOS、Windows 3.1用のアプリケーションはインストールできません。

別売のアプリケーションについて知りたい

各アプリケーションの製造元にご確認ください。

サスペンド／レジューム機能を使おうとしたら

レジュームしたが、サスペンドする前の状態の画面が表示されない

☹️➡️😊 周辺機器はサスペンド／レジューム機能に対応していますか？

サスペンド／レジューム機能に対応していない周辺機器でこの機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。また、このような周辺機器を使うときは、サスペンド／レジューム機能は使わないでください。

☹️➡️😊 サスペンド状態のときに機器構成を変えませんでしたか？

サスペンドしたあとで、接続している周辺機器などの構成を変えると、レジュームできなくなることがあります。このようなときは、本機が自動的に再起動し、保存していなかったデータは失われます。

サスペンドできない

☹️➡️😊 電源スイッチの設定を確認してください

BIOSセットアップメニューで電源スイッチの設定を「パワーオフ」または「パワーボタン」にしているとサスペンドできません。電源スイッチの設定を「スリープ」または「スリープボタン」にしてください。

自動的にサスペンドしない

☹️➡️😊 一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器を接続していませんか？

双方向通信するプリンタなどは、一定間隔でメモリ、ハードディスク等にアクセスされるため時間設定による省電力機能が働きません。

省電力機能を使用したい場合は、このようなアプリケーションを終了させておいてください。

本機に添付されているアプリケーションでは、「Masty Data Backup」および「DMIT00L(状態監視を行うに設定した場合)」がこれに相当します。

サスペンドしておいたデータをレジュームさせようとしたら、画面が乱れて電源が切れた

☹️➡️😊 パソコンがレジューム処理を行っている間に次の操作を行いませんでしたか？

- ディスプレイのフタを閉めた
- スリープ状態にした
- 電源を切った

Windowsのシャットダウン処理中にこれらの操作を行うと、復帰(レジューム)できなくなることがあります。このような場合は、電源スイッチで電源を入れてください。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージに従ってください。

その他

これ以前のところであなたの質問が見つからなかったときは、ここを見てください。

ここにも見つからないときは、「トラブルを解決するには」の「他のマニュアルやヘルプ、READMEファイルを見る」(→p. 131)以降を見てください。

日付や時刻が正しく表示されない

☹️➡️😊 リチウム電池が十分に充電されていますか？

本機の内蔵時計はリチウム電池で動いています。内蔵のリチウム電池が十分に充電されていないと、日付や時刻が正しく表示されないことがあります。本機購入後すぐや、本機を2カ月以上使用しないでいた後などには、本機の電源を約40時間以上入れたままにしてリチウム電池を充電してから、次の手順に従って日付と時刻をもう一度設定し直してください。

1 「コントロールパネル」を開き「日付と時刻」アイコンをダブルクリックします。

「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

メモ

「日付と時刻」アイコンをクリックしてから【Enter】を押しても「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 正しい日付と時刻をそれぞれクリックして選びます。

ここをクリックして年と月を合わせます。

日にちをクリックします。

時、分、秒が表示されている部分をクリックしてカーソル(1)を表示させてからここをクリックすると、時刻が設定できます。

3 「OK」ボタンをクリックします。

これで正しい日付と時刻が設定されました。

表示されている画面を印刷したい

次の方法で画面を印刷できます。

- 1 印刷したい画面で【Fn】を押したまま【Ins】を押します。
- 2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「ペイント」を開きます。
- 3 「編集」メニューの「貼り付け」を選びます。
「ビットマップを大きくしますか?」と画面に表示されたときは、「はい」をクリックしてください。
- 4 「ファイル」メニューの「印刷」を実行します。

2000年問題について知りたい

NECでは、インターネットのホームページ「98Information」の「西暦2000年対応状況」や「98AP情報」で、2000年問題についての情報を提供しています。次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.nec.co.jp/98/>

なお、記載されている情報は更新されますので、定期的にアクセスして確認してください。

各アプリケーションが2000年問題に対応しているかどうかは、アプリケーションの製造元にお問い合わせください。

用語 **2000年問題**

慣習的に西暦年号は2桁で表現され、同様にコンピュータの世界でも2桁の年号が多く使われてきました。西暦2000年を迎えたときに、アプリケーションによっては、年号が00になってしまい、日付をキーに期間計算などの結果が不正となり、業務システム等に多大な影響を与えることが考えられます。これがコンピュータの西暦2000年問題です。

コンピュータウィルスが検出された

VirusScanなどによってコンピュータウィルスに感染したファイルが検出されたら、すぐにウィルスを駆除し、被害を届け出てください。

 **PART5の「コンピュータウィルス対策」**

P A R T

5

付録

このPARTの内容

コンピュータウィルス対策

お問い合わせの前に(トラブルチェックシート)

アフターケアについて



コンピュータウィルス対策

ここでは、コンピュータウィルスとはどんなものか、また、ウィルスの予防法や検査するためのアプリケーションについて説明しています。

コンピュータウィルス

コンピュータウィルスとはプログラムの一種です。ユーザ(使用者)が気がつかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

◎ コンピュータウィルスの種類

コンピュータウィルスが「ウィルス」と呼ばれるのは、外部から正常なシステムに入りこんだり、障害が発生するまで潜伏期間があったりするところが、本物のウィルスと類似しているからです。システムに入り込まれてしまうことを感染、プログラムに障害が発生することを発病と言います。

ウィルスは、その感染方法によって次の三種類に分けられます。

・ファイル感染型ウィルス

一般に、実行型ファイル(拡張子が.EXEや.COM)に感染するタイプのウィルスです。ファイル感染型ウィルスに感染したファイルを実行すると、他の実行型ファイルにウィルスプログラムの本体であるウィルスコードを付着させます。

・マクロ感染型ウィルス

アプリケーションのマクロ機能を使って作られたウィルスのことです。マクロ機能は、ワープロ文書や表計算ソフトなどでいくつかの操作をまとめて、データを一括して処理する機能のことです。マクロ感染型ウィルスは、マクロ機能が実行されることで他のデータファイルに感染します。

・ブートセクタ型ウィルス

コンピュータの起動時に最初に読み込まれるハードディスクやフロッピーディスクの領域をブートセクタ(IPL)といいます。ブートセクタ型ウィルスは、この領域に感染するタイプのウィルスです。本来のブートセクタの内容をウィルス自体と置き換えることにより、コンピュータ起動時にメモリの中に常駐して感染活動を行います。

◎ コンピュータウィルスの感染を防ぐために

フロッピーディスクやネットワークを利用して、プログラムやデータのやりとりを繰り返していると、ウィルスに感染したプログラムやデータを受け取る可能性があります。ウィルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- ・ フロッピーディスクのマスター(オリジナル)は、ライトプロテクト(書き込み防止)をして保管する。
- ・ 出所が不明なフロッピーディスクやプログラムは使用しない。
- ・ 入手したプログラムはウィルス検査をすませてから使用する。
- ・ パーソナルコンピュータのウィルス検査は定期的に行う。

本機には、ウィルスチェッカー「VirusScan for Windows NT」が用意されています。ウィルスチェッカーを定期的にご利用して、ウィルスに感染していないかどうか、チェックされることをおすすめします。また、新種のウィルスに対応できるよう、ウィルスチェッカーは定期的に最新のものに更新してください。

参照

VirusScanの使い方→PART1の「VirusScan for Windows NT」(p.18)

万一、コンピュータウィルスに感染してしまった場合は、最寄りのNECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

また、定期的にディスク全体のバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウィルスに感染してしまったときにも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

◎ コンピュータウィルスを発見したら

ウィルスの駆除には、該当ファイルを削除して、アプリケーションのオリジナル媒体またはバックアップから再インストールすることが一番安全で確実な方法です。なお、感染したウィルスがブートセクタ型の場合、またはブートセクタがウィルスに感染した可能性がある段階ではこの方法は使えません。

また、2次感染を防ぐため、ウィルスが発見された場合は、使用した媒体(フロッピーディスク、ハードディスクなど)をすべてウィルス検査する必要があります。

◎ コンピュータウィルスの被害届について

日本では、企業でも個人でもウィルスを発見した場合は、所定の機関に届けることが義務づけられています。ウィルスの届け出先として、情報処理振興事業協会という通産省の外郭団体(通称 IPA)がウィルス技術調査室を設置しており、そこを届け出先として指定しています。これは、ウィルスの対策基準として平成7年7月に通産省から官報で告知されたもので(平成7年7月7日付通商産業省告示第429号)、届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況を正しく把握するためにも積極的に報告してください。届け出の内容は、今後の被害対策のための貴重な情報となります。

届け出先 : 情報処理振興事業協会(通称IPA)
 セキュリティセンター ウィルス対策室
本部 : 東京都港区芝公園3丁目1番38号 秀和芝公園3丁目ビル
電話 : 03-5978-7509
FAX : 03-3437-5386
ホームページアドレス : <http://www.ipa.go.jp/>

お問い合わせの前に（トラブルチェックシート）

お問い合わせにお答えするには、あなたのパソコンの構成やトラブルの具体的な症状をお知らせいただく必要があります。

このシートに記入してからお問い合わせしていただくと、よりの確で迅速なお答えができます。ぜひ、記入してからお問い合わせください。

トラブルチェックシート1 あなたのパソコンの構成

■ハードウェア

本体	
型名	
製造番号（パソコンの底部に記載されています）	
メモリの容量	MB（メガバイト）
ハードディスクの容量	GB（ギガバイト）
ハードディスクの空き領域	MB（メガバイト）
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには→マイコンピュータを開き、ハードディスクのアイコンを右クリックして、表示されるメニューの「プロパティ」をクリックしてください。使用領域や空き領域が表示されます。	
周辺機器	品名・型名（メーカー名）
ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
PC カード	
その他の周辺機器	

■ソフトウェア

OS のバージョンと発売メーカー	
☐ Windows NT（バージョン ）	
☐ Windows 98（バージョン ）	
トラブルが起きたときに起動していたアプリケーション	

トラブルチェックシート2 具体的なトラブルの内容

●どんなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。

●画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？
メッセージや番号を書いてください。

●そのトラブルはどんなときに起きましたか？

- ☐ パソコンを起動するたびに起きる
- ☐ そのアプリケーションを起動するたびに起きる
- ☐ 特定の操作を行うと起きる
- ☐ はじめて起きた

●その他に気づいたことがあれば書いてください。

アフターケアについて

■ 保守サービスについて

お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、ご購入元、Bit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションで承っております。お問い合わせ窓口やお問い合わせの方法など、詳しくは『NEC PC あんしんサポートガイド』または『メンテナンス&サポートのご案内』をご覧ください。

■ 添付品の修復、再入手方法について

本機の添付品のうち、次のものは、修復、再入手が可能です(有料)。

・フロッピーディスク

・CD-ROM



パソコンの型名、Product IDなどは、紛失に備えて控えておくことをおすすめします。

■ 消耗品と消耗部品について

本機の添付品のうち、消耗品と消耗部品は次のとおりです。

また、本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。

種類	概要	本機の場合
消耗品	使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても、有料です。	バッテリーパック フロッピーディスク CD-ROM(媒体)
消耗部品 (有償交換部品)	使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩耗、または劣化し、修理再生が不可能な部品です。NECサービスセンター、サービスステーションなどで交換し、お客様に部品代を請求するものです。保証期間内であっても有料の場合があります。	液晶ディスプレイ

■ 本製品の譲渡について

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件に従ってください。また、譲渡を受けられたときには、所定の手続きに従って、「正規ユーザー(980FFICIAL PASSメンバー)」へのご登録を行ってください。

◎譲渡されるお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)するときは、以下の条件を満たす必要があります。

- ① 本機に添付される全てのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと
- ② 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- ③ 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること(本機に添付されている「ソフトウェアの使用条件適用一覧」をご覧ください)



チェック!!

- ・パソコン内のデータには、個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをお勧めします。
- ・ご登録されている製品を第三者に譲渡される場合は、980FFICIAL PASS登録センター(TEL: 042-333-5516)までご連絡のうえ、必ず登録削除の手続きをお願いいたします。

◎譲渡を受けられるお客様へ

「正規ユーザー(980FFICIAL PASSメンバー)」へのご登録に必要な次ページの事項を記入し、お手数ですが官製ハガキまたは封書でお送りください。

ただし、「980FFICIAL PASSお客様登録申込書」が未使用で残っている場合は、その「980FFICIAL PASSお客様登録申込書」でご登録ください。

ご連絡いただきましたお客様へは、適時、展示会、イベント、キャンペーン、セミナーなどのご案内や、ソフトメーカー様からの新作ソフトのご紹介等をお送りいたします。

記載内容

- ① 本体型名および保証書番号(本体背面に記載の製造番号または本機底部に記載の製造番号)および当社が添付しているフロッピーディスクラベル上の「Serial No.」(いずれのソフトも同一)※

※「Serial No.」がない場合は不要です。

- ② 以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号

- ③ あなたの氏名、住所、電話番号

返送先

〒108-8001 東京都港区芝五丁目7番1号
980FFICIAL PASS 登録センター係行

■ 本機の廃棄方法について

本機を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。



索引

このPARTの内容

トラブル解決 Q&A内容一覧
総索引

トラブル解決 Q&A内容一覧

はじめて電源を入れたら

- セットアップの画面が表示されない 134
- セットアップの画面が表示されずに、メッセージが表示された 135
- セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった 135
- セットアップ時に登録した名前や会社名を変更したい 136

電源を入れたが

- エラーメッセージが表示される 137
- ディスプレイに何も表示されない 137
- 電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる 138
- Windows NTが起動しない 138
- 「Checking file system on X:」と表示される 139
- Windowsパスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される 139
- パスワードを忘れてしまった 140
- レジュームから復帰した時に、何も画面に表示されない 141
- レジュームしたら、「PASSWORD」と書かれた鍵穴の絵が表示された 141

バッテリーを使っていたら

- ACアダプタを接続してもバッテリーの充電がはじまらない 142
- フル充電したのにバッテリー充電ランプ  が点灯する 142
- バッテリー充電ランプが点滅する 142

電源を切ろうとしたが

- 電源を切れない、強制的に電源を切りたい 143

画面がおかしい

- 「スタート」ボタンがない 145
- 電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる 145
- インターネットエクスプローラのアクティブ デスクトップではなく、Windows NTの画面にしたい (Internet Explorer 4.01の場合) 146
- コマンドプロンプト画面がフルスクリーンになったので元に戻したい 147
- ウィンドウが画面からはみ出してしまって操作できない 147
- マウスポインタ (矢印) の動きが遅い、速い 147
- 使っていたウィンドウがなくなった 148
- 画面の色がおかしい 148

ファイル、フォルダがおかしい

- ファイルが見つからない 149
- 必要なファイルを消してしまった 149

●ファイルの拡張子が表示されない	150
●文書を保存せずに電源を切った(または、アプリケーションを終了した)ら、 データが消えた	150
音がおかしい	
●音が出ない、音が大きすぎる	151
●スピーカからマイクロホン使用中に「キーン」という音がする(ハウリングを起こす)	151
NXパッドを操作しても	
●NXパッドを操作しても、何も反応しない	153
●タップ&ドラッグができない	154
●ダブルクリックしにくい	154
文字を入力しようとしたら	
●キーボードのキーを押しても、何も反応しない	155
●キーボードで押したキーと違う文字が表示される	155
●ひらがなや漢字の入力(日本語入力)ができない	156
●記号などで入力できない文字がある	156
ファイルを保存しようとしたら	
●保存できない	157
●ファイル名の後ろに、入力していない文字「.bmp」「.txt」などが付く	157
ネットワーク(LAN)に接続しようとしたら	
●ネットワークへの接続方法が分からない	158
●ネットワークに接続できない	158
●共有ドライブやフォルダが使えない	159
赤外線通信しようとしたら	
●赤外線通信できない	160
印刷しようとしたら	
●プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される	161
フロッピーディスクやスーパーディスクを使っていたら	
●フロッピーディスクを使用できない	163
●「マイコンピュータ」の3.5インチFDをダブルクリックしたが、 ディスクの内容が表示されない	163
●読み込みはできるが、書き込みができない	164
●ディスクに飲み物をこぼしてしまった	165
●ディスクを誤ってフォーマットしてしまった	165
●スーパーディスクドライブからディスクを取り出せない	165

ハードディスクを使っていたら

- ハードディスクの空き領域が足りない 166
- ファイルをごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き領域が増えない 168
- 領域確保できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない 168
- ハードディスクをメンテナンスする方法を知りたい 168

CD-ROMを使っていたら

- CD-ROMドライブのトレイを出し入れできない 170
- CD-ROMをセットしても自動起動しない 170
- CD-ROMのデータを読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びする 171
- 再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない 172
- CD-ROMドライブのドライブ番号を変えたい 173

周辺機器を取り付けようとしたら

- 別売の周辺機器を取り付けたが動作しない。別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった。他の機能が使えなくなった 174

アプリケーションを使っていたら

- アプリケーションが起動しない 175
- アプリケーションを削除したい 175
- フルカラーにするようにというメッセージが表示された 176
- アプリケーションをインストールできない 176
- 別売のアプリケーションについて知りたい 176

サスペンド／レジューム機能を使おうとしたら

- レジュームしたが、サスペンドする前の状態の画面が表示されない 177
- サスペンドできない 177
- 自動的にサスペンドしない 178
- サスペンドしておいたデータをレジュームさせようとしたら、画面が乱れて電源が切れた 178

その他

- 日付や時刻が正しく表示されない 179
- 表示されている画面を印刷したい 180
- 2000年問題について知りたい 180
- コンピュータウィルスが検出された 180

総索引

英字

2000年問題	74, 180
ACPIモード	117
Acrobat Reader 3.0J	25
APMモード	117
CyberAccess	27
DMIT00L	39
Draw 98	13, 80
Excel 97	13, 76
Intellisync	32
Masty Data Backup	45
NEC Soft MPEG1.0	22
Outlook 98	13, 81
pcANYWHERE32 EX	43
Sasuke	9, 11
Shuriken	9
VirusScan for Windows NT	18
Windows 98	88
Word 98	13, 78

あ行

アドバンスモード	27
アフターケア	187
アプリケーション	2, 175
一太郎9	9, 83
インターネットエクスプローラ	8
印刷	161
エキスパートモード	27

か行

拡張子	150, 157
キーボード	155
強制的に電源を切る方法	144
コントロールパネル	132
コンピュータウイルス	18, 182

さ行

再セットアップ	50
サスペンド	111, 177
三四郎9	9

システム修復ディスク	52
周辺機器	174
スーパーディスク	56, 69
スーパバイザパスワード	140
スタンバイ機能	111
スリープ状態	108, 109
赤外線通信	160

た行

トラブルチェックシート	185
-------------------	-----

な行

内蔵FAXモデムボード	99
内蔵LANボード	98
内蔵サウンドドライバ	102
日本語入力	156
ネットワーク	61, 158

は行

ハードディスク	166
ハイバネーション	111
パスワード	139, 140
バッテリー	142
花子9	9
パワーマネージメント	115
ファイル	149, 157
フォルダ	149
フリーズ(ハングアップ)	130
プリンタ	161
フロッピーディスク	163
ベーシックモード	27

ま行

文字コード表	156
--------------	-----

や行

ユーザー情報	136
ユーザパスワード	140

ら行

レジューム	114, 177
-------------	----------



活用ガイド ソフトウェア編

PC98-**NX** SERIES

VersaPro NX

(Windows NT インストール)

初版 1999年5月

NEC

P



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙
(古紙率：表紙50%、本文100%)を使用しています。

808-875488-315-A